

人権に関する市民意識調査

報 告 書

平成23年11月

瑞 浪 市

＝ 目次 ＝

1 調査の概要	1
1) 調査の目的.....	1
2) 調査の方法.....	1
3) 調査の内容.....	1
4) 回収結果.....	2
5) 抽出と回答状況.....	2
6) 標本誤差の範囲.....	3
7) 調査分析結果の見方について.....	4
2 調査結果の要約	5
1) 人権全般についての意識.....	5
2) 女性の人権についての意識.....	6
3) 子どもの人権についての意識.....	7
4) 高齢者の人権についての意識.....	7
5) 障がい者の人権についての意識.....	8
6) 外国人の人権についての意識.....	8
7) 同和問題についての意識.....	8
8) 刑を終えて出所した人の人権についての意識.....	9
9) インターネットによる人権侵害についての意識.....	9
10) ホームレスの人権についての意識.....	9
11) アイヌの人々の人権についての意識.....	9
12) 感染症患者等の人権についての意識.....	9
13) 犯罪被害者とその家族の人権についての意識.....	10
14) 性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題についての意識.....	10
15) 人権教育・人権啓発についての考え.....	10
3 調査結果	11
1) 属性（問1～問4）.....	11
2) 指針の認知度（問5）.....	15
3) 人権全般について（問6～問12）.....	16
4) 女性の人権について（問13）.....	36
5) 子どもの人権について（問14、問15）.....	40
6) 高齢者の人権について（問16）.....	46
7) 障がい者の人権について（問17）.....	50
8) 外国人の人権について（問18）.....	54
9) 同和問題について（問19、問20）.....	56
10) 刑を終えて出所した人の人権について（問21）.....	60

11)	インターネットによる人権侵害について（問 22）	62
12)	ホームレスの人権について（問 23）	64
13)	アイヌの人々の人権について（問 24）	66
14)	感染症患者等の人権について（問 25）	68
15)	犯罪被害者とその家族の人権について（問 26）	70
16)	性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権について（問 27）	72
17)	人権教育・人権啓発の方法について（問 28～問 30）	74
4	自由意見	80
5	参考資料（調査票）	

1 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、「市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して」を目標に策定した「瑞浪市人権施策推進指針および行動計画」の計画期間初年度にあたり、市民への人権教育の方向性や人権侵害事案に対する救済、市民が求めている人権課題の解決に向けた活動の資料とするために実施しました。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域 瑞浪市全域
- (2) 調査対象 瑞浪市に在住の20歳から90歳未満の男女
- (3) 抽出数 1,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出
- (5) 調査方法 配布：郵送により配布
回収：返信用封筒により郵送回収
- (6) 調査時期 発送：平成23年7月6日
締め切り：平成23年7月31日

※平成23年8月22日到着分まで集計に加えました

3) 調査の内容

- (1) 回答者の属性（4問）
 - ① 性別（問1）
 - ② 年齢（問2）
 - ③ 職業（問3）
 - ④ 家族構成（問4）
- (2) 指針の認知度（1問）
 - ① 「瑞浪市人権施策推進指針」概要版についての認知度（問5）
- (3) 調査分野（25問）
 - ① 人権全般について（問6～問12）
 - ② 女性の人権について（問13）
 - ③ 子どもの人権について（問14、問15）
 - ④ 高齢者の人権について（問16）
 - ⑤ 障がい者の人権について（問17）
 - ⑥ 外国人の人権について（問18）
 - ⑦ 同和問題について（問19、問20）
 - ⑧ 刑を終えて出所した人の人権について（問21）
 - ⑨ インターネットによる人権侵害について（問22）
 - ⑩ ホームレスの人権について（問23）
 - ⑪ アイヌの人々の人権について（問24）

- ⑫ 感染症患者等の人権について（問 25）
- ⑬ 犯罪被害者とその家族の人権について（問 26）
- ⑭ 性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権について（問 27）
- ⑮ 人権教育・人権啓発の方法について（問 28～問 30）

（4）自由意見（1 問）

設問総数は 31 問で、その内訳は回答選択設問 30 問（属性：4 問、指針の認知度：1 問、15 調査分野：25 問）及び自由意見記載設問 1 問です。

4) 回収結果

回収結果は下記の通りで、回収率は 45.7%でした。

- (1) 配布数 1,000 通
- (2) 返却数 2 通
- (3) 有効配布数 998 通
- (4) 回収数 456 通
- (5) 回収率 45.7 %
- (6) 白紙回答数 2 通
- (7) 有効回答数 454 通

5) 抽出と回答状況

調査対象人口は 32,289 人で、年齢別、性別の内訳は表 1 のとおりです。また、抽出者の年齢別、性別の内訳についても表 2 のとおりになります。

回収総数 456 通のうち、白紙回答 2 通、性別無回答 2 通を除外した 452 通についての内訳は表 3 のとおりです。

表1 調査対象人口

住基人口 (人)	計	男性	女性	構成比	
				男性	女性
20 歳代	4,255	2,158	2,097	6.7%	6.5%
30 歳代	5,028	2,655	2,373	8.2%	7.3%
40 歳代	5,063	2,503	2,560	7.8%	7.9%
50 歳代	4,998	2,465	2,533	7.6%	7.8%
60 歳代	5,743	2,819	2,924	8.7%	9.1%
70~89 歳	7,202	2,923	4,279	9.1%	13.3%
計	32,289	15,523	16,766	48.1%	51.9%

(平成 23 年 6 月 1 日現在)

表2 抽出者数（アンケート調査票を郵送した人数）

住基人口 (人)	計	男性	女性	構成比	
				男性	女性
20歳代	134	70	64	7.0%	6.4%
30歳代	168	93	75	9.3%	7.5%
40歳代	147	75	72	7.5%	7.2%
50歳代	156	62	94	6.2%	9.4%
60歳代	196	88	108	8.8%	10.8%
70～89歳	199	84	115	8.4%	11.5%
計	1,000	472	528	47.2%	52.8%

表3 有効回答者数及び回答率

有効回答者 数(人)	計	男性	女性	構成比		回答率(対抽出者数)		
				男性	女性	計	男性	女性
20歳代	41	14	27	3.1%	6.0%	30.6%	20.0%	42.2%
30歳代	57	24	33	5.3%	7.3%	33.9%	25.8%	44.0%
40歳代	65	26	39	5.8%	8.6%	44.2%	34.7%	54.2%
50歳代	70	24	46	5.3%	10.2%	44.9%	38.7%	48.9%
60歳代	115	57	58	12.6%	12.8%	58.7%	64.8%	53.7%
70～89歳	104	45	59	10.0%	13.1%	52.3%	53.6%	51.3%
計	452	190	262	42.0%	58.0%	45.2%	40.3%	49.6%

※性別無回答2名を除く

6) 標本誤差の範囲

市民意識調査を実施する場合、本来は全市民を対象とすることが望ましいですが、実際には無作為に一定の人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになります。今回は、無作為抽出された1,000人の市民のうちから456通の回答を得ましたが、2通が白紙回答のため有効回答数は454通となります。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート結果に対する標本誤差を算定し、検証することができます。

標本誤差 σ は次式で算定されます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

記号の説明

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	20歳以上90歳未満の人口数：32,289人 (平成23年6月1日現在)
n	有効回収数	454通
κ	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

標本誤差算定結果

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
標本誤差 (σ)	4.57%	4.47%	4.19%	3.65%	2.74%

標本誤差の算定結果は、最も大きな値を示す結果の比率が50% : 50%で4.57%でした。このことから、今回の調査結果は、母集団の真値に対し最大でプラス・マイナス4.57%の範囲にあり（信頼度95%）、精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）が得られたと言えます。

※ 統計学的には、標本誤差が5%以下であれば精度の高い調査結果であるとされています。標本誤差が5%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）でプラス・マイナス5%の範囲にあるということです。

信頼度95%とは、真値がプラス・マイナス5%の範囲にある確率が95%であるということです。

7) 調査分析結果の見方について

- (1) 今回の調査の総回答数は456通でした。この中に、白紙回答が2通あったため、有効回答数（以下回答者数という）を454通としました。

問1（性別）の無回答が2通、問3（職業）の無回答が3通ありました。問2（年齢）、問4（家族構成）の無回答はありませんでした。

従って、回答者数は以下ようになります。

集計区分	無回答数	回答者数
単純集計	下記(2)(3)による	
性別クロス集計	2	452
年齢別クロス集計	0	454
職業別クロス集計	3	451
家族構成別クロス集計	0	454

※問11は、問10で「1」を選択した人を対象回答者としています。従って、対象回答者以外の回答は無効回答としてあります。

- (2) 単独回答を求める設問の場合、各集計区分の対象回答数から無回答を除いたものを回答者数としました。各比率は各設問の回答数を回答者数の100分率で示しています。比率は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 複数回答を求める設問の場合、その問の対象回答数から回答のない人を無効回答として除いたものを回答者数としました。各比率は、その項目を選んだ人が、回答者数の何%にあたるかを算出しています。従って、各項目の比率の合計は100%を超えることとなります。
- (4) 報告書の文中に記載した「選択肢」を、そのまま記載すると長文になるため、短く表記している場合があります。

2 調査内容の要約

1) 人権全般についての意識

(1) 人権に対する考え方

人権に対する考え方について、市民のおおよそ3分の2(63.9%)が「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむを得ない」を選択され、「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」(31.7%)に対し、2倍以上の差があります。

このことから、市民の多数が指針の目標である「互いにより良く生きあう」ことを望んでいるものと考えられます。

また、「人権の名のもとに権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきだ」は、3.7%と少数です。

(2) 「人権」から連想する言葉

「人権」から連想する言葉としては、「平等」が64.3%と最も高く、男女ともに6割以上の方が回答しています。性別で見ると2位以下に差があり、男性では「自由」40.0%、「公正」34.2%の順に、女性では「尊厳」34.4%、「自由」33.6%の順になっています。

負のイメージを持つ言葉を見ると、「差別」が28.6%で最も高く、「格差」、「暴力」、「抑圧」といった他の言葉とは2倍以上の差があります。

(3) 認知度と関心度

認知度について、「よく知っている」の割合は「北朝鮮による拉致問題」が36.5%と最も高く、「障がい者の人権問題」33.3%、「女性の人権問題」31.9%、「子どもの人権問題」31.0%、「高齢者の人権問題」29.1%の順になっています。

一方、関心度「関心がある(「非常に関心がある」と「多少関心がある」の合計値)」については、「子どもの人権問題」、「高齢者の人権問題」、「障がい者の人権問題」、「女性の人権問題」で8割を超え、市民の身近な人権課題として、高い関心がありました。

性別で意識の差が大きく表れた課題は、「女性の人権問題」と「子どもの人権問題」で、それぞれ、女性が16.7ポイント、10.2ポイント男性より高くなっています。

年代別にみると、「同和問題」と「アイヌの人々の人権問題」において、年代が増すごとに高い傾向にあります。一方「インターネットを悪用した人権侵害」においては、20歳代から50歳代で高くなっています。「刑を終えて出所した人の人権問題」と「犯罪被害者とその家族の人権問題」においては、性別・年代別による特徴は見られません。

(4) 人権侵害を受けた経験

人権侵害を受けた経験については、「ある」が16.8%で、約6人に1人が「ある」と回答しています。

性別でみると、「ある」と回答した率は、男性が13.1%、女性が19.2%でした。女性が男性の約1.5倍となっています。

人権を侵害された具体的な内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が40.5%で最も多く、次いで「学校・職場における不平等または不利益な取扱い」が37.8%、「プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）」が28.4%となっています。

男女間で最も差が大きかったのは「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」で、男性が女性より25.0ポイント上回りました。また、「学校・職場における不平等または不利益な取扱い」については、女性が男性より14.6ポイント高いという結果が出ました。

また、「人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか」では、「家族に相談をする」が59.0%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が38.5%、「相手に抗議をする」が35.0%でした。

性別でみると、女性の71.0%が「家族に相談する」を選択しましたが、男性では43.2%となっています。最も差が大きかったのは「相手に抗議をする」で、男性が53.7%で女性より31.9ポイント上回っています。

また、「弁護士や公的機関」（選択肢7～10）を選択した割合をみると、おおよそ3人に1人が「警察に相談する」と答えています。

2) 女性の人権についての意識

女性の人権問題で最も問題のある項目については、全体で多い項目は「売春・買春などの犯罪」34.4%、「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」33.0%、「職場における男女の待遇に差別があること」31.9%、「男女の固定的な役割分担意識があること」30.2%の順となっています。

性別でみると、男性では「職場における男女の待遇に差別があること」38.9%、女性では「売春・買春などの犯罪」36.6%がそれぞれ最上位となっています。

また、男女間で差の大きな項目は、男性では「職場における男女の待遇に差別があること」が11.8ポイント女性より高く、女性では「ドメスティック・バイオレンス」が8.5ポイント男性より高くなっています。

年代別でみると、特に、20歳代において「男女の固定的な役割分担意識があること」、「職場における男女の待遇に差別があること」に問題があると回答した割合が高く、年代が増すごとに問題意識が低くなる傾向にあります。また、20歳代～50歳代において「セクシュアル・ハラスメント」について問題意識が高くなっています。

3) 子どもの人権についての意識

子どもの人権問題で問題のある項目については、全体で「身体への暴力や仲間はずれ、無視等のいじめ」が61.5%で最も高く、次いで、「育児放棄（ネグレクト）があること」39.0%、「いじめを見て見ぬふりをする事」38.3%、「親が子どもを虐待すること」35.9%となっており、これら上位の項目では、男女間に大きな差は見られません。

男女間で差の大きな項目は、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」で男性が11.6ポイント、「暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること」で女性が9.5ポイント高い結果になっています。

年代別にみると、20～50歳代においては、「親が子どもを虐待すること」が多く、さらに、20歳代と60歳代において、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」が問題とする割合が高くなっています。50～60歳代では、「暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること」の回答割合が27%と高い傾向にあります。

児童虐待の発見時の対応については、全体で「学校などに知らせる」が最も高く46.0%、次いで「民生・児童委員に知らせる」13.6%、「警察に知らせる」13.6%で同率となっています。

一方、「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」と答えた人が8.7%となっています。

4) 高齢者の人権についての意識

高齢者の人権問題で問題のある項目について、全体では「経済的に自立が困難なこと」37.9%、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」35.7%、「働ける能力を發揮する機会が少ないこと」29.5%の順になっています。

男女間で差の大きな項目は、男性が「経済的に自立が困難なこと」で女性より11.0ポイント高く、女性では「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」が男性より9.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、70歳以上では、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」が高い傾向にあります。また、60～70歳以上では、「高齢者の意見や行動を尊重しない」が高く、50歳代と比較しておおよそ5倍となっています。一方、「病院や介護施設における看護や介護等のサービスが十分でないこと」が問題とする割合が、30～50歳代で高くなっています。

5) 障がい者の人権についての意識

障がい者の人権問題で問題のある項目について、全体では「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」55.7%、「就労の機会が少なく、職種もかぎられていること。また、不利な扱いをされること」50.9%の2項目が特に高く、以下「身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」27.8%、「道路の段差や駅の階段など外出に支障のあること」20.5%の順となっていて、性別にみても、男女ともに全体と同じ傾向になっています。

男女間で差の大きな項目について、「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」で、女性より男性が9.2ポイント、「身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が7.3ポイントそれぞれ高くなっています。

年代別でみると、30歳代～60歳代で「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」、「就労の機会が少なく、職種も限られている。不利な扱いをされること」の割合が高く、ともに5割を超えています。また、「結婚問題で、周囲に反対されること」では、20歳代で問題意識が一番高く、年代が増すごとに低くなっていく傾向があります。

6) 外国人の人権についての意識

日本に居住する外国人の人権問題で問題のある項目について、全体では「外国人についての理解や認識が十分でないこと」44.7%、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」41.6%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」29.1%の順になっていて、性別にみても、男女ともに全体と同じ傾向になっています。

男女間で差の大きな項目として、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」で男性が女性より9.5ポイント高く、「わからない」と答えた女性が24.8%で男性より6.9ポイント高くなっています。

7) 同和問題についての意識

同和問題についての考え方の問いに対し、「わからない」が最も高く、全体では39.6%となっています。続いて、「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が21.1%、「基本的人権に関わる問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う。」が14.1%となっています。

同和問題について問題がある項目は、多い順に「わからない」が39.2%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が26.4%、「結婚問題で周囲が反対すること」が21.1%となっています。

また、「わからない」、「その他」を除くと、すべての項目で男性の回答割合が高く、性別での問題意識に大きな差がありました。

8) 刑を終えて出所した人の人権についての意識

罪や非行を犯した人が、罪をつぐなうって社会の一員として立ち直ろうとした場合の問題について、全体では「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が 59. 0%と最も高く、続いて「就職、職場で不利な扱いを受けること」が 39. 6%、「わからない」が 14. 3%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が 13. 7%となっていて、男女間の意識に大きな差異は見られませんでした。

9) インターネットによる人権侵害についての意識

インターネットによる人権侵害に対する問題について、全体では、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）など差別的な表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」が 58. 4%と最も高く、以下「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」29. 5%、「個人情報などが流出していること」24. 4%となっていて、男女間の意識に大きな差異は見られませんでした。

10) ホームレスの人権問題についての意識

ホームレスの人権問題に対する問題について、全体では、「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が 45. 8%で最も高く、次いで「ホームレスに対する誤解や偏見があること」26. 2%、「嫌がらせや暴力を受けること」25. 8%の順となっています。

11) アイヌの人々の人権問題についての意識

アイヌの人々の人権問題に対する問題について、全体では、「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が 44. 9%と最も多くなっていて、次いで「わからない」と答えた人が 42. 5%を占め他の項目と比較して抜きん出て高くなっています。

性別でみると、男性では「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が、52. 1%で女性より 12. 0ポイント高く、女性では「わからない」が 47. 7%で男性より 13. 0ポイント高く、性別での問題意識に大きな差がありました。

12) 感染症患者等の人権問題についての意識

感染症患者等の人権問題に対する問題について、全体では、「エイズ患者、HIV 感染者についての理解や認識が十分でないこと」が 41. 9%、「感染症患者であるというだけで世間から好奇又は偏見の目で見られること」が 39. 9%と抜きん出て高く、以下「わからない」20. 5%、「医療行為の内容について本人や家族に十分な説明がないこと」16. 3%の順になっています。

性別による比較においても、ほとんど同様の順位と回答率であり、男女間の意識に大きな差異は見られませんでした。

13) 犯罪被害者とその家族の人権問題についての意識

犯罪被害者とその家族の人権問題に対する問題について、全体では、「プライバシーに関わる報道や取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が40.3%、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が40.1%、続いて「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」25.3%の順位となっています。

14) 性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題についての意識

性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題に対する問題について、全体では、「世間から好奇または偏見の目で見られること」が46.3%で最も高く、続いて「わからない」が26.2%、「性的異常者とみられ嫌がらせや冷やかしの対象となること」が26.0%の順になっています。

15) 人権教育・人権啓発についての考え

人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるための、今後の取り組みの問いについて、「学校での教育を充実する」が57.9%、「行政による啓発活動を積極的に行う」が49.8%、「家庭での教育を充実する」が37.2%の順になっています。

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心掛けたり行動すべきことの問いについて、「人権に対する正しい知識を身につけること」が68.3%で最も高く、次いで「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」58.8%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が47.6%となっています。

人権教育の推進のために、学校における教育の進め方の問いについて、「『人を大切にする』教育」が44.7%で最も高くなっていて、次いで「児童・生徒が基本的人権を考える教育」が24.5%、「『差別は悪いこと』という教育」が14.2%の順となっています。

3 調査結果

1) 属性

問1 あなたの性別を教えてください。(〇はひとつだけ)

回答者数は452名で、抽出者(アンケートの対象者1,000人:男性472人、女性528人)に対し、回答率は45.2%でした。

抽出者に対する回答率では、男性の回答率が40.3%、女性が49.6%で、女性の回答率が男性より9.3ポイント高くなっています。

この結果、性別の回答者数をみると、男性が190人で回答者全体の42.0%、女性は262人で58.0%となり、女性の回答数の割合が男性よりも16.0ポイント高くなっています。

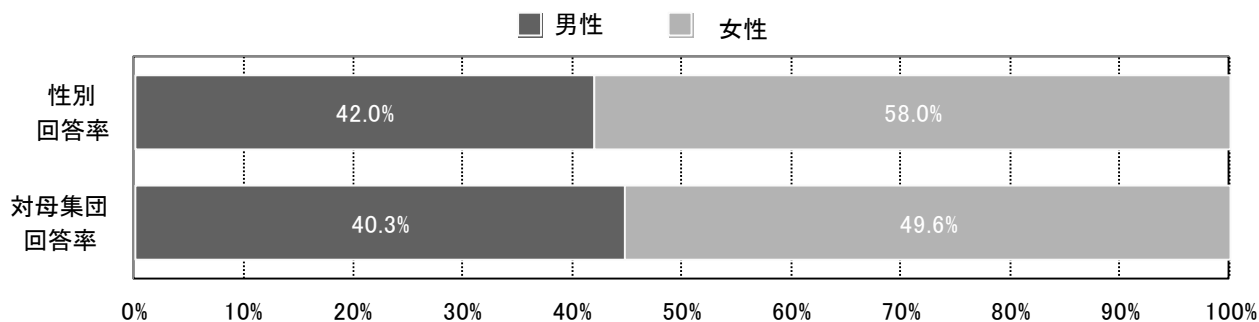
表1-1

項目	男性	女性	有効回答	無回答	総回答数
全体	190	262	452	2	454

表1-2

項目	男性	女性	計
性別回答率	42.0%	58.0%	100.0%
対母集団回答率	40.3%	49.6%	100.0%

図1-1



問2 あなたの年齢を教えてください。(〇はひとつだけ)

回答者の年齢別構成比をみると、20歳代が9.0%で最も低く、年齢層が高くなるほど構成比が増える傾向がありました。
 また、性別でみると、男性では60歳代の回答数の割合が30.0%と最も高く、女性では70歳～89歳が22.5%、60歳代が22.1%とほぼ同率で高くなっています。

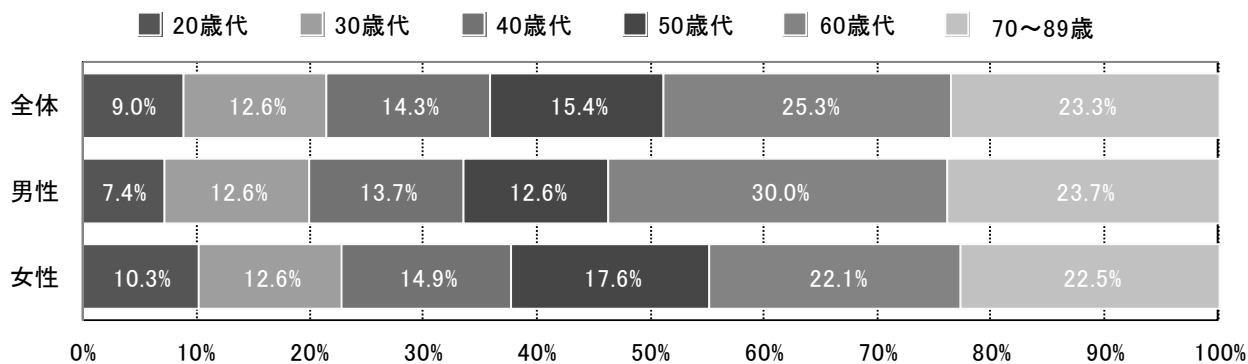
表2-1

項目	選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～89歳	有効回答	無回答	総回答数	
全体		41	57	65	70	115	106	454	0	454	
性別	男性	14	24	26	24	57	45	190	0	190	452
	女性	27	33	39	46	58	59	262	0	262	

表2-2

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～89歳	計
全体	9.0%	12.6%	14.3%	15.4%	25.3%	23.3%	100.0%
男性	7.4%	12.6%	13.7%	12.6%	30.0%	23.7%	100.0%
女性	10.3%	12.6%	14.9%	17.6%	22.1%	22.5%	100.0%

図2-1



問3 あなたの職業を教えてください。(〇はひとつだけ)

回答者を職業別にみると、有効回答者全体の59.4%が「有職者」(学生を除く)で、内訳は、「正規の職員・従業員」が27.7%、「パート・アルバイト」が18.8%、「自営業、経営者」が12.9%となっています。また、このほか回答者の38.4%が「無職」、1.8%が「学生」、0.4%が「その他」となっています。

性別では、「有職者」と答えた人の割合が、男性では65.6%、女性は55.4%となっています。また、「無職」と答えた人は、女性が42.3%で、男性の32.3%と比較して10.0ポイント高くなっています。

さらに、回答項目別でみると、男性では、「正規の職員・従業員」37.6%、「無職」32.3%、「自営業、経営者」18.0%の順に多く、女性では「無職」42.3%、「パート・アルバイト」25.4%、「正規の職員・従業員」20.8%の順になっています。

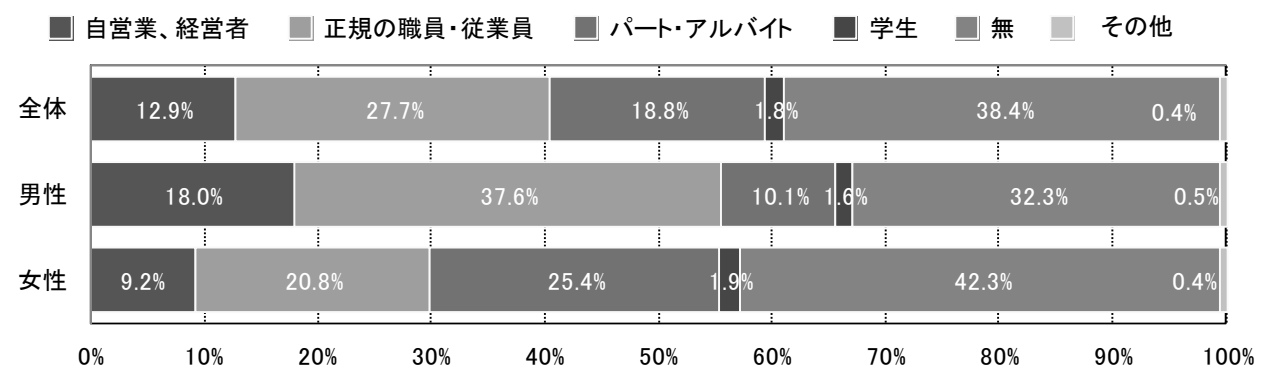
表3-1

項目	選択肢	自営業、 経営者	正規の 職員・従 業員	パー ト・アル バイト	学生	無	その他	有効 回答	無回答	総回答数
全体		58	125	85	8	173	2	451	3	454
性別	男性	34	71	19	3	61	1	189	1	190
	女性	24	54	66	5	110	1	260	2	262

表3-2

選択肢	有職者				学生	無	その他	計
	自営業、 経営者	正規の職 員・従 業員	パート・ アルバイト	小計				
全体	12.9%	27.7%	18.8%	59.4%	1.8%	38.4%	0.4%	100.0%
男性	18.0%	37.6%	10.1%	65.6%	1.6%	32.3%	0.5%	100.0%
女性	9.2%	20.8%	25.4%	55.4%	1.9%	42.3%	0.4%	100.0%

図3-1



問4 あなたの家族構成を教えてください。(〇はひとつだけ)

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」46.0%、「一世代世帯」23.8%、「三世世代世帯」18.9%、「ひとり暮らし」6.4%、その他4.8%の順となっています。
性別では、「二世世代世帯」と回答した人が、男性では51.1%に対し女性が42.7%、「三世世代世帯」と回答した人が、男性13.2%に対し、女性23.3%と大きな差がありました。

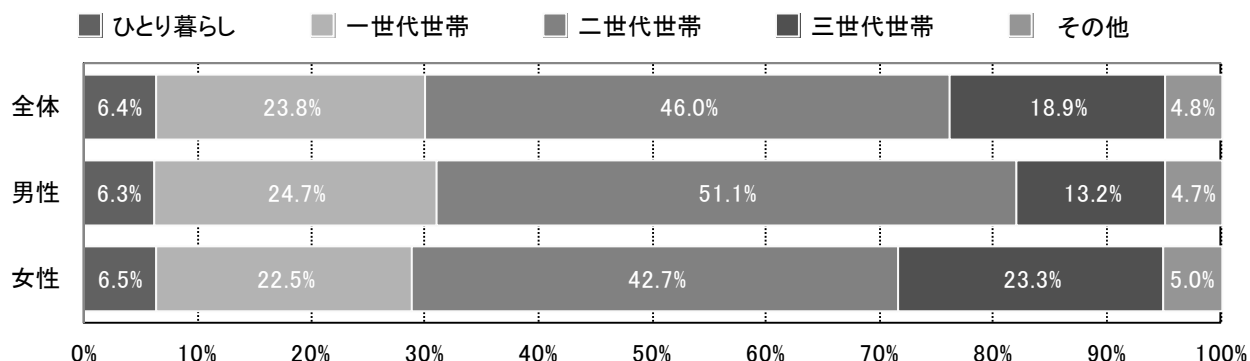
表4-1

項目	選択肢	ひとり暮らし	一世代世帯	二世世代世帯	三世世代世帯	その他	有効回答	無回答	総回答数
全体		29	108	209	86	22	454	0	454
性別	男性	12	47	97	25	9	190	0	190
	女性	17	59	112	61	13	262	0	262

表4-2

選択肢	ひとり暮らし	一世代世帯	二世世代世帯	三世世代世帯	その他	計
全体	6.4%	23.8%	46.0%	18.9%	4.8%	100.0%
男性	6.3%	24.7%	51.1%	13.2%	4.7%	100.0%
女性	6.5%	22.5%	42.7%	23.3%	5.0%	100.0%

図4-1



2) 指針の認知度

問5	平成23年4月15日発行「広報みずなみ」で人権指針及び行動計画を策定したことをお知らせいたしました。また、同時に概要版を各世帯に配布しました。あなたは、概要版を読みましたか。(〇はひとつだけ)
----	--

「瑞浪市人権指針の概要版を読みましたか」という質問に対しては、「読んだ」と答えた人が、全体の31.8%という結果でした。

性別では、女性が34.1%とほぼ3人に一人が、男性が28.3%でほぼ4人に1人が「読んだ」と回答しています。

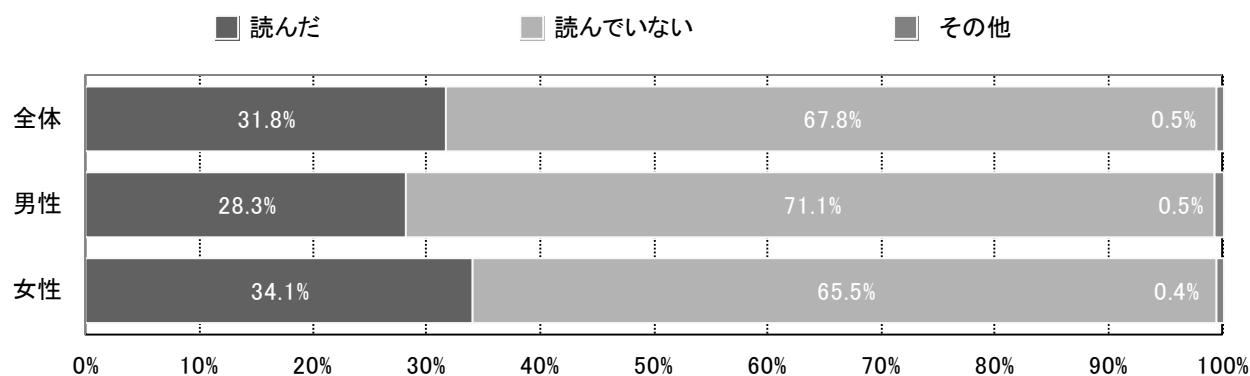
表5-1

項目	選択肢	読んだ	読んでいない	その他	有効回答	無回答	総回答数	
全体		141	301	2	444	10	454	
性別	男性	53	133	1	187	3	190	452
	女性	87	167	1	255	7	262	

表5-2

選択肢	読んだ	読んでいない	その他	計
全体	31.8%	67.8%	0.5%	100.0%
男性	28.3%	71.1%	0.5%	100.0%
女性	34.1%	65.5%	0.4%	100.0%

図5-1



3) 人権全般について

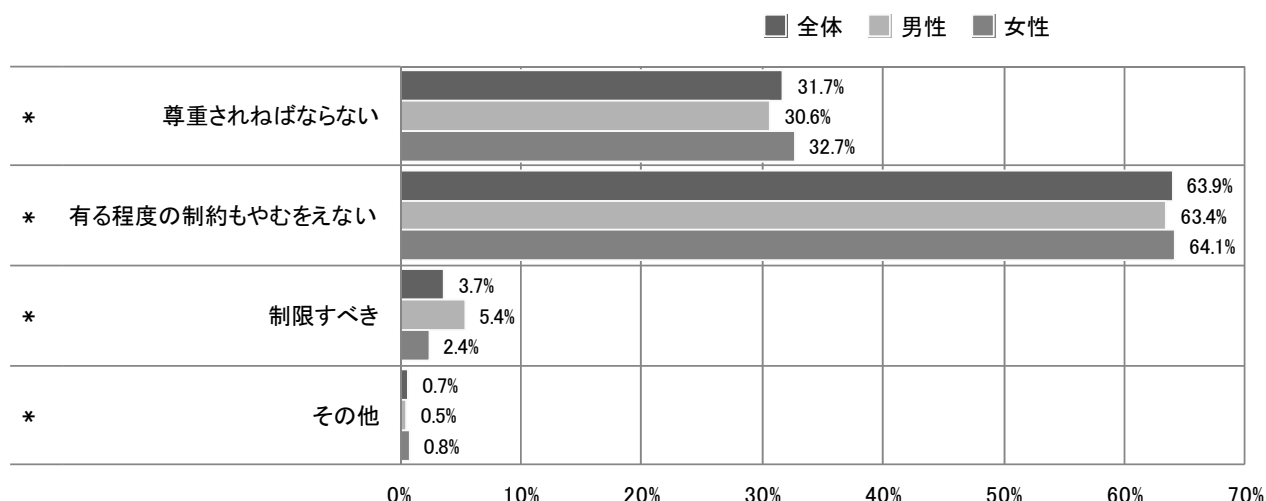
問6 あなたの人権に対する考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

人権に対する考え方では、「尊重されねばならない」が31.7%であるのに対し、「ある程度の制約もやむを得ない」が63.9%で2倍以上の差がありました。
性別でみると、最も差が大きかったのは「制限すべき」と答えた人の割合で、男性が5.4%、女性が2.4%でした。男性が約2倍となっています。

表6-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない	139	57	82	31.7%	30.6%	32.7%
2	一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむを得ない	280	118	161	63.9%	63.4%	64.1%
3	人権の名のもとに権利の濫用が見られるので、むしろ制限すべきだ	16	10	6	3.7%	5.4%	2.4%
4	その他	3	1	2	0.7%	0.5%	0.8%
有効回答数		438	186	251	100.0%	100.0%	100.0%
無回答		16	4	11	—	—	—
総回答数		454	190	262	—	—	—

図6-1



問7	あなたが「人権」から連想する言葉はどれですか。感じたままをお答えください。 (〇はいくつでも)
----	--

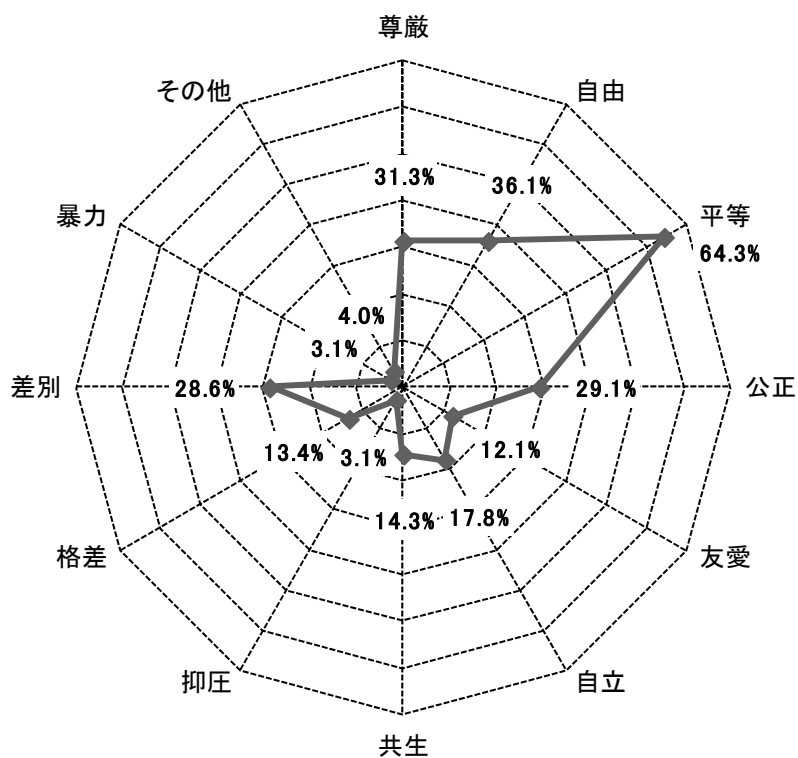
「人権」から連想する言葉は、「平等」が64.3%と最も高く、男女ともに6割以上の方が回答しました。性別で見ると2位以下に差があり、男性では「自由」40.0%、「公正」34.2%の順に、女性では「尊厳」34.4%、「自由」33.6%の順になっています。

負のイメージを持つ言葉(8 抑圧~11 暴力)をみると、全体、男女ともに「差別」が最も高く、他の言葉とは2倍以上の差があります。

表 7-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	尊厳	142	52	90	31.3%	27.4%	34.4%
2	自由	164	76	88	36.1%	40.0%	33.6%
3	平等	292	117	174	64.3%	61.6%	66.4%
4	公正	132	65	67	29.1%	34.2%	25.6%
5	友愛	55	25	30	12.1%	13.2%	11.5%
6	自立	81	33	48	17.8%	17.4%	18.3%
7	共生	65	30	35	14.3%	15.8%	13.4%
8	抑圧	14	12	2	3.1%	6.3%	0.8%
9	格差	61	26	35	13.4%	13.7%	13.4%
10	差別	130	55	75	28.6%	28.9%	28.6%
11	暴力	14	8	6	3.1%	4.2%	2.3%
12	その他	18	5	13	4.0%	2.6%	5.0%
総回答数		1,168	504	663	257.3%	265.3%	253.1%
有効回答数		454	190	262	-	-	-

図 7-1



「人権」から連想する言葉として、性別・年代別ともに「平等」が一番高くなっています。次に多いのは性別で見ると、男性では「自由」の割合が高く、女性では「尊厳」の割合が高くなっています。年代別にみると、20歳代では「自由」と「尊厳」の割合が高くなっています。また、負の言葉は、「差別」の割合が性別・年代別ともに高く、次に「格差」となっています。

図7-2-1

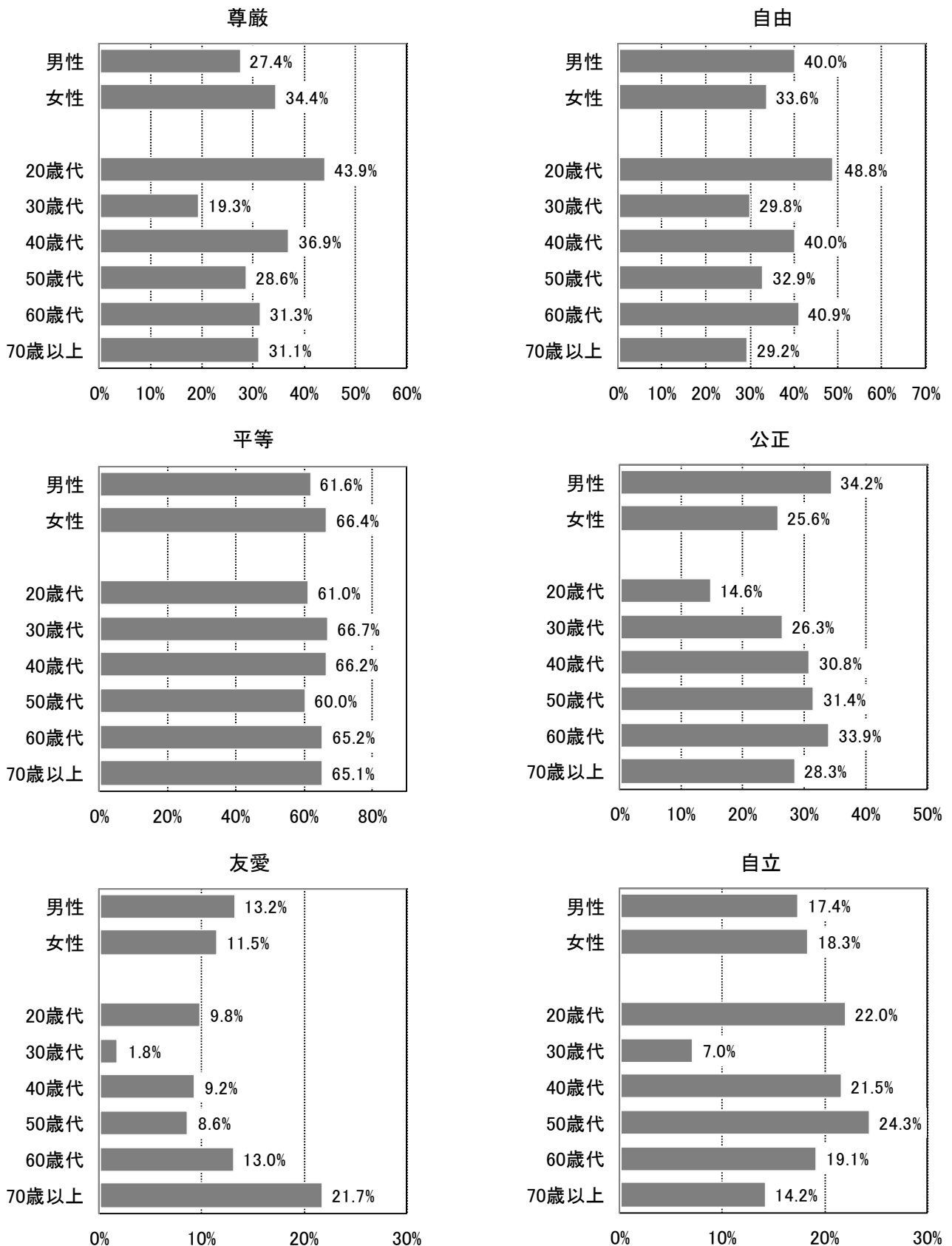
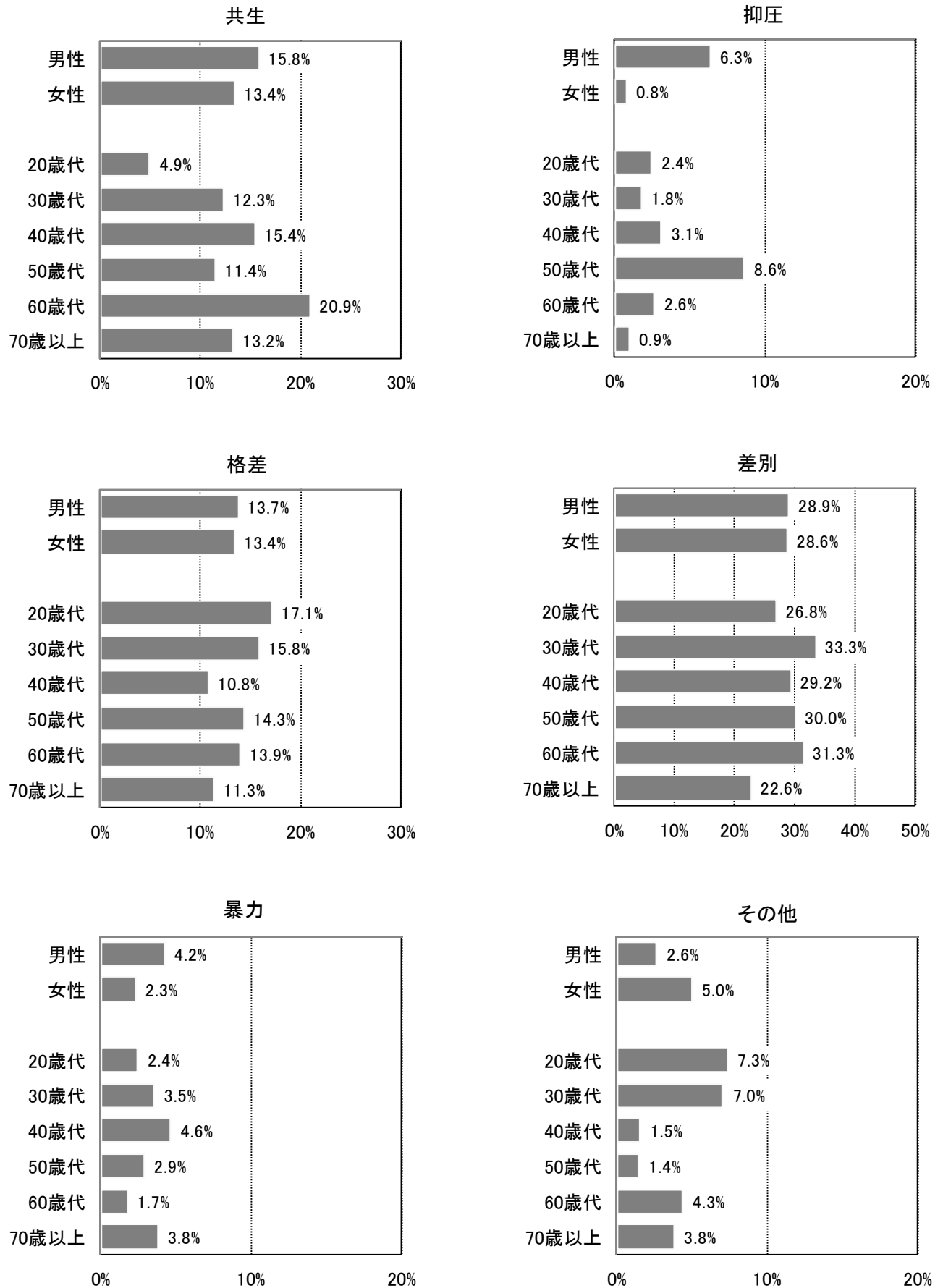


図7-2-2



問8 あなたは、次のような人権問題があることを知っていますか。(認知度)
(各項目の「1 2 3」のうち1つに○)

問9 あなたは、次の人権問題に、どの程度関心を持っていますか。(関心度)
(各項目の「1 2 3 4」のうち1つに○)

認知度を聞いた問8の設問に対して、「よく知っている」の割合は「北朝鮮による拉致問題」が36.5%と最も高く、「障がい者の人権問題」33.3%、「女性の人権問題」31.9%、「子どもの人権問題」31.0%、「高齢者の人権問題」29.1%の順になっています。

一方、関心度を聞いた問9の設問に対しては、「関心がある(「非常に関心がある」と「多少関心がある」の合計値)」が「子どもの人権問題」84.4%、「高齢者の人権問題」83.1%、「障がい者の人権問題」81.6%、「女性の人権問題」80.2%の順に高くなっています。

「アイヌの人々の人権問題」、「同和問題」、「外国人の人権問題」、「性的指向の異なる人々の人権問題」、「ホームレスの人権問題」、「性同一性障がい者の人権問題」、「刑を終えて出所した人々の人権問題」で「関心がある」が50%未満となっています。

図8・9-1

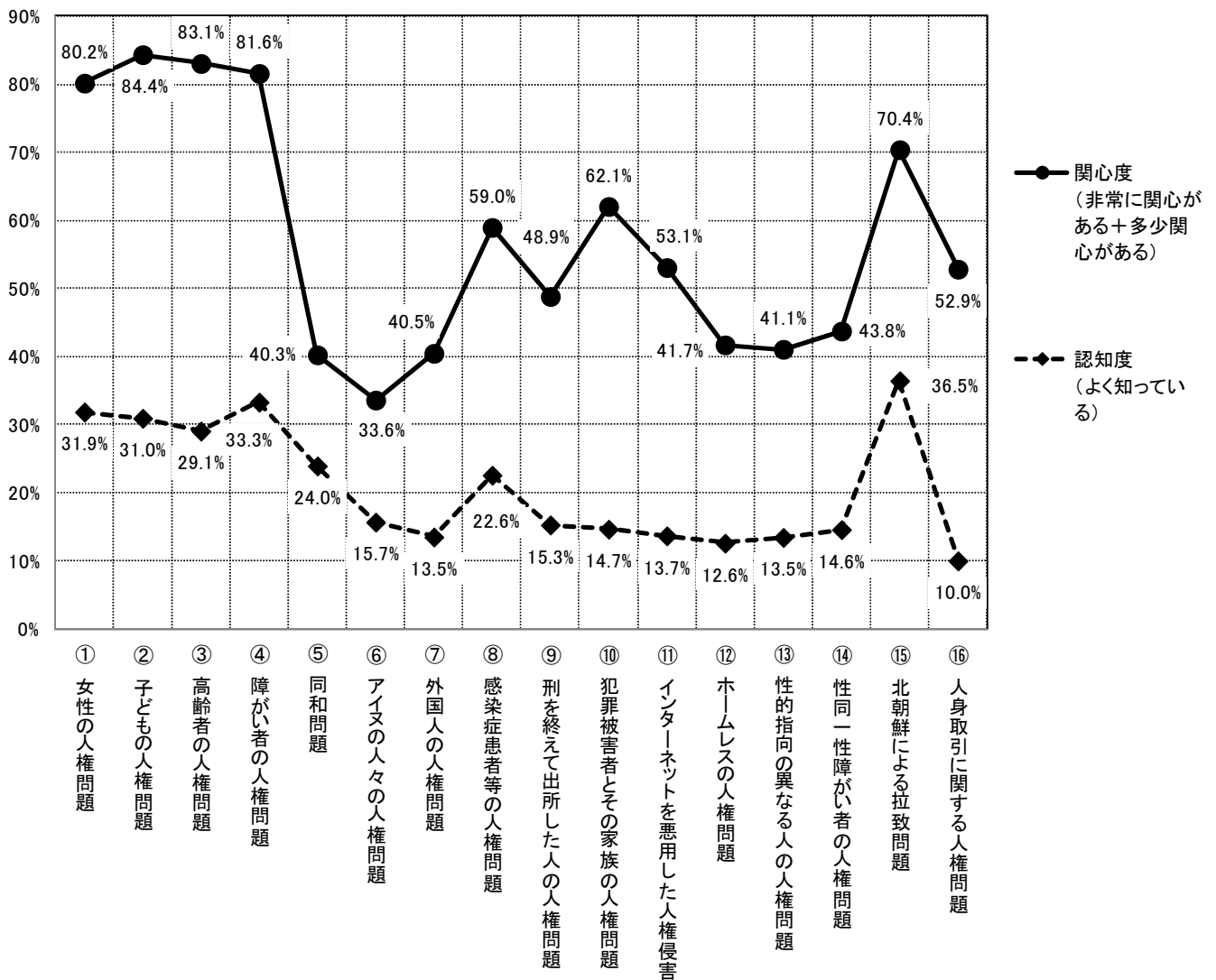


表 8-1

項目	区分	よく 知っている	よく 知らない	知らない、 わからない	有効回答	無回答	総回答数
① 女性の人権問題	全体	140	270	29	439	15	454
	男性	68	104	14	186	4	190
	女性	72	166	14	252	10	262
② 子どもの人権問題	全体	135	252	49	436	18	454
	男性	64	97	24	185	5	190
	女性	71	154	25	250	12	262
③ 高齢者の人権問題	全体	128	255	57	440	14	454
	男性	63	99	25	187	3	190
	女性	64	155	32	251	11	262
④ 障がい者の人権問題	全体	145	254	36	435	19	454
	男性	71	100	14	185	5	190
	女性	74	154	22	250	12	262
⑤ 同和問題	全体	104	185	145	434	20	454
	男性	58	78	50	186	4	190
	女性	46	107	94	247	15	262
⑥ アイヌの人々の人権問題	全体	69	214	156	439	15	454
	男性	39	95	54	188	2	190
	女性	30	119	101	250	12	262
⑦ 外国人の人権問題	全体	59	243	134	436	18	454
	男性	34	104	47	185	5	190
	女性	25	139	86	250	12	262
⑧ 感染症患者等の人権問題	全体	99	258	81	438	16	454
	男性	46	112	29	187	3	190
	女性	53	145	52	250	12	262
⑨ 刑を終えて出所した人の人権問題	全体	67	244	127	438	16	454
	男性	39	100	48	187	3	190
	女性	28	144	78	250	12	262
⑩ 犯罪被害者とその家族の人権問題	全体	64	261	111	436	18	454
	男性	35	114	37	186	4	190
	女性	29	147	73	249	13	262
⑪ インターネットを悪用した 人権侵害	全体	60	242	136	438	16	454
	男性	34	105	48	187	3	190
	女性	26	137	87	250	12	262
⑫ ホームレスの人権問題	全体	55	230	151	436	18	454
	男性	30	102	54	186	4	190
	女性	25	128	96	249	13	262
⑬ 性的指向の異なる人の人権問題	全体	59	236	143	438	16	454
	男性	27	97	63	187	3	190
	女性	32	138	80	250	12	262
⑭ 性同一性障がい者の人権問題	全体	64	247	127	438	16	454
	男性	29	103	56	188	2	190
	女性	35	144	70	249	13	262
⑮ 北朝鮮による拉致問題	全体	159	224	53	436	18	454
	男性	83	90	13	186	4	190
	女性	76	133	40	249	13	262
⑯ 人身取引に関する人権問題	全体	44	251	144	439	15	454
	男性	24	118	45	187	3	190
	女性	20	133	98	251	11	262

表 8-2

項目	区分	よく知っている	よく知らない	知らない、わからない	計
① 女性の人権問題	全体	31.9%	61.5%	6.6%	100.0%
	男性	36.6%	55.9%	7.5%	100.0%
	女性	28.6%	65.9%	5.6%	100.0%
② 子どもの人権問題	全体	31.0%	57.8%	11.2%	100.0%
	男性	34.6%	52.4%	13.0%	100.0%
	女性	28.4%	61.6%	10.0%	100.0%
③ 高齢者の人権問題	全体	29.1%	58.0%	13.0%	100.0%
	男性	33.7%	52.9%	13.4%	100.0%
	女性	25.5%	61.8%	12.7%	100.0%
④ 障がい者の人権問題	全体	33.3%	58.4%	8.3%	100.0%
	男性	38.4%	54.1%	7.6%	100.0%
	女性	29.6%	61.6%	8.8%	100.0%
⑤ 同和問題	全体	24.0%	42.6%	33.4%	100.0%
	男性	31.2%	41.9%	26.9%	100.0%
	女性	18.6%	43.3%	38.1%	100.0%
⑥ アイヌの人々の人権問題	全体	15.7%	48.7%	35.5%	100.0%
	男性	20.7%	50.5%	28.7%	100.0%
	女性	12.0%	47.6%	40.4%	100.0%
⑦ 外国人の人権問題	全体	13.5%	55.7%	30.7%	100.0%
	男性	18.4%	56.2%	25.4%	100.0%
	女性	10.0%	55.6%	34.4%	100.0%
⑧ 感染症患者等の人権問題	全体	22.6%	58.9%	18.5%	100.0%
	男性	24.6%	59.9%	15.5%	100.0%
	女性	21.2%	58.0%	20.8%	100.0%
⑨ 刑を終えて出所した人の人権問題	全体	15.3%	55.7%	29.0%	100.0%
	男性	20.9%	53.5%	25.7%	100.0%
	女性	11.2%	57.6%	31.2%	100.0%
⑩ 犯罪被害者とその家族の人権問題	全体	14.7%	59.9%	25.5%	100.0%
	男性	18.8%	61.3%	19.9%	100.0%
	女性	11.6%	59.0%	29.3%	100.0%
⑪ インターネットを悪用した人権侵害	全体	13.7%	55.3%	31.1%	100.0%
	男性	18.2%	56.1%	25.7%	100.0%
	女性	10.4%	54.8%	34.8%	100.0%
⑫ ホームレスの人権問題	全体	12.6%	52.8%	34.6%	100.0%
	男性	16.1%	54.8%	29.0%	100.0%
	女性	10.0%	51.4%	38.6%	100.0%
⑬ 性的指向の異なる人の人権問題	全体	13.5%	53.9%	32.6%	100.0%
	男性	14.4%	51.9%	33.7%	100.0%
	女性	12.8%	55.2%	32.0%	100.0%
⑭ 性同一性障がい者の人権問題	全体	14.6%	56.4%	29.0%	100.0%
	男性	15.4%	54.8%	29.8%	100.0%
	女性	14.1%	57.8%	28.1%	100.0%
⑮ 北朝鮮による拉致問題	全体	36.5%	51.4%	12.2%	100.0%
	男性	44.6%	48.4%	7.0%	100.0%
	女性	30.5%	53.4%	16.1%	100.0%
⑯ 人身取引に関する人権問題	全体	10.0%	57.2%	32.8%	100.0%
	男性	12.8%	63.1%	24.1%	100.0%
	女性	8.0%	53.0%	39.0%	100.0%

図8-1

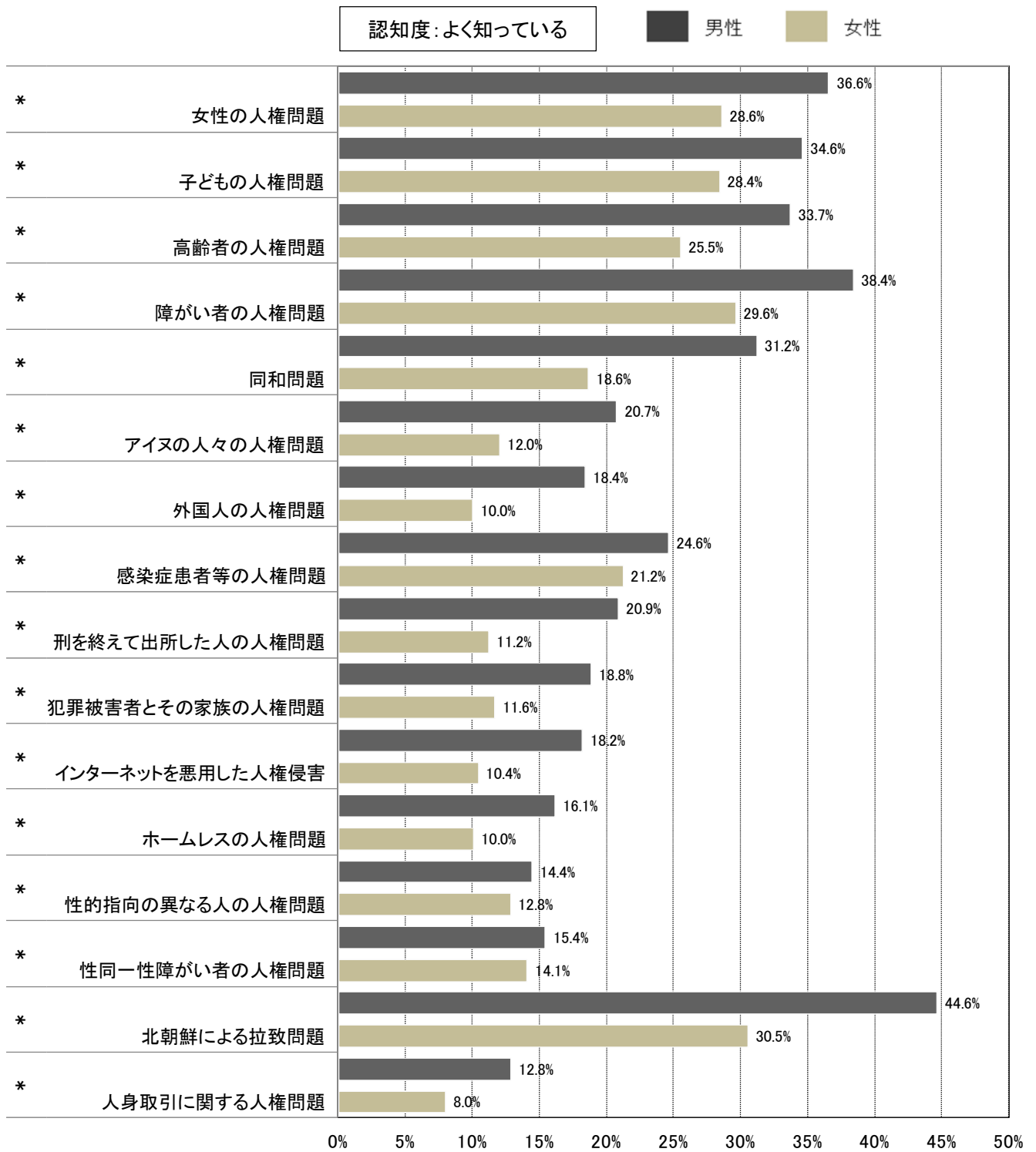


表9-1

項目	区分	非常に 関心がある	多少関心 がある	あまり関 心がない	全く関心 がない	有効回答	無回答	総回答数
① 女性の人権問題	全体	91	261	79	8	439	15	454
	男性	21	111	50	5	187	3	190
	女性	70	149	29	3	251	11	262
② 子どもの人権問題	全体	146	221	59	9	435	19	454
	男性	54	92	33	7	186	4	190
	女性	92	128	26	2	248	14	262
③ 高齢者の人権問題	全体	131	232	65	9	437	17	454
	男性	50	95	34	5	184	6	190
	女性	80	136	31	4	251	11	262
④ 障がい者の人権問題	全体	118	237	67	13	435	19	454
	男性	51	92	32	9	184	6	190
	女性	66	144	35	4	249	13	262
⑤ 同和問題	全体	32	142	195	63	432	22	454
	男性	17	64	73	31	185	5	190
	女性	15	78	122	31	246	16	262
⑥ アイヌの人々の人権問題	全体	28	119	224	66	437	17	454
	男性	12	59	90	27	188	2	190
	女性	16	60	134	38	248	14	262
⑦ 外国人の人権問題	全体	26	151	208	52	437	17	454
	男性	10	66	86	23	185	5	190
	女性	16	85	121	29	251	11	262
⑧ 感染症患者等の人権問題	全体	46	210	154	24	434	20	454
	男性	19	86	69	11	185	5	190
	女性	27	124	85	12	248	14	262
⑨ 刑を終えて出所した人の 人権問題	全体	41	172	181	42	436	18	454
	男性	18	74	73	21	186	4	190
	女性	23	98	108	20	249	13	262
⑩ 犯罪被害者とその家族の 人権問題	全体	66	204	135	30	435	19	454
	男性	30	88	51	17	186	4	190
	女性	36	116	84	12	248	14	262
⑪ インターネットを悪用した 人権侵害	全体	55	176	154	50	435	19	454
	男性	23	81	60	21	185	5	190
	女性	32	95	94	28	249	13	262
⑫ ホームレスの人権問題	全体	27	155	202	52	436	18	454
	男性	9	71	82	25	187	3	190
	女性	18	84	119	27	248	14	262
⑬ 性的指向の異なる人の 人権問題	全体	25	155	187	71	438	16	454
	男性	8	64	82	33	187	3	190
	女性	17	91	105	37	250	12	262
⑭ 性同一性障がい者の 人権問題	全体	25	165	177	67	434	20	454
	男性	6	64	86	29	185	5	190
	女性	19	100	91	38	248	14	262
⑮ 北朝鮮による拉致問題	全体	111	196	104	25	436	18	454
	男性	57	82	38	10	187	3	190
	女性	54	114	65	15	248	14	262
⑯ 人身取引に関する人権問題	全体	62	169	154	52	437	17	454
	男性	30	75	65	17	187	3	190
	女性	32	94	89	34	249	13	262

表9-2

項目	区分	1	2	1+2 関心がある	3	4	計
		非常に関心 がある	多少関心が ある		あまり関心 がない	全く関心が ない	
① 女性の人権問題	全体	20.7%	59.5%	80.2%	18.0%	1.8%	100.0%
	男性	11.2%	59.4%	70.6%	26.7%	2.7%	100.0%
	女性	27.9%	59.4%	87.3%	11.6%	1.2%	100.0%
② 子どもの人権問題	全体	33.6%	50.8%	84.4%	13.6%	2.1%	100.0%
	男性	29.0%	49.5%	78.5%	17.7%	3.8%	100.0%
	女性	37.1%	51.6%	88.7%	10.5%	0.8%	100.0%
③ 高齢者の人権問題	全体	30.0%	53.1%	83.1%	14.9%	2.1%	100.0%
	男性	27.2%	51.6%	78.8%	18.5%	2.7%	100.0%
	女性	31.9%	54.2%	86.1%	12.4%	1.6%	100.0%
④ 障がい者の人権問題	全体	27.1%	54.5%	81.6%	15.4%	3.0%	100.0%
	男性	27.7%	50.0%	77.7%	17.4%	4.9%	100.0%
	女性	26.5%	57.8%	84.3%	14.1%	1.6%	100.0%
⑤ 同和問題	全体	7.4%	32.9%	40.3%	45.1%	14.6%	100.0%
	男性	9.2%	34.6%	43.8%	39.5%	16.8%	100.0%
	女性	6.1%	31.7%	37.8%	49.6%	12.6%	100.0%
⑥ アイヌの人々の人権問題	全体	6.4%	27.2%	33.6%	51.3%	15.1%	100.0%
	男性	6.4%	31.4%	37.8%	47.9%	14.4%	100.0%
	女性	6.5%	24.2%	30.6%	54.0%	15.3%	100.0%
⑦ 外国人の人権問題	全体	5.9%	34.6%	40.5%	47.6%	11.9%	100.0%
	男性	5.4%	35.7%	41.1%	46.5%	12.4%	100.0%
	女性	6.4%	33.9%	40.2%	48.2%	11.6%	100.0%
⑧ 感染症患者等の人権問題	全体	10.6%	48.4%	59.0%	35.5%	5.5%	100.0%
	男性	10.3%	46.5%	56.8%	37.3%	5.9%	100.0%
	女性	10.9%	50.0%	60.9%	34.3%	4.8%	100.0%
⑨ 刑を終えて出所した 人の人権問題	全体	9.4%	39.4%	48.9%	41.5%	9.6%	100.0%
	男性	9.7%	39.8%	49.5%	39.2%	11.3%	100.0%
	女性	9.2%	39.4%	48.6%	43.4%	8.0%	100.0%
⑩ 犯罪被害者とその家族の 人権問題	全体	15.2%	46.9%	62.1%	31.0%	6.9%	100.0%
	男性	16.1%	47.3%	63.4%	27.4%	9.1%	100.0%
	女性	14.5%	46.8%	61.3%	33.9%	4.8%	100.0%
⑪ インターネットを悪用 した人権侵害	全体	12.6%	40.5%	53.1%	35.4%	11.5%	100.0%
	男性	12.4%	43.8%	56.2%	32.4%	11.4%	100.0%
	女性	12.9%	38.2%	51.0%	37.8%	11.2%	100.0%
⑫ ホームレスの人権問題	全体	6.2%	35.6%	41.7%	46.3%	11.9%	100.0%
	男性	4.8%	38.0%	42.8%	43.9%	13.4%	100.0%
	女性	7.3%	33.9%	41.1%	48.0%	10.9%	100.0%
⑬ 性的指向の異なる人の 人権問題	全体	5.7%	35.4%	41.1%	42.7%	16.2%	100.0%
	男性	4.3%	34.2%	38.5%	43.9%	17.6%	100.0%
	女性	6.8%	36.4%	43.2%	42.0%	14.8%	100.0%
⑭ 性同一性障がい者の 人権問題	全体	5.8%	38.0%	43.8%	40.8%	15.4%	100.0%
	男性	3.2%	34.6%	37.8%	46.5%	15.7%	100.0%
	女性	7.7%	40.3%	48.0%	36.7%	15.3%	100.0%
⑮ 北朝鮮による拉致問題	全体	25.5%	45.0%	70.4%	23.9%	5.7%	100.0%
	男性	30.5%	43.9%	74.3%	20.3%	5.3%	100.0%
	女性	21.8%	46.0%	67.7%	26.2%	6.0%	100.0%
⑯ 人身取引に関する 人権問題	全体	14.2%	38.7%	52.9%	35.2%	11.9%	100.0%
	男性	16.0%	40.1%	56.1%	34.8%	9.1%	100.0%
	女性	12.9%	37.8%	50.6%	35.7%	13.7%	100.0%

図9-1

関心度:関心がある(非常に関心がある+多少関心がある)

男性 女性

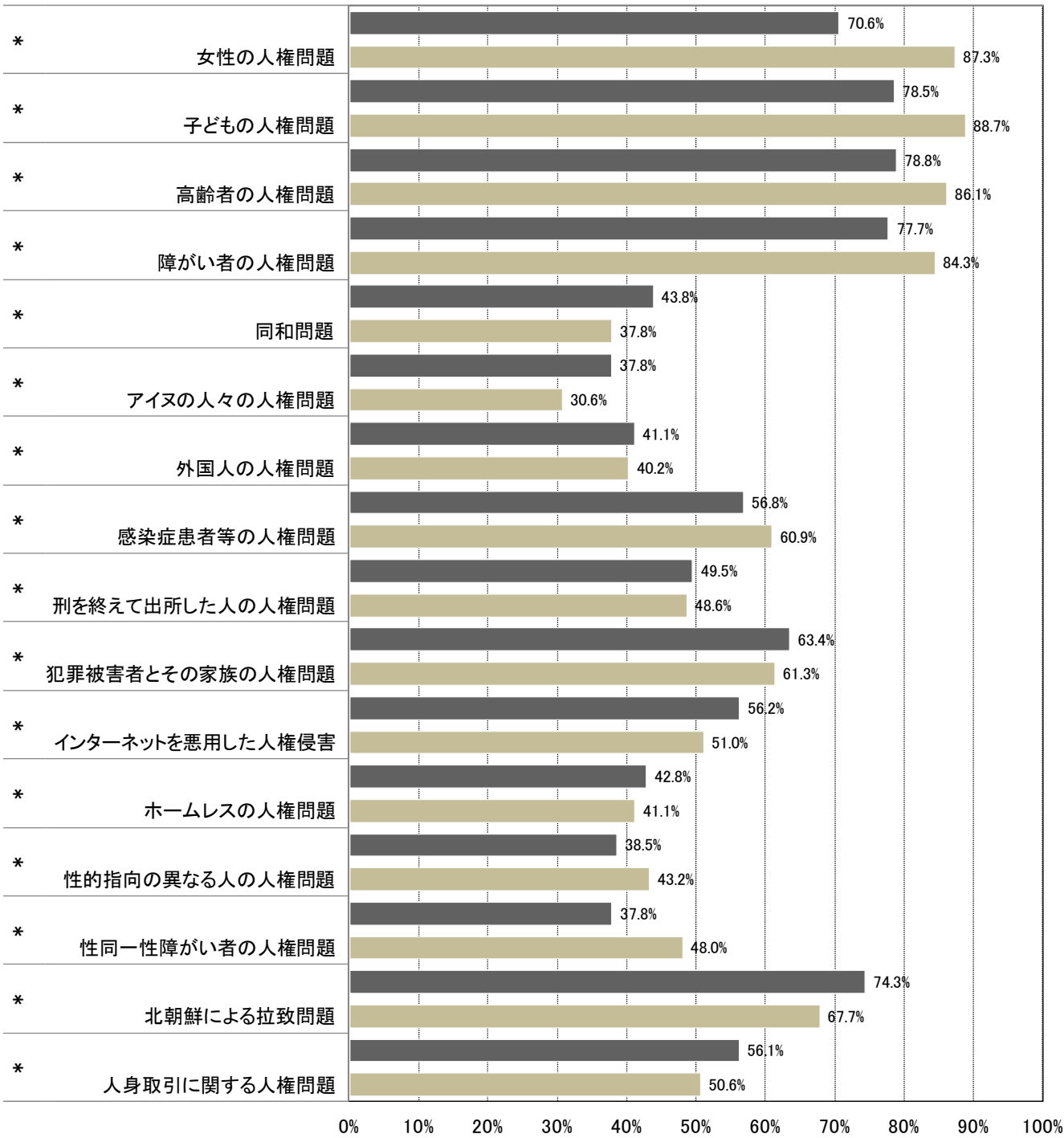
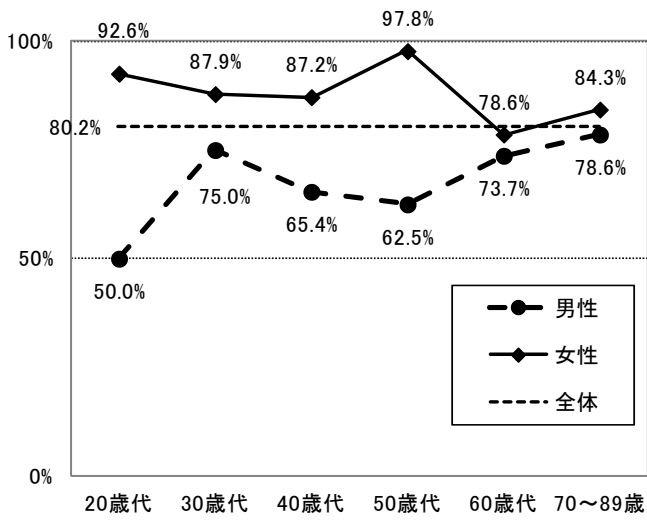
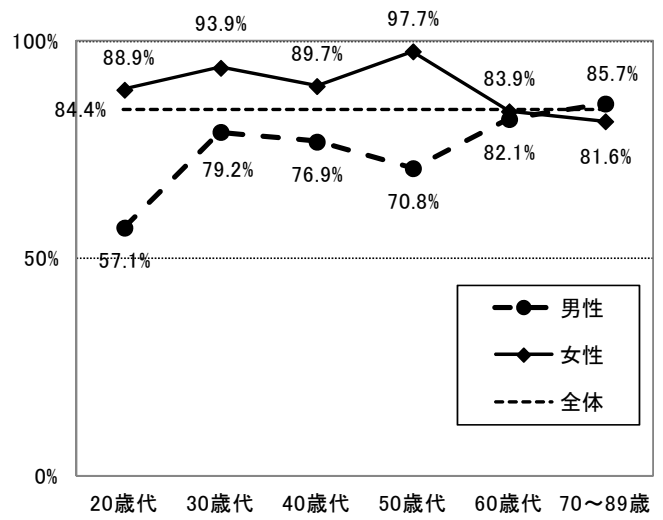


図9-2-1

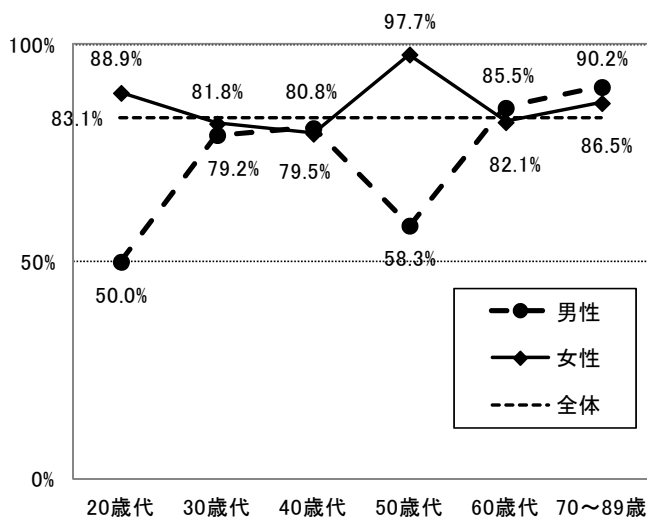
女性の人権問題



子どもの人権問題



高齢者の人権問題



障がい者の人権問題

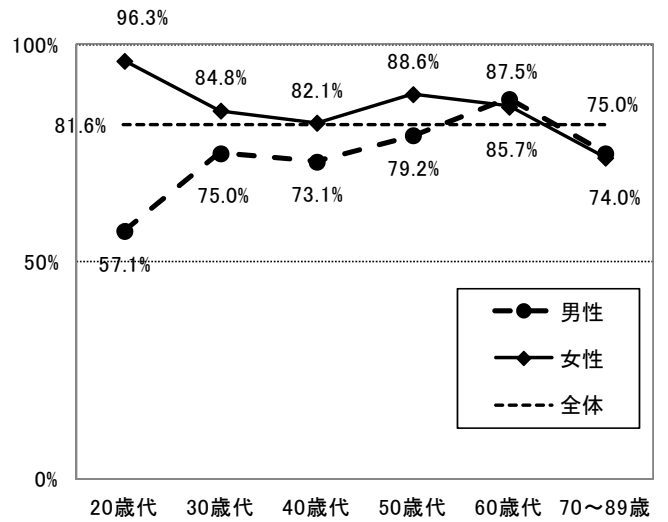
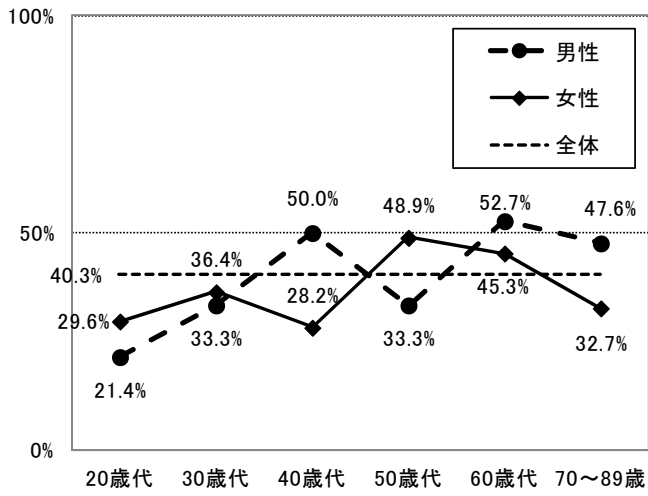
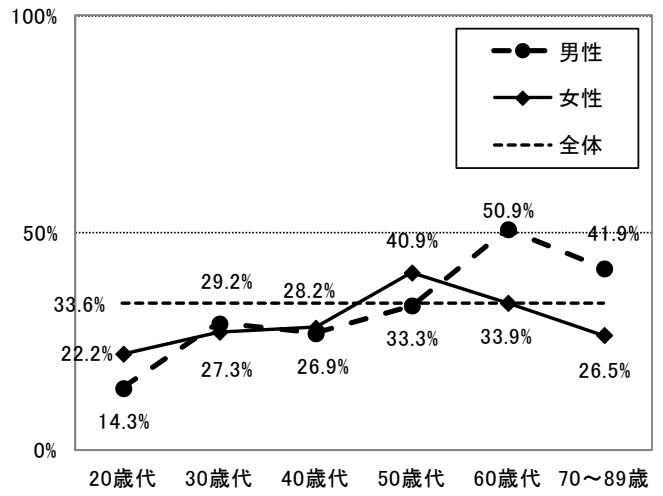


図9-2-2

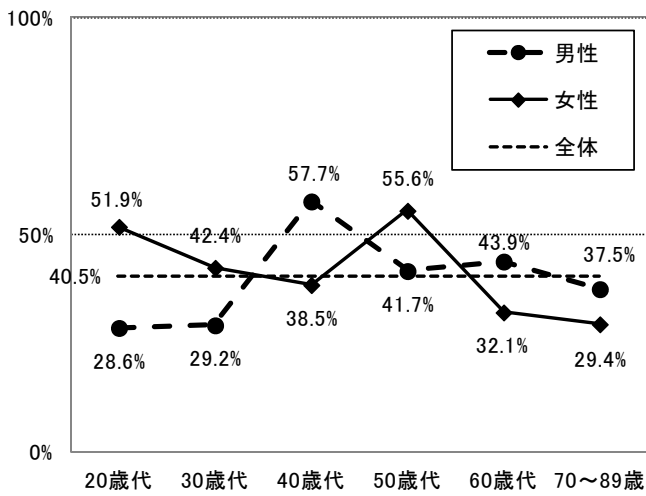
同和問題



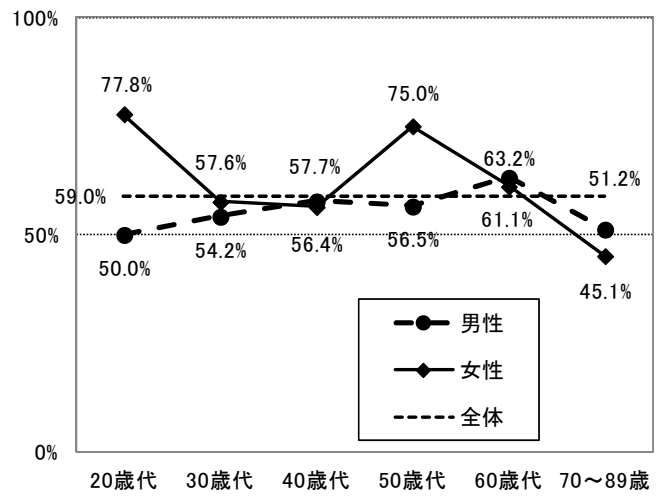
アイヌの人々の人権問題



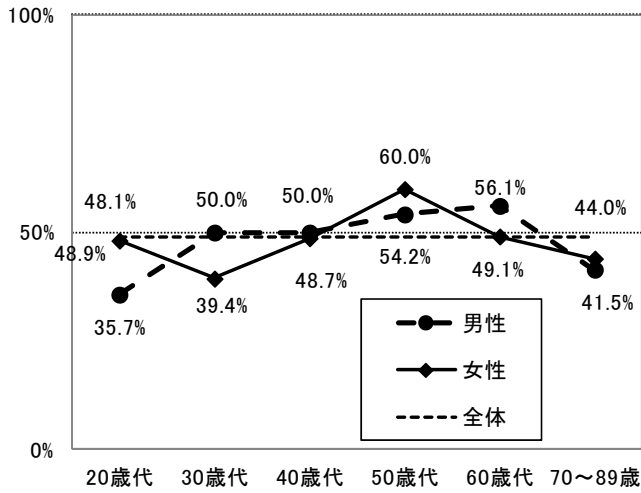
外国人の人権問題



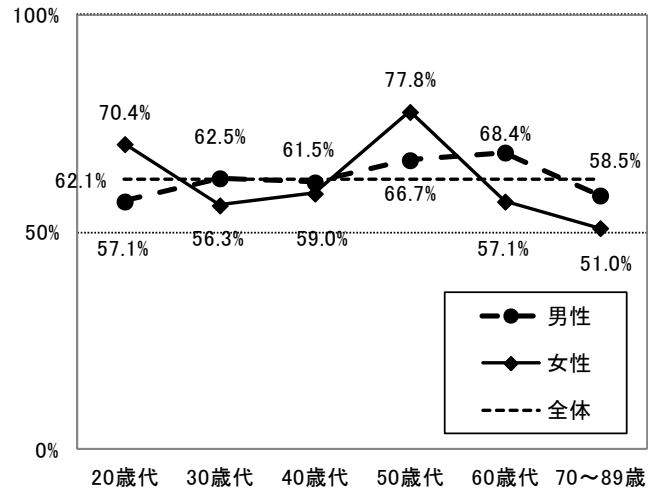
感染症患者等の人権問題



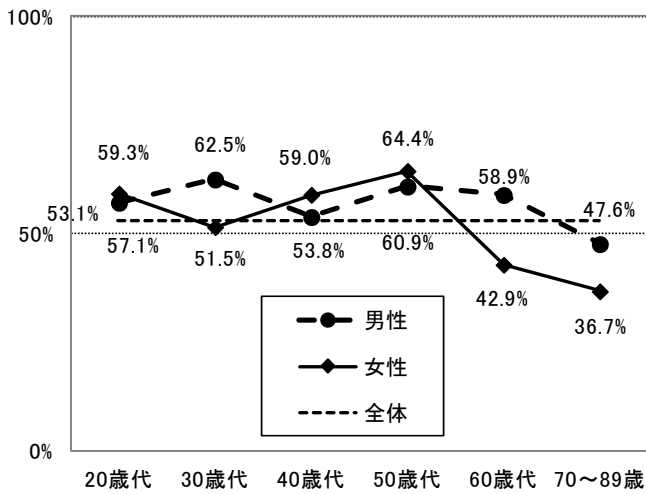
刑を終えて出所した人の人権問題



犯罪被害者とその家族の人権問題



インターネットを悪用した人権侵害



ホームレスの人権問題

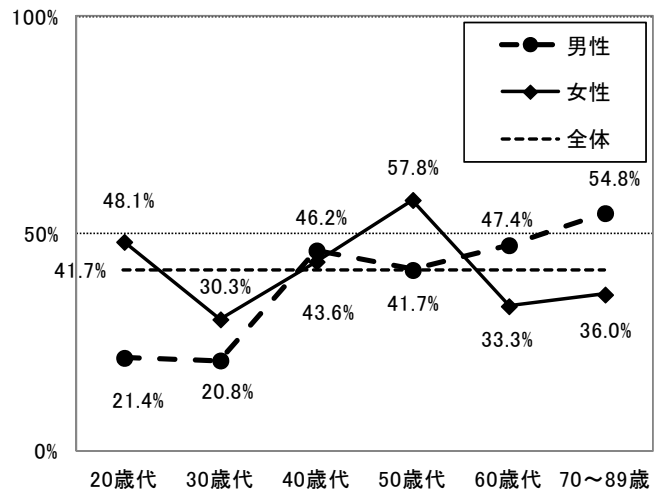
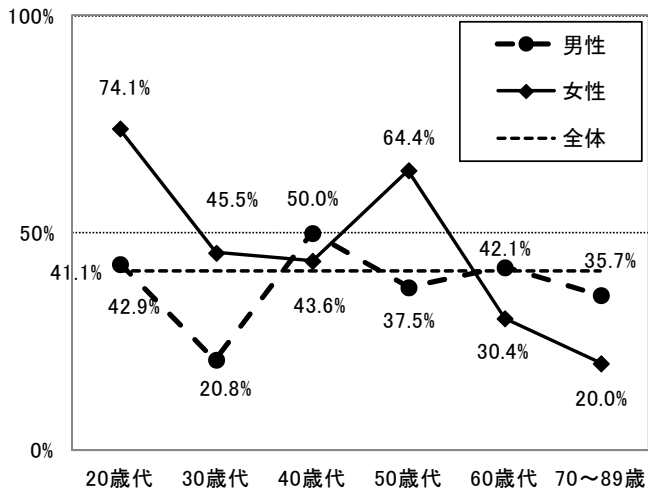
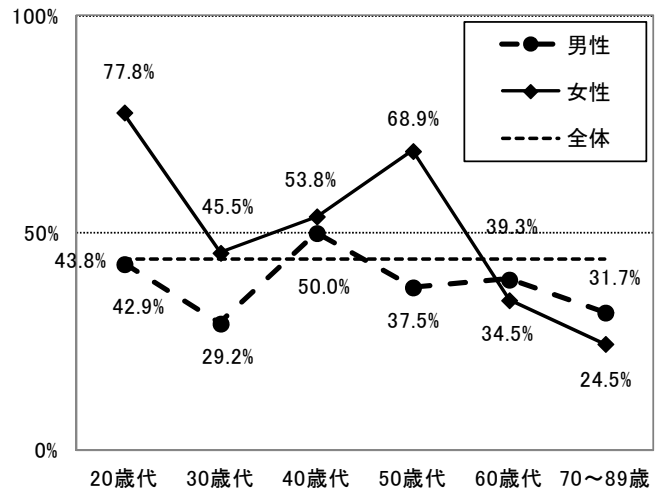


図9-2-4

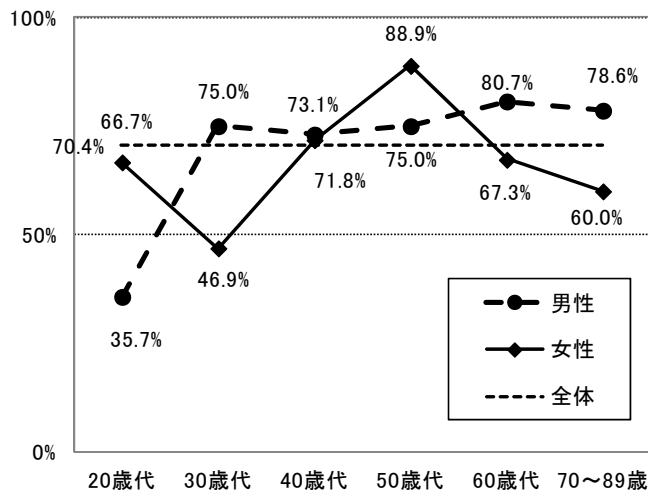
性的指向の異なる人の人権問題



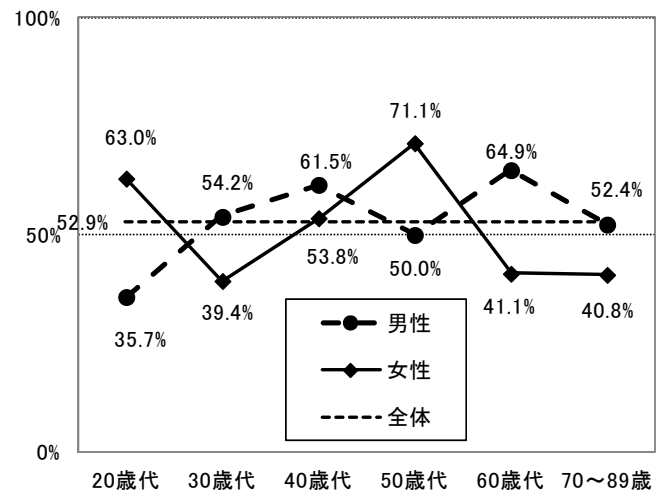
性同一性障がい者の人権問題



北朝鮮による拉致問題



人身取引に関する人権問題



問 10	あなたは、過去5年間の日常生活の中で、人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇など）されたと感じたことがありますか。（〇はひとつだけ）
------	--

人権侵害を受けた経験については、「ある」が16.8%で、約6人に1人が「ある」と回答していました。

性別で見ると、「ある」と回答した率は、男性が13.1%、女性が19.2%でした。女性が男性の約1.5倍となっています。

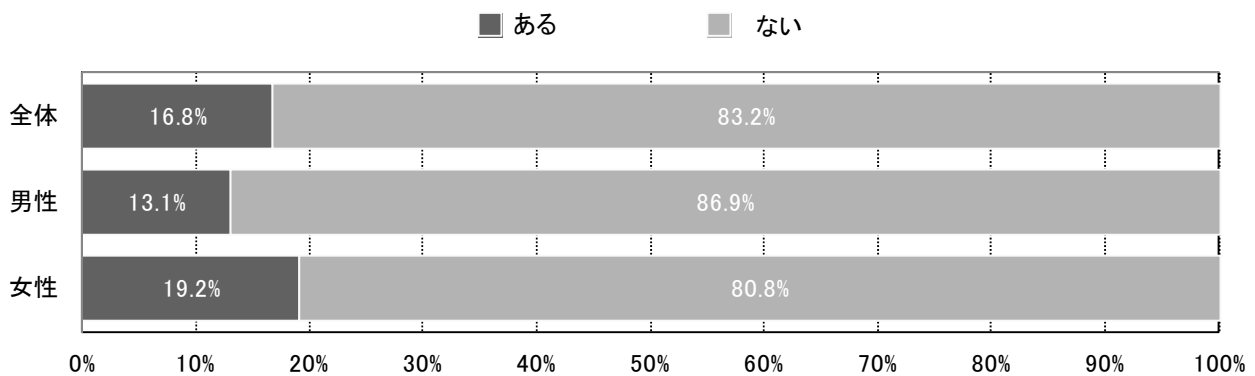
表 10-1

項目	選択肢	ある	ない	有効回答	無回答	総回答数	
	全体	74	366	440	14	454	
性別	男性	24	159	183	7	190	452
	女性	49	206	255	7	262	

表 10-2

選択肢	ある	ない	計
全体	16.8%	83.2%	100.0%
男性	13.1%	86.9%	100.0%
女性	19.2%	80.8%	100.0%

図 10-1



問 11	問 10 で、「1」を選択された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。 (〇はいくつでも)
------	--

人権を侵害された具体的な内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が40.5%で最も多く、次いで「学校・職場における不平等または不利益な取扱い」が37.8%、「プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）」が28.4%でした。

性別で見ると、男性では、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」58.3%、「名誉・信用のき損」33.3%が、女性では「学校・職場における不平等または不利益な取扱い」43.8%、「プライバシーの侵害」及び「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」33.3%が上位を占めています。

男女間で最も差が大きかったのは「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」で、男性が女性より25.0ポイント上回りました。また、「学校・職場における不平等または不利益な取扱い」については、女性が男性より14.6ポイント高いという結果が出ました。

表 11-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	30	14	16	40.5%	58.3%	33.3%
2	名誉・信用のき損、侮辱	17	8	9	23.0%	33.3%	18.8%
3	他人による暴力、脅迫、強要	11	4	7	14.9%	16.7%	14.6%
4	プライバシーの侵害 (職場、家庭、地域)	21	5	16	28.4%	20.8%	33.3%
5	地域での差別待遇	14	2	11	18.9%	8.3%	22.9%
6	家庭での差別待遇	5	2	3	6.8%	8.3%	6.3%
7	学校・職場における不平等または不利益な取扱い	28	7	21	37.8%	29.2%	43.8%
8	ドメスティック・バイオレンス (夫婦間や恋人による暴力)	8	1	7	10.8%	4.2%	14.6%
9	セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	4	0	4	5.4%	0.0%	8.3%
10	ストーカー(つきまとい)行為	7	0	7	9.5%	0.0%	14.6%
11	悪臭・騒音などの公害	14	5	9	18.9%	20.8%	18.8%
12	答えたくない	1	1	0	1.4%	4.2%	0.0%
13	その他	4	2	2	5.4%	8.3%	4.2%
総回答数		164	51	112	221.6%	212.5%	233.3%
有効回答数		74	24	48	—	—	—

◆問 11 のその他の主な意見

- ・パワー・ハラスメント
- ・土地境の侵略
- ・家族による暴力、強要

図 11-1

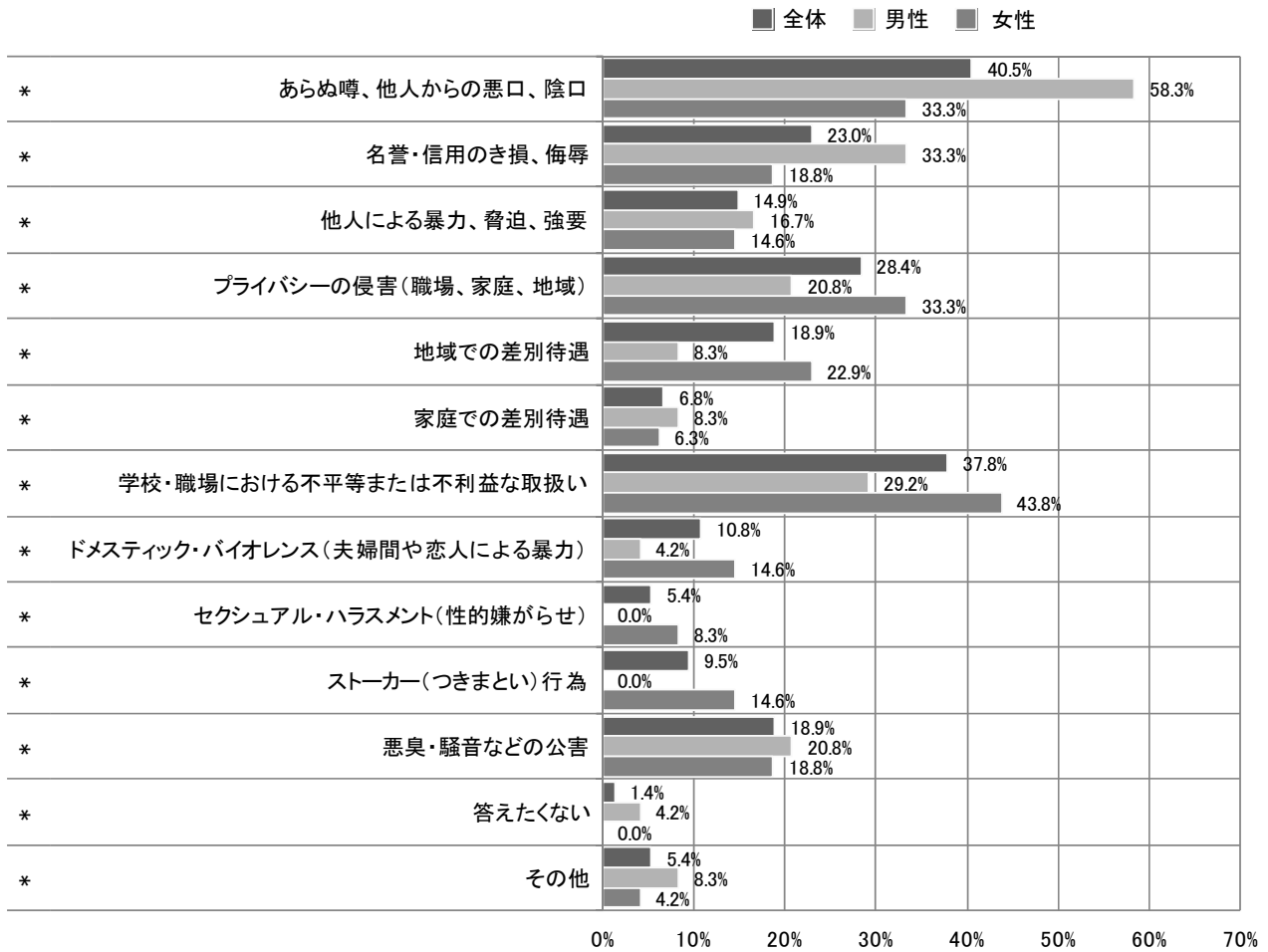
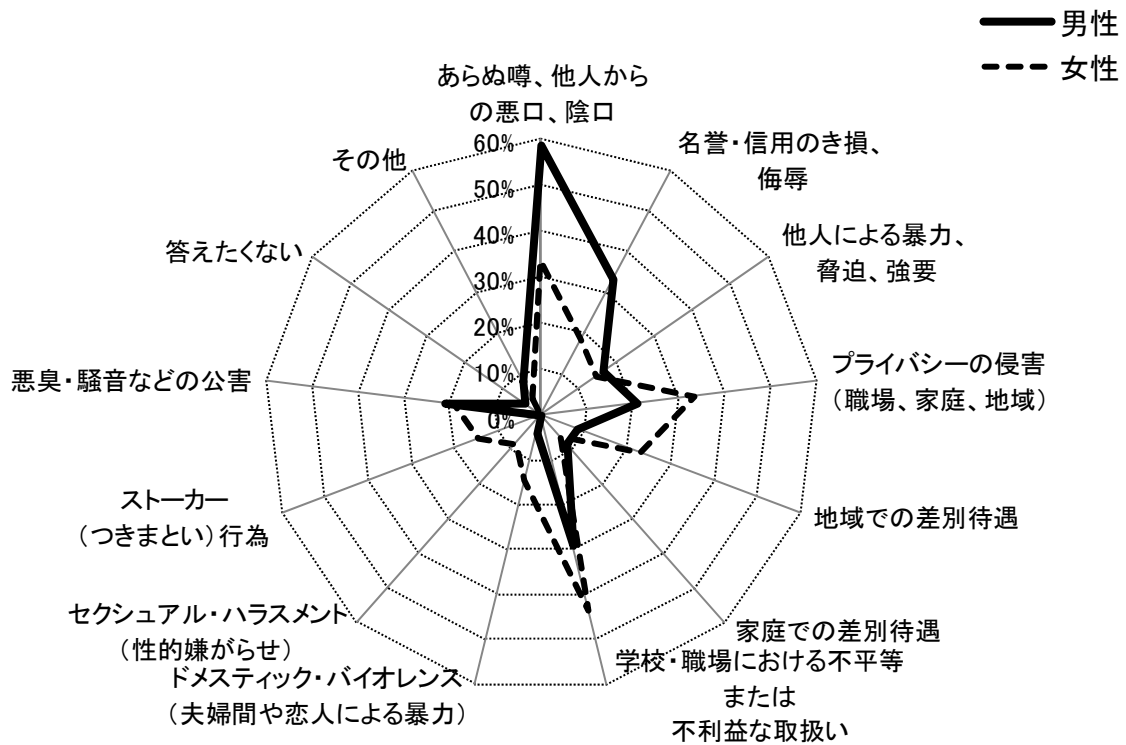


図 11-2



問 12 あなたが、もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(〇はいくつでも)

人権侵害を受けた場合の対応については、「家族に相談をする」が59.0%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が38.5%、「相手に抗議をする」が35.0%でした。

性別で見ると、女性の71.0%が「家族に相談する」を選択しましたが、男性では43.2%となっています。最も差が大きかったのは「相手に抗議をする」で、男性が53.7%で女性より31.9ポイント上回っています。

また、「弁護士や公的機関」（選択肢7～10）を選択した割合は、「警察に相談する」が最も高く続いて「県や市役所など公的機関」、「弁護士」、「法務局や人権擁護委員」の順になっています。

表 12-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	黙って我慢をする	60	24	35	13.2%	12.6%	13.4%
2	相手に抗議をする	159	102	57	35.0%	53.7%	21.8%
3	家族に相談をする	268	82	186	59.0%	43.2%	71.0%
4	友人に相談をする	175	63	111	38.5%	33.2%	42.4%
5	所属する団体や職場の人に相談をする	93	41	52	20.5%	21.6%	19.8%
6	区長や民生委員等に相談をする	71	30	40	15.6%	15.8%	15.3%
7	弁護士に相談をする	93	48	45	20.5%	25.3%	17.2%
8	法務局や人権擁護委員に相談をする	68	37	31	15.0%	19.5%	11.8%
9	県や市役所など公的機関に相談をする	125	61	64	27.5%	32.1%	24.4%
10	警察に相談をする	142	74	67	31.3%	38.9%	25.6%
11	新聞やテレビなどマスコミに訴える	15	10	5	3.3%	5.3%	1.9%
12	その他	11	5	6	2.4%	2.6%	2.3%
総回答数		1,280	577	699	281.9%	303.7%	266.8%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 12 のその他の主な意見

- ・人権侵害の内容や程度による
- ・インターネットを通じて相談する
- ・わからない

図 12-1

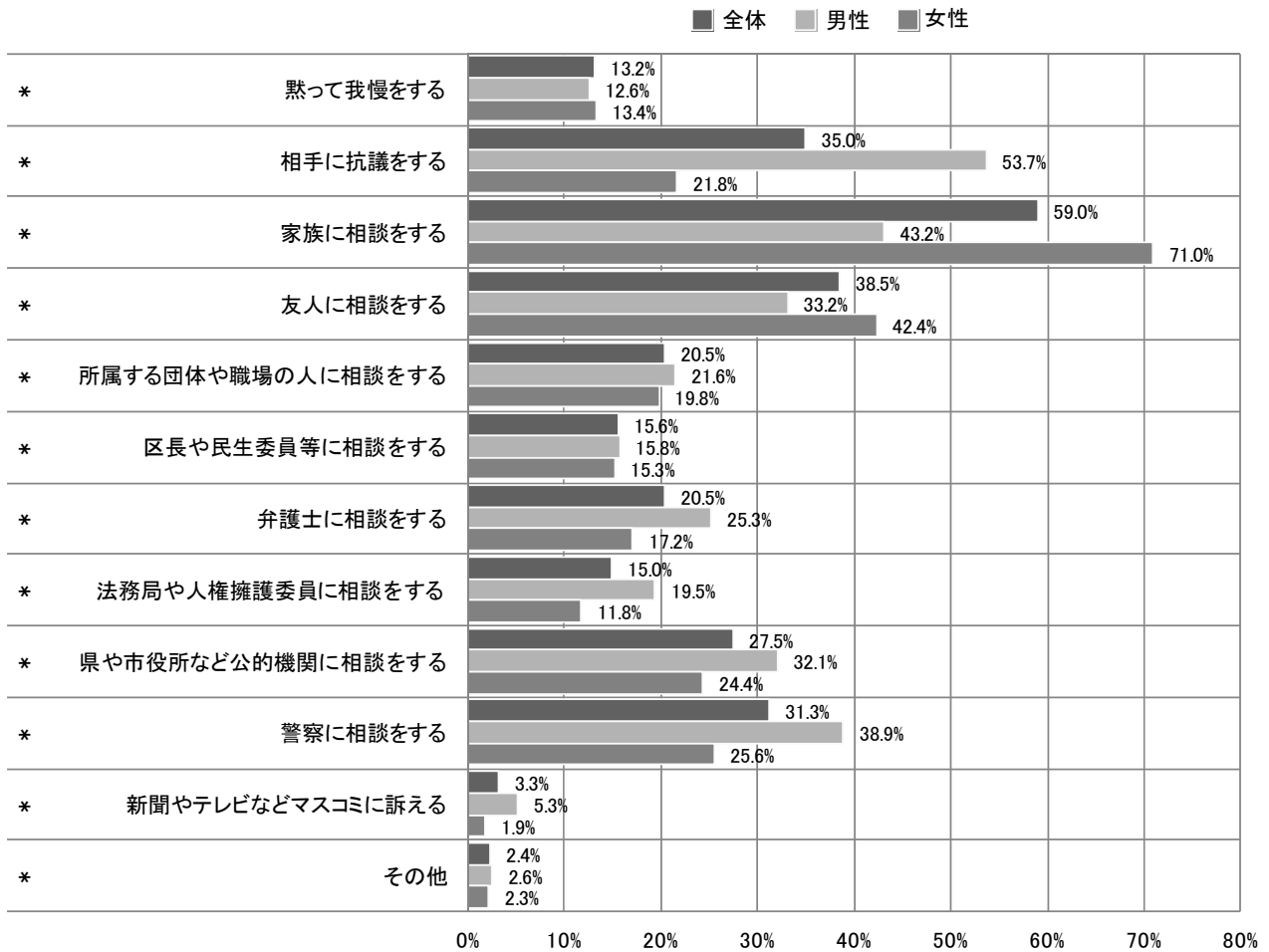
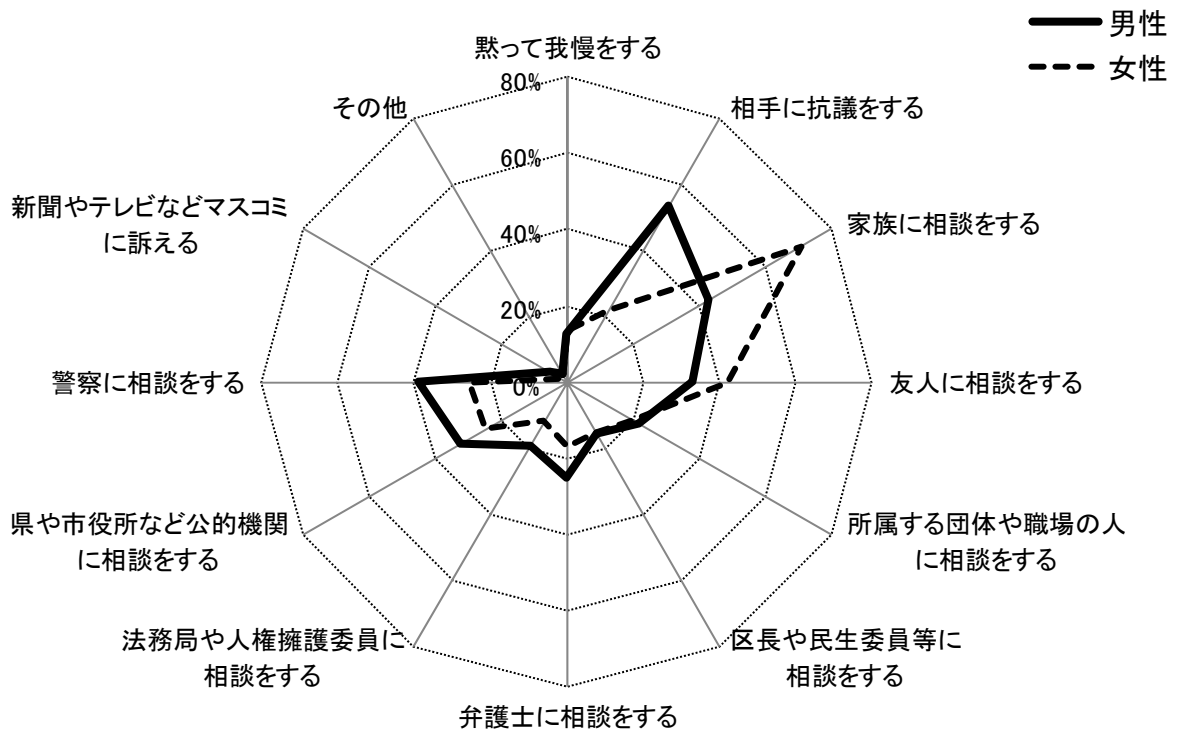


図 12-2



4) 女性の人権について

問 13 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

女性の人権問題で最も問題のある項目については、全体で多い項目は「売春・買春などの犯罪」34.4%、「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」33.0%、「職場における男女の待遇に差別があること」31.9%、「男女の固定的な役割分担意識があること」30.2%の順となっています。

次に、性別で見ると、男性では「職場における男女の待遇に差別があること」38.9%、女性では「売春・買春などの犯罪」36.6%がそれぞれ最上位となっています。

また、男女間で差の大きな項目は、男性では「職場における男女の待遇に差別があること」が11.8ポイント、「政策や方針決定の過程への参画」が7.3ポイント女性より高く、女性では「ドメスティック・バイオレンス」が8.5ポイント、「売春・買春などの犯罪」は5.0ポイント男性より高くなっています。

表 13-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	「男は仕事、女は家事」など、男女の固定的な役割分担意識があること	137	54	82	30.2%	28.4%	31.3%
2	職場における、採用・昇進・昇格などで男女の待遇に差別があること	145	74	71	31.9%	38.9%	27.1%
3	地域社会において、女性の伝統行事への参加制限といった慣習やしきたりが残っていること	48	24	23	10.6%	12.6%	8.8%
4	商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること	45	18	27	9.9%	9.5%	10.3%
5	政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと	64	35	29	14.1%	18.4%	11.1%
6	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）通称：セクハラ	150	61	89	33.0%	32.1%	34.0%
7	ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からのさまざまな暴力）通称：DV	115	39	76	25.3%	20.5%	29.0%
8	売春・買春、援助交際、人身売買、レイプ（強姦）などの犯罪	156	60	96	34.4%	31.6%	36.6%
9	女性の意見を取り上げないなど男性の意識改革が進んでいないこと	71	33	38	15.6%	17.4%	14.5%
10	男性に依存するなど女性の意識改革が進んでいないこと	52	27	25	11.5%	14.2%	9.5%
11	特に問題があると思うことはない	29	16	12	6.4%	8.4%	4.6%
12	わからない	30	9	21	6.6%	4.7%	8.0%
13	その他	4	2	2	0.9%	1.1%	0.8%
総回答数		1,046	452	591	230.4%	237.9%	225.6%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 13 のその他の主な意見

- ・設問に疑問がある
- ・回答がむずかしい

他

図 13-1

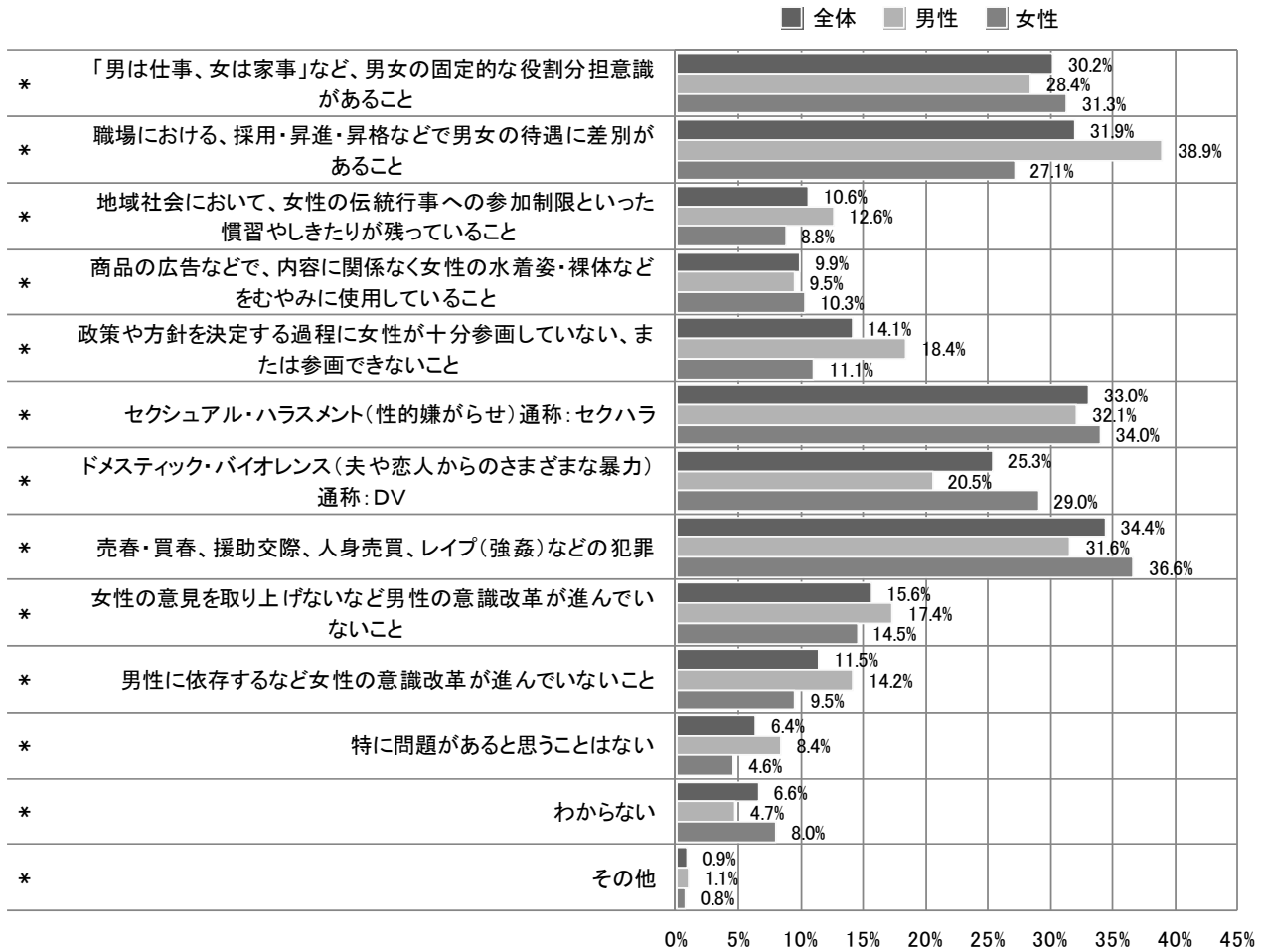
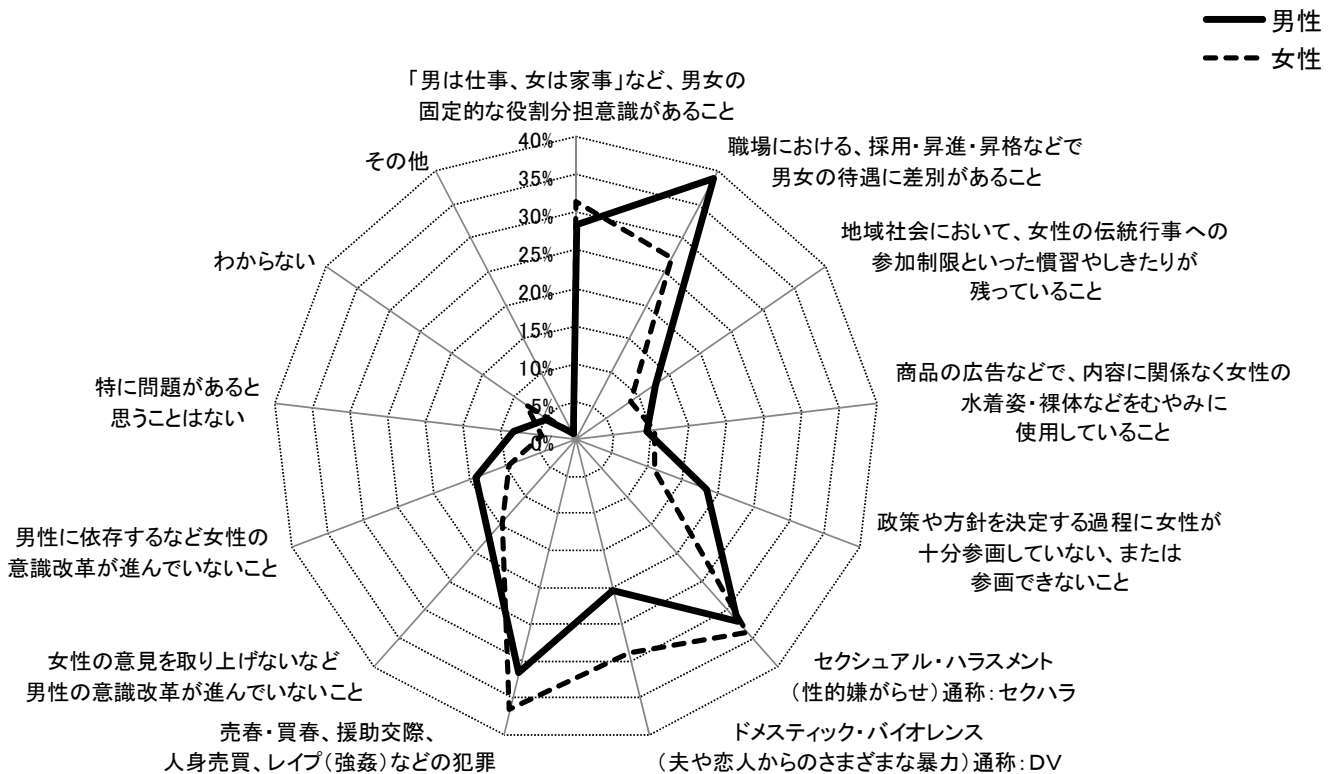


図 13-2



女性の人権問題について年代別で見ると、特に、「男女の固定的な役割分担意識があること」、「職場における男女の待遇に差別があること」に問題があると回答した割合が20歳代において高く、年代が増すごとに問題意識が低くなる傾向にあります。また、「セクシュアル・ハラスメント」について、20歳代～50歳代において問題意識が高くなっています。

図 13-3-1

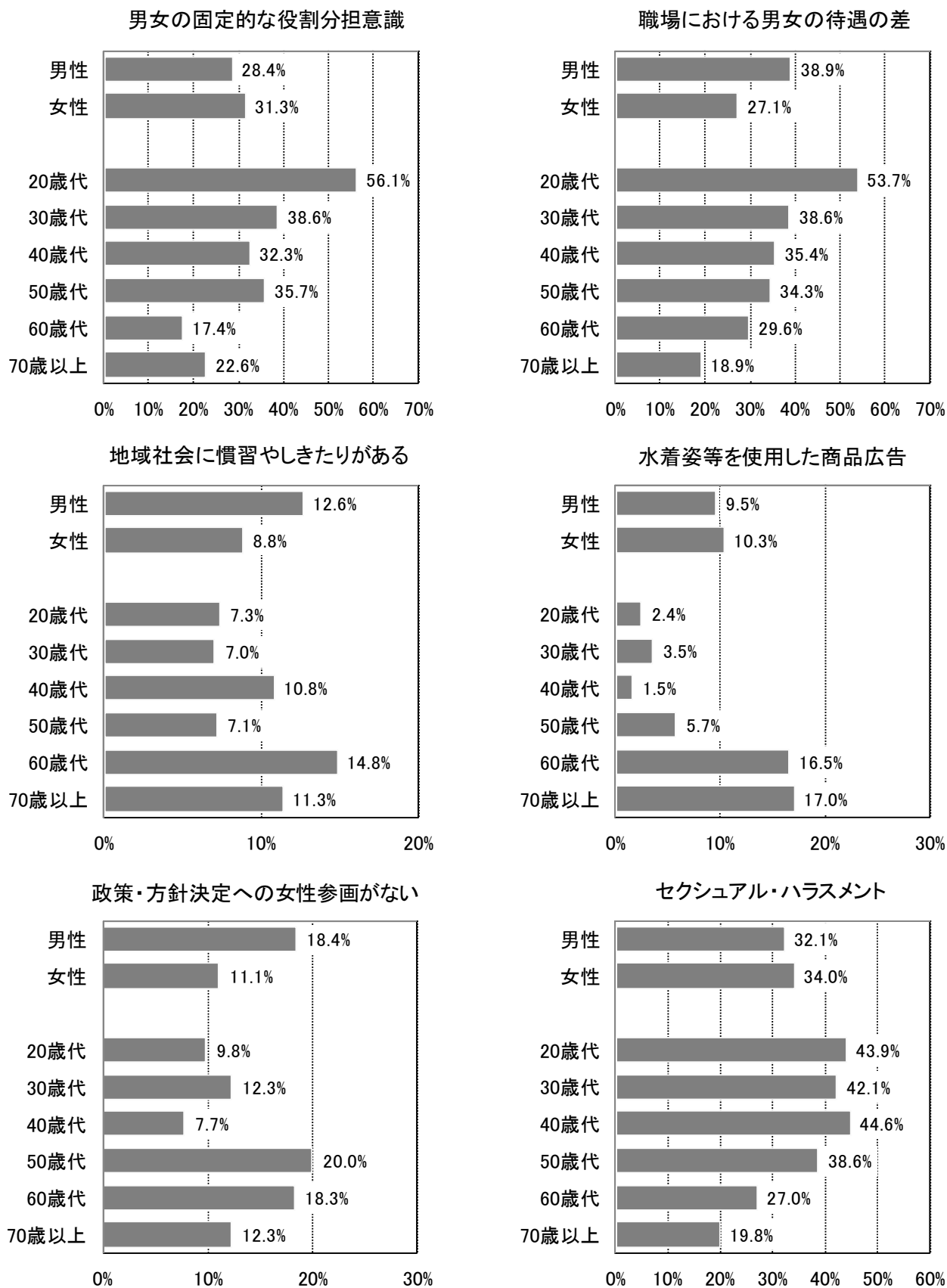
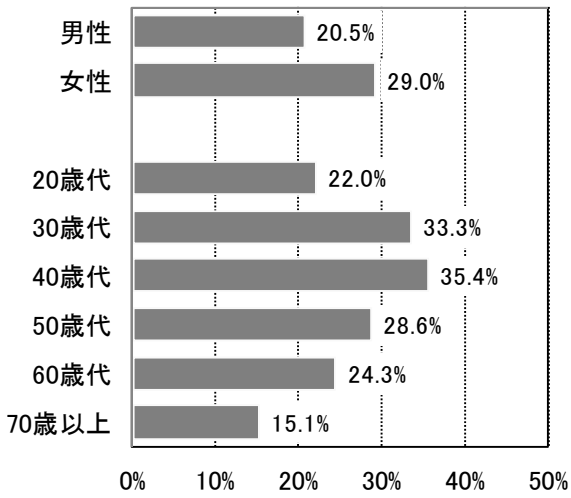
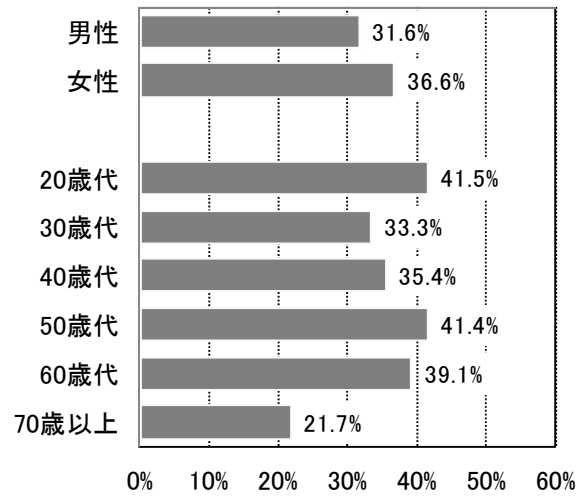


図 13-3-2

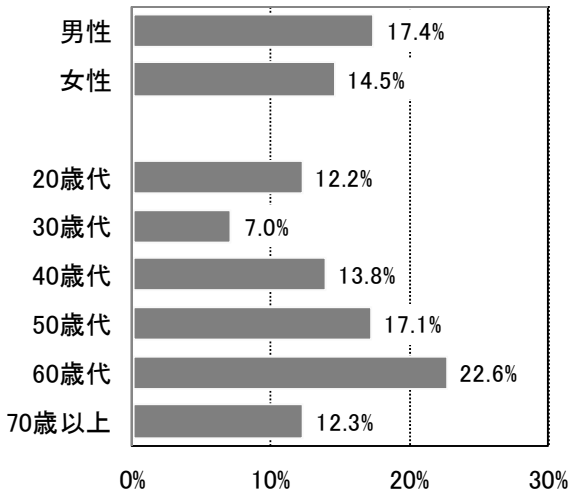
ドメスティック・バイオレンス



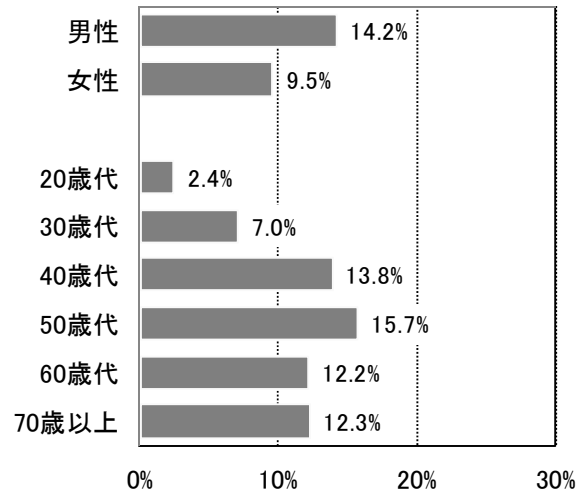
売春・買春等の性的犯罪



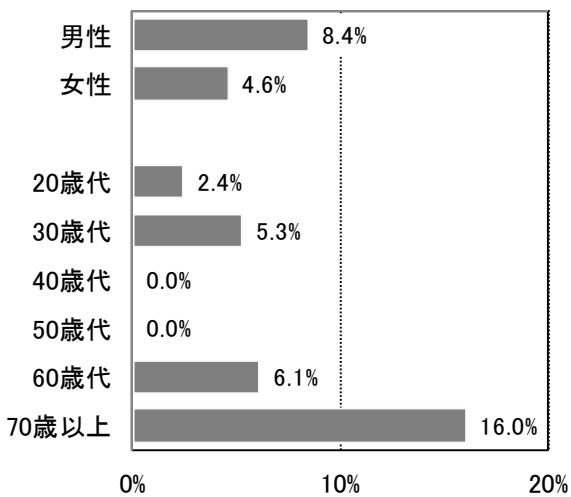
男性の意識改革の遅れ



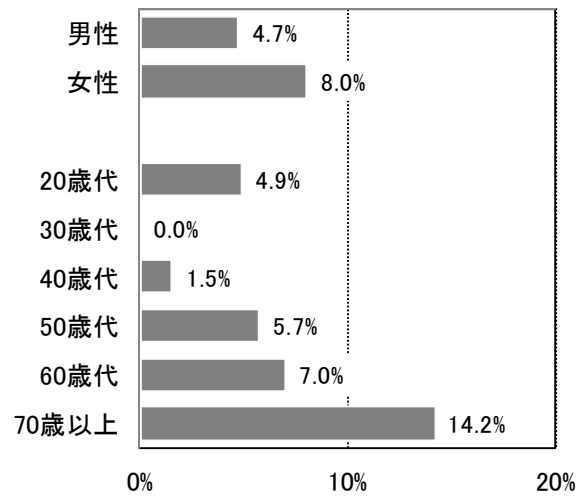
女性の意識改革の遅れ



特に問題はない



わからない



5) 子どもの人権について

問 14	子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	--

子どもの人権問題で問題がある項目については、全体で「身体への暴力や仲間はずれ、無視等のいじめ」が61.5%で最も高く、次いで、「育児放棄（ネグレクト）があること」39.0%、「いじめを見て見ぬふりをする事」38.3%、「親が子どもを虐待すること」35.9%となっており、これら上位の項目では、男女間に大きな差は見られません。

男女間で差の大きな項目は、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」で男性が11.6ポイント、「暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること」で女性が9.5ポイント高い結果になっています。

表 14-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	身体への暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口等、相手がいやがることをしたり、させたりするなどのいじめを行うこと	279	117	161	61.5%	61.6%	61.5%
2	いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	174	79	95	38.3%	41.6%	36.3%
3	親が言うことを聞かない子どもに暴力を加えるなど子どもを虐待すること	163	67	96	35.9%	35.3%	36.6%
4	育児放棄（ネグレクト）があること	177	71	106	39.0%	37.4%	40.5%
5	学校や就職の選択などにおいて、子どもの意見を親が聞かないこと	20	10	10	4.4%	5.3%	3.8%
6	教師が体罰や差別的な扱いを行うこと	35	10	25	7.7%	5.3%	9.5%
7	子どもを成績や学歴だけで判断すること	123	64	58	27.1%	33.7%	22.1%
8	暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること	94	29	65	20.7%	15.3%	24.8%
9	児童買春、援助交際などの犯罪があること	63	29	33	13.9%	15.3%	12.6%
10	特に問題があると思うことはない	8	5	3	1.8%	2.6%	1.1%
11	わからない	20	9	11	4.4%	4.7%	4.2%
12	その他	3	3	0	0.7%	1.6%	0.0%
総回答数		1,159	493	663	255.3%	259.5%	253.1%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 14 のその他の主な意見

- ・親の教育不足
- ・子育て支援の充実

図 14-1

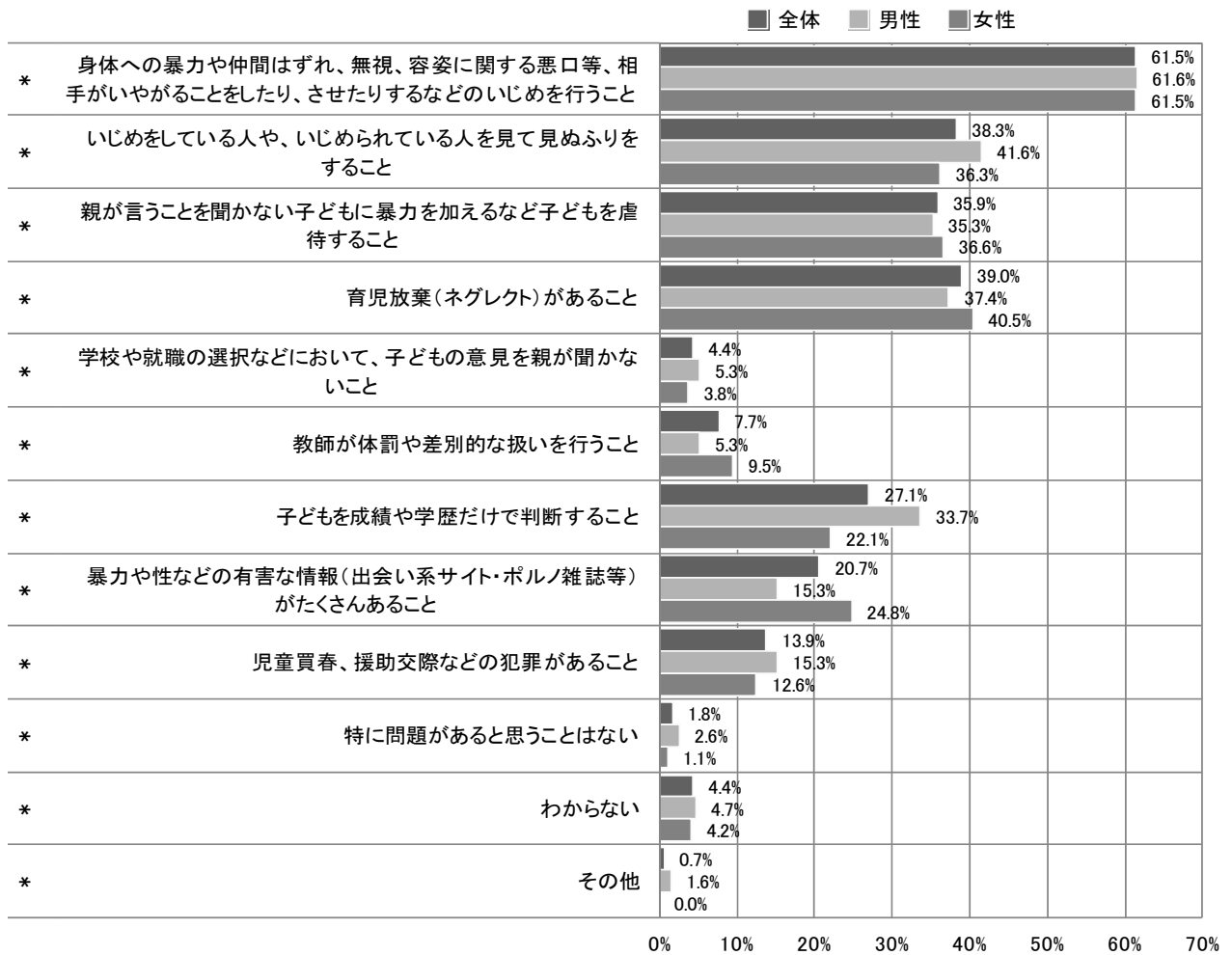
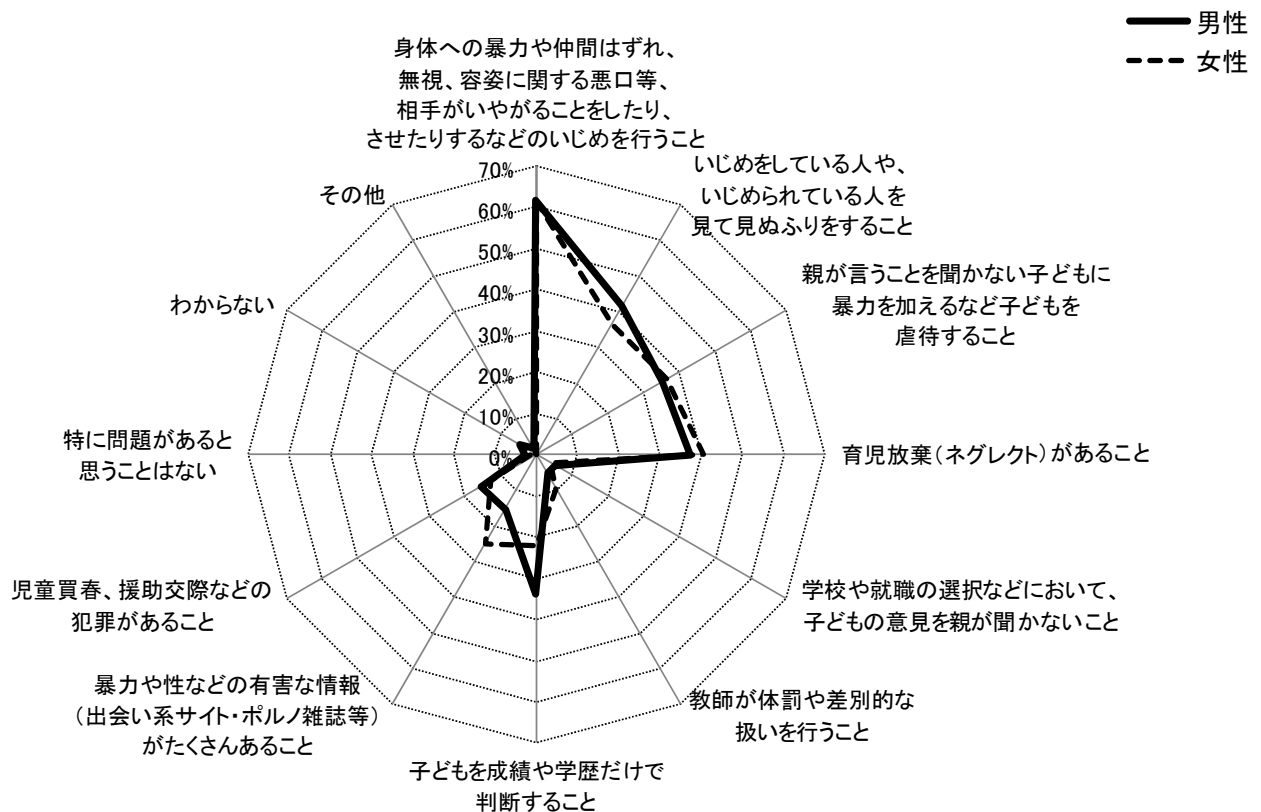


図 14-2



子どもの人権問題について年代別でみると、「親が子どもを虐待すること」において、20～50歳代で問題意識が高く、また、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」では、20歳代と60歳代で高くなっています。50～60歳代では、「暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること」の問題意識が27%と高い傾向にあります。

図 14-3-1

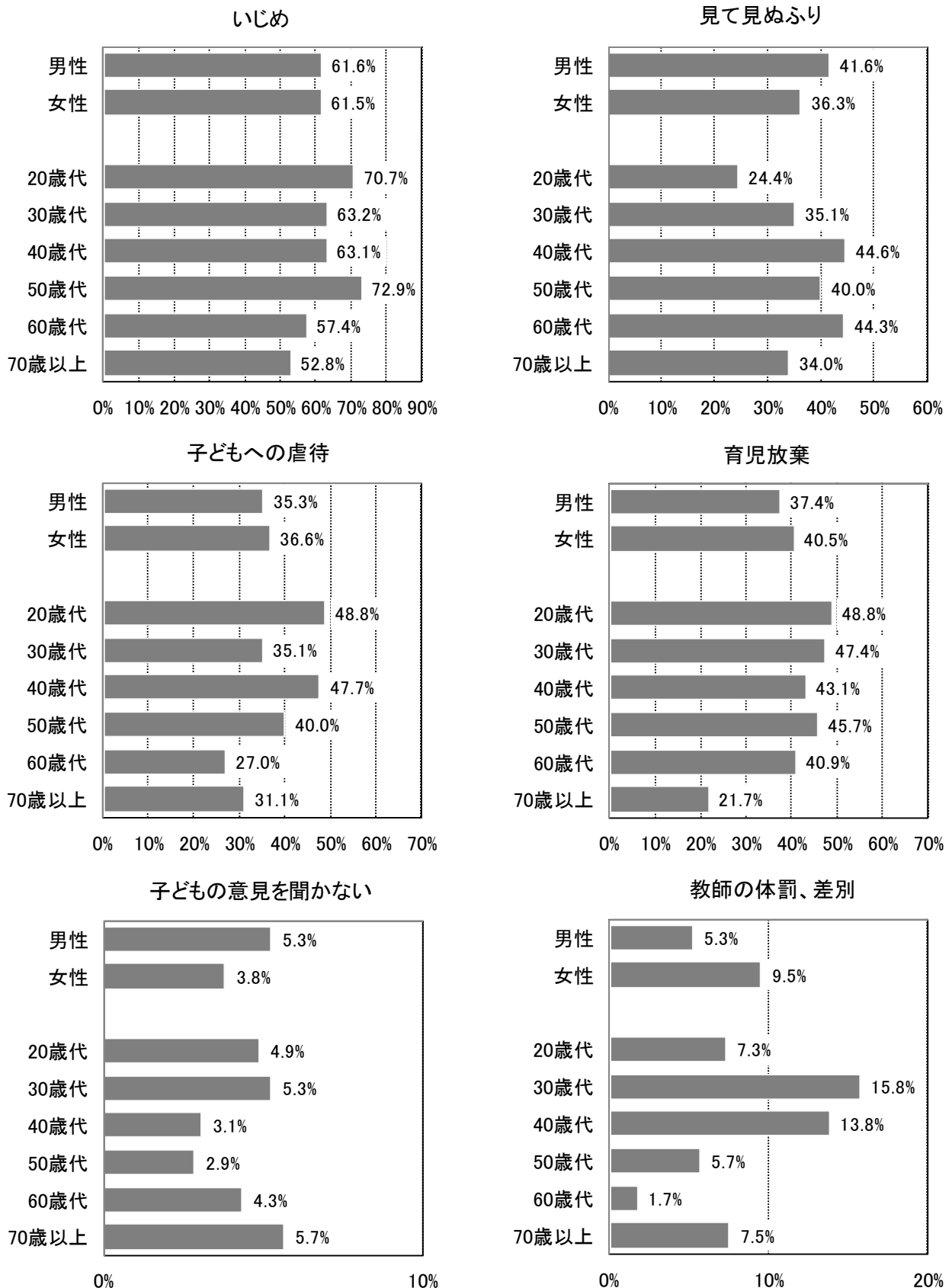
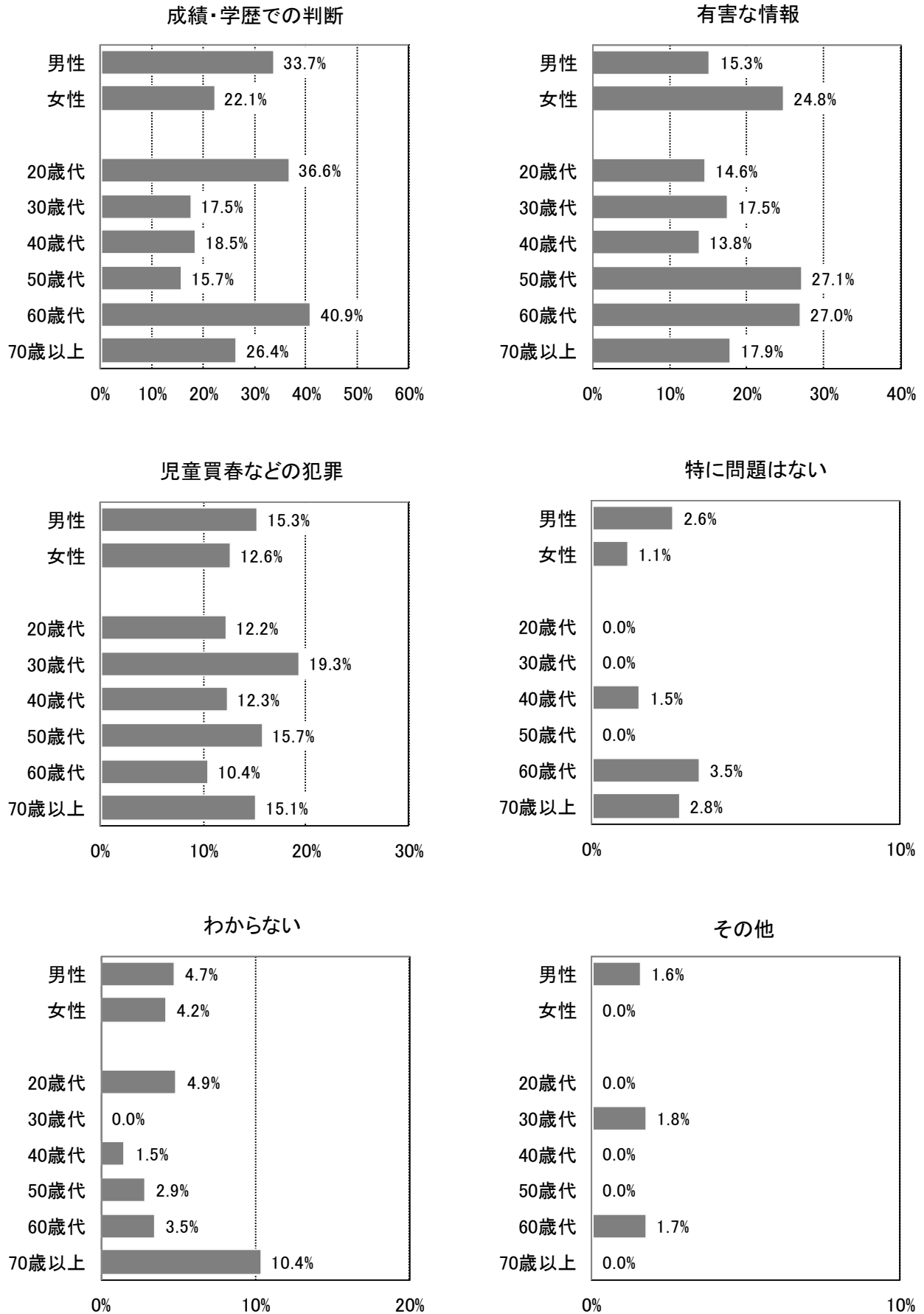


図 14-3-2



問 15 あなたが児童虐待を発見したらどうされますか。(〇は1つだけ)

児童虐待の発見時の対応については、全体で「学校などに知らせる」が最も高く46.0%、次いで「民生・児童委員に知らせる」13.6%、「警察に知らせる」13.6%で同率となっています。

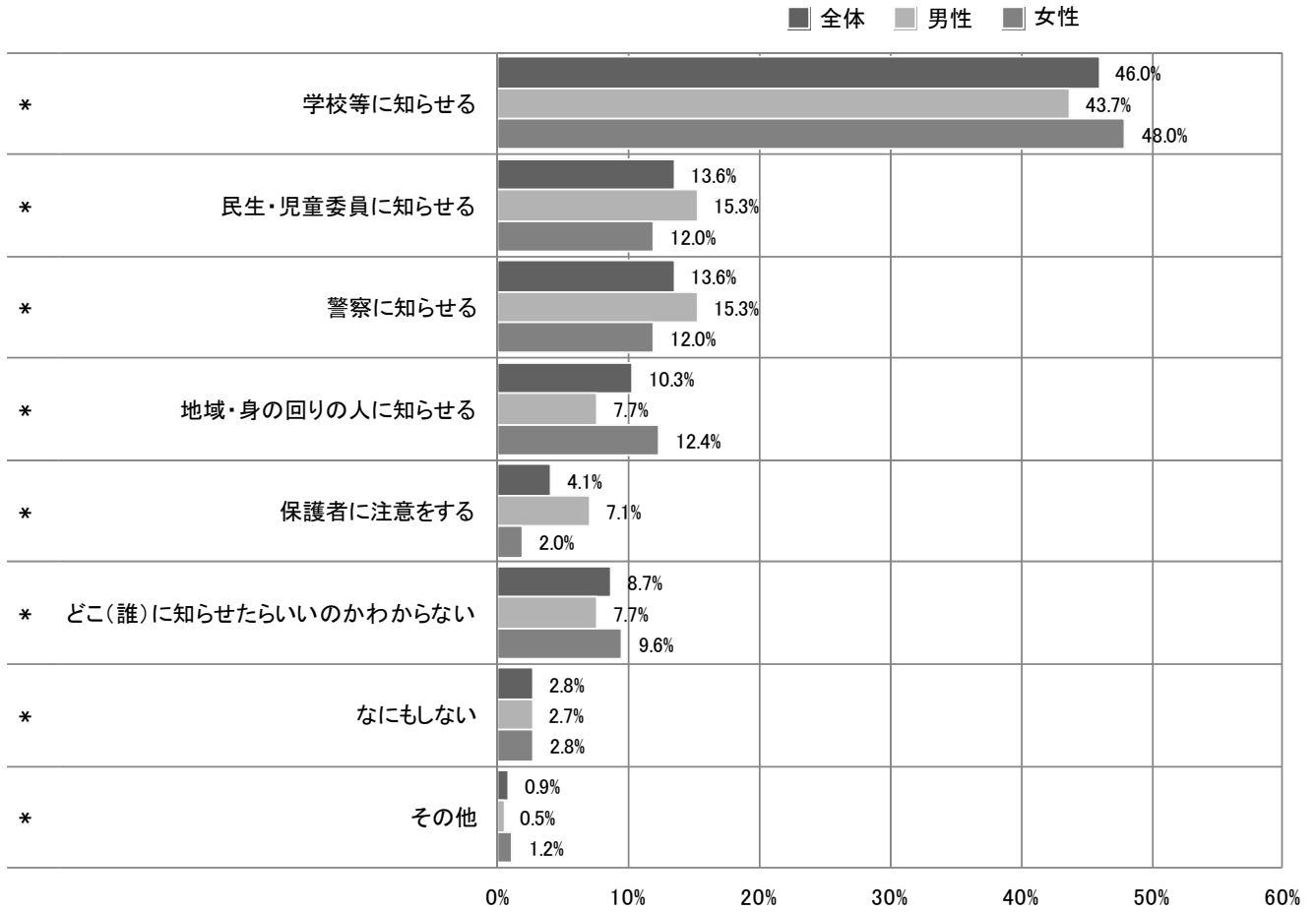
性別では、男女ともに全体と同じ傾向が見られますが、女性では、「地域・身の回りの人に知らせる」が12.4%で男性より4.7ポイント高く、「民生・児童委員に知らせる」「警察に知らせる」よりも0.4ポイント高くなっています。男性では、「保護者に注意をする」が7.1%で、女性より5.1ポイント高くなっています。

一方、「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」と答えた人が8.7%となっています。

表 15-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	学校や子ども相談センター、県や市の福祉窓口などに知らせる	200	80	120	46.0%	43.7%	48.0%
2	民生委員・児童委員に知らせる	59	28	30	13.6%	15.3%	12.0%
3	警察に知らせる	59	28	30	13.6%	15.3%	12.0%
4	地域・身の回りの人に知らせる	45	14	31	10.3%	7.7%	12.4%
5	保護者にやめるよう、注意をする	18	13	5	4.1%	7.1%	2.0%
6	どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない	38	14	24	8.7%	7.7%	9.6%
7	他人の家庭のことには口を出さないなどの理由で、何もしない	12	5	7	2.8%	2.7%	2.8%
8	その他	4	1	3	0.9%	0.5%	1.2%
有効回答数		435	183	250	100.0%	100.0%	100.0%
無回答		19	7	12	—	—	—
総回答数		454	190	262	—	—	—

図 15-1



◆問 15 のその他の主な意見

- ・自分が保護する
- ・虐待の基準がわからない

6) 高齢者の人権について

問 16	高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	--

高齢者の人権問題について問題のある項目は、全体では「経済的に自立が困難なこと」37.9%、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」35.7%、「働ける能力を發揮する機会が少ないこと」29.5%の順になっています。

男女間で差の大きな項目は、男性が「経済的に自立が困難なこと」で女性より11.0ポイント高く、女性では「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」が男性より9.2ポイント高くなっています。

表 16-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	経済的に自立が困難なこと	172	84	87	37.9%	44.2%	33.2%
2	働ける能力を發揮する機会が少ないこと	134	58	76	29.5%	30.5%	29.0%
3	悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと	162	58	104	35.7%	30.5%	39.7%
4	病院や介護施設における看護や介護等のサービスが十分でないこと	120	45	75	26.4%	23.7%	28.6%
5	家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	64	21	43	14.1%	11.1%	16.4%
6	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	113	44	69	24.9%	23.2%	26.3%
7	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	64	28	35	14.1%	14.7%	13.4%
8	道路の段差や駅や建物の段差などにより外出に支障があること	50	19	31	11.0%	10.0%	11.8%
9	買い物に困難をきたす状態になっている高齢者がいること	106	44	62	23.3%	23.2%	23.7%
10	特に問題があると思うことはない	17	10	6	3.7%	5.3%	2.3%
11	わからない	17	7	9	3.7%	3.7%	3.4%
12	その他	5	2	3	1.1%	1.1%	1.1%
総回答数		1,024	420	600	225.6%	221.1%	229.0%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 16 のその他の主な意見

- ・社会的に孤立する老人が増えている
- ・地域の受入体制が整っていない
- ・社会の変化に追いつけない

他

図 16-1

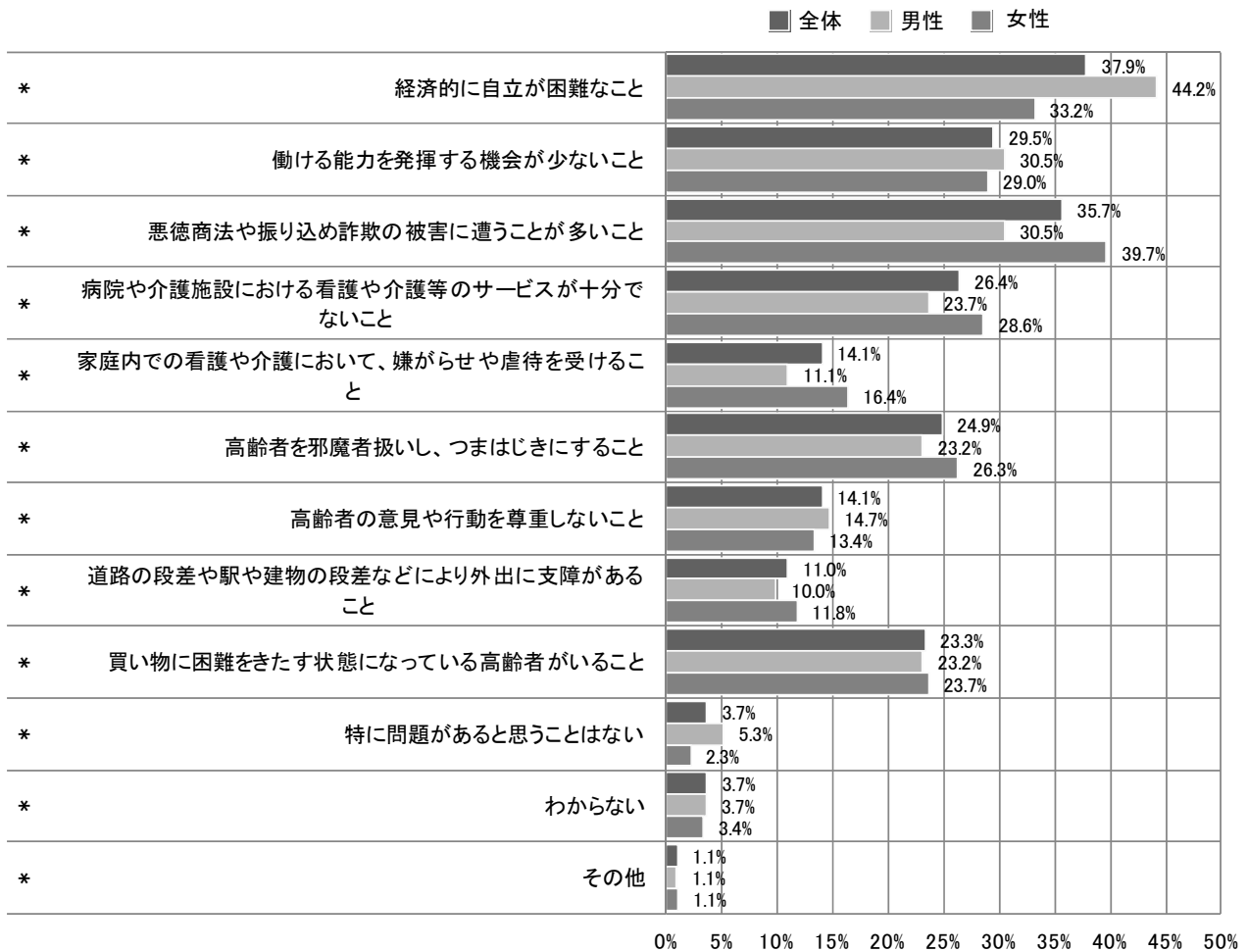
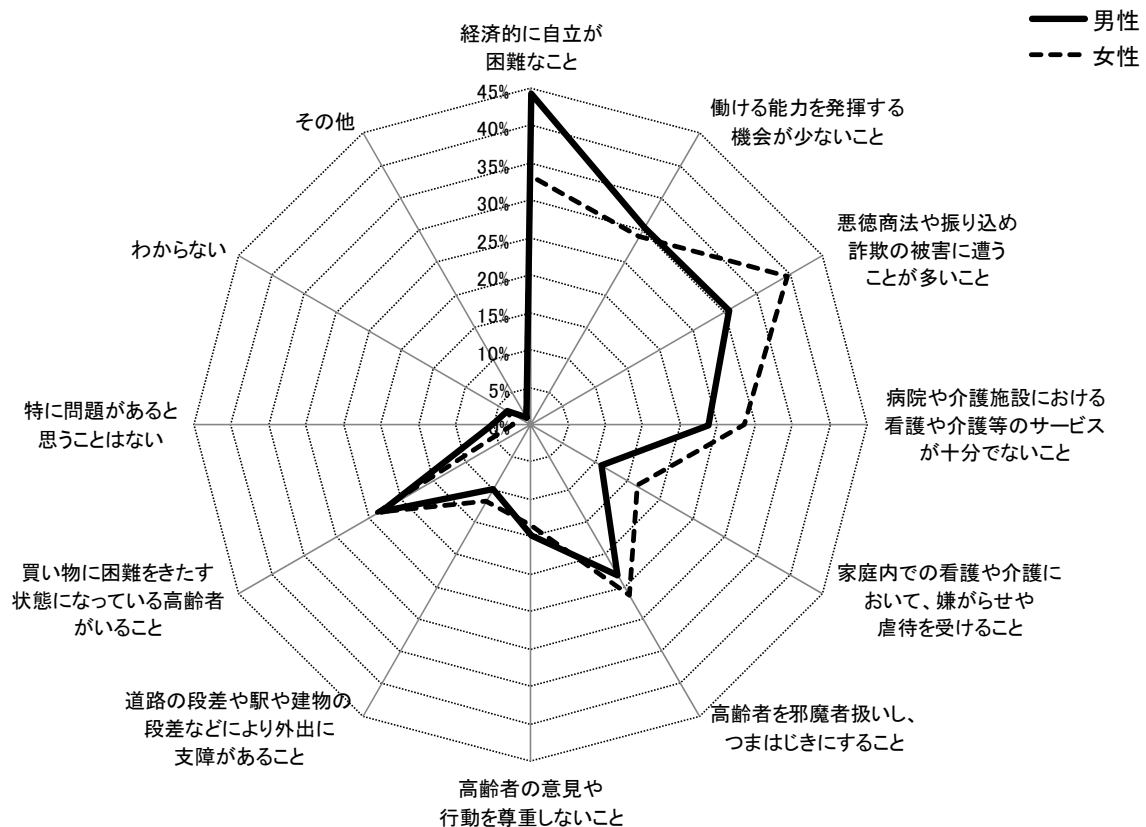


図 16-2



高齢者の人権問題を年代別にみると、70歳以上では、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害に遭うことが多いこと」が一番高くなっています。また、「高齢者の意見や行動を尊重しない」が60～70歳以上で高く、50歳代と比較しておおよそ5倍となっています。一方、「病院や介護施設における看護や介護等のサービスが十分でないこと」を問題とする割合は、30～50歳代で高くなっています。

図 16-3-1

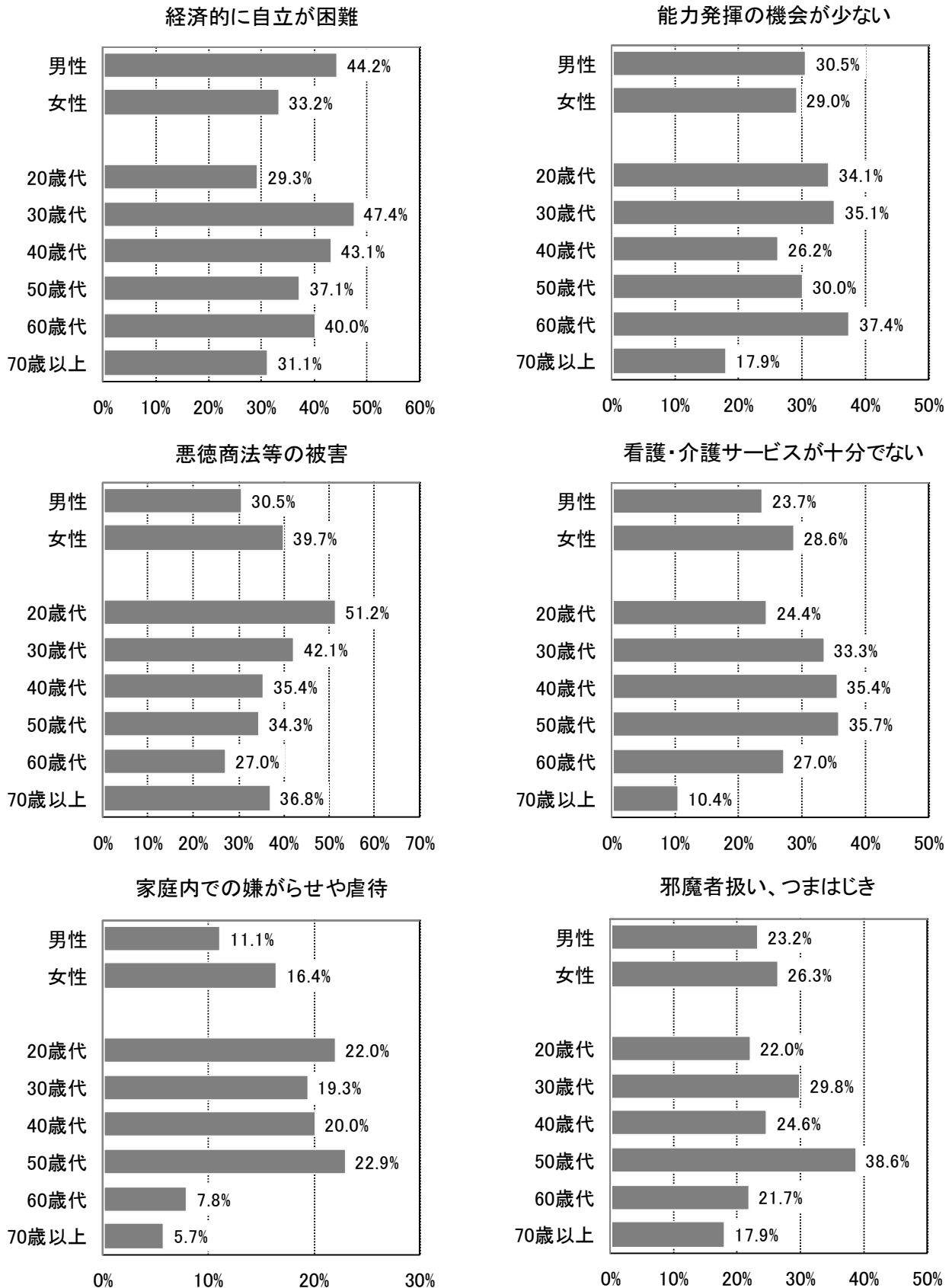
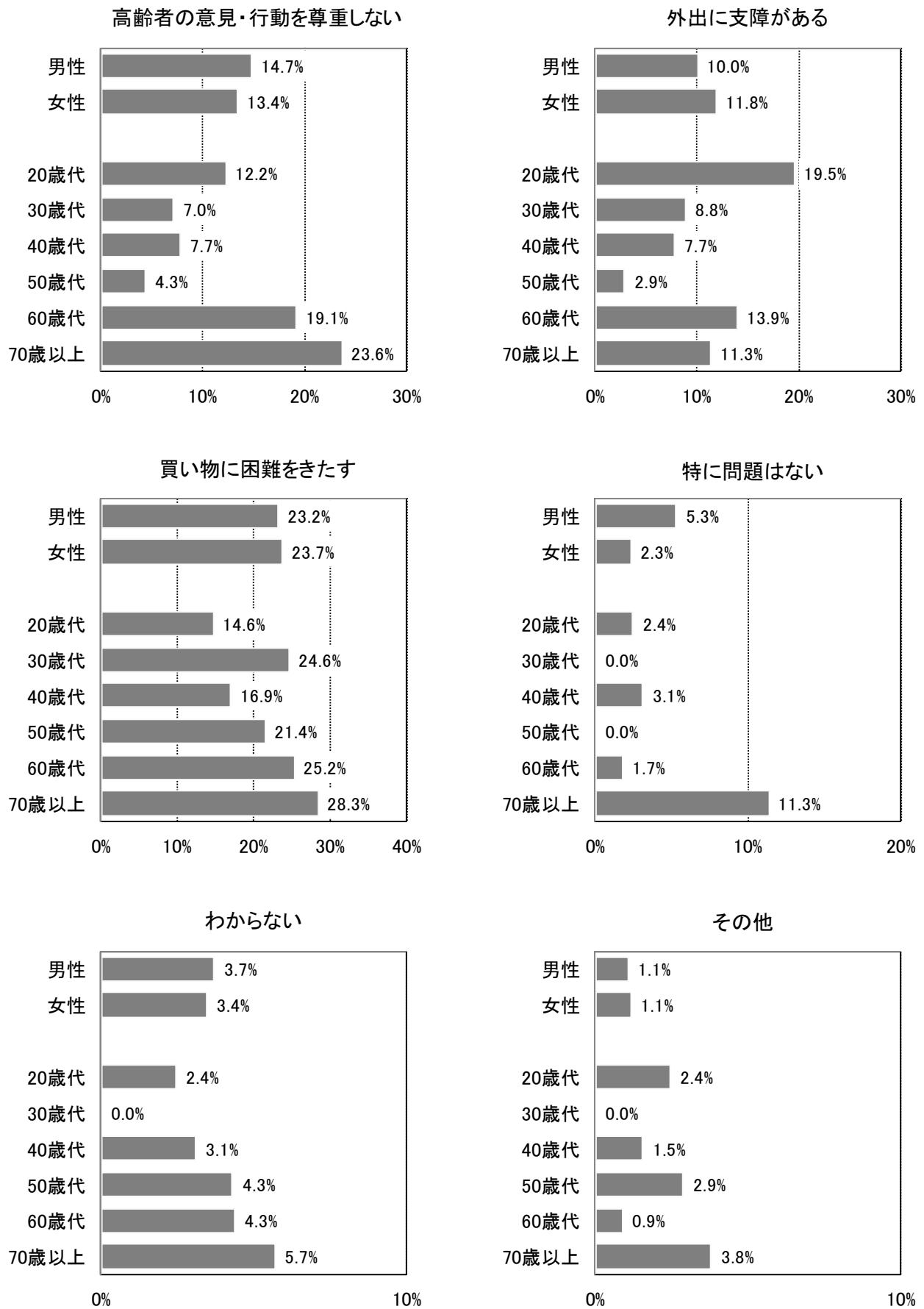


図 16-3-2



7) 障がい者の人権について

問 17	障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	---

<p>障がい者の人権問題について問題のある項目は、全体では「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」55.7%、「就労の機会が少なく、職種もかぎられていること。また、不利な扱いをされること」50.9%の2項目が特に高く、以下「身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」27.8%、「道路の段差や駅の階段など外出に支障のあること」20.5%の順となっていて、性別にみても、男女ともに全体と同じ傾向になっています。</p> <p>男女間で差の大きな項目について、男性では、「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」で、女性より男性が9.2ポイント、「身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が7.3ポイントそれぞれ高くなっています。</p>

表 17-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること	253	116	136	55.7%	61.1%	51.9%
2	道路の段差や駅の階段など外出に支障があること	93	37	55	20.5%	19.5%	21.0%
3	スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていないこと	25	9	15	5.5%	4.7%	5.7%
4	就労の機会が少なく、職種もかぎられていること。また、不利な扱いをされること	231	97	134	50.9%	51.1%	51.1%
5	障がい者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと	77	33	43	17.0%	17.4%	16.4%
6	病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりすること	49	21	28	10.8%	11.1%	10.7%
7	身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	126	61	65	27.8%	32.1%	24.8%
8	結婚問題で、周囲に反対されること	31	15	16	6.8%	7.9%	6.1%
9	特に問題があると思うことはない	18	10	8	4.0%	5.3%	3.1%
10	わからない	52	12	39	11.5%	6.3%	14.9%
11	その他	4	1	3	0.9%	0.5%	1.1%
総回答数		959	412	542	211.2%	216.8%	206.9%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 17 のその他の主な意見

- ・経済的な自立が難しい
- ・認定の基準に疑問がある
- ・精神的な障がいに対する認識が必要
- ・質問に問題がある

図 17-1

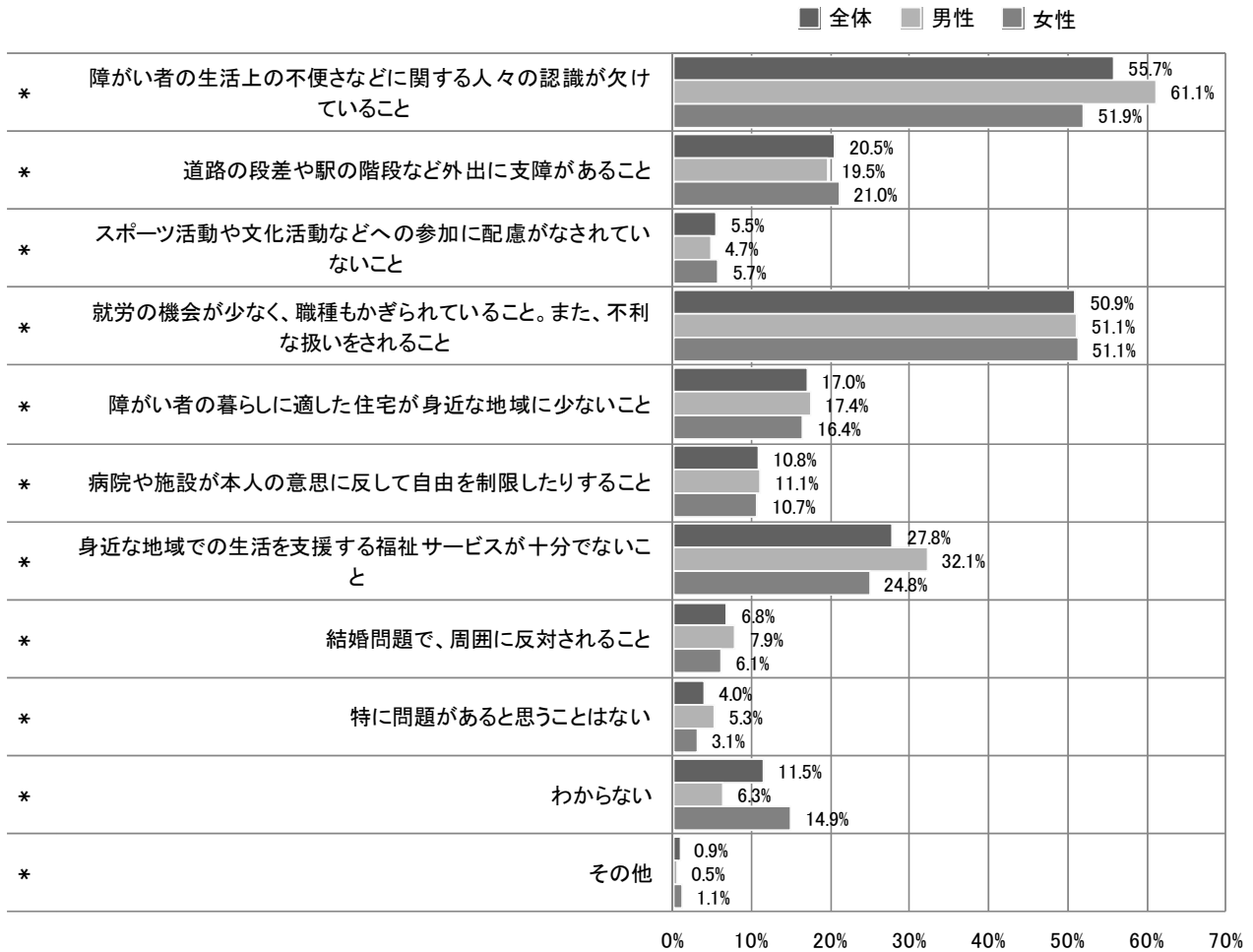
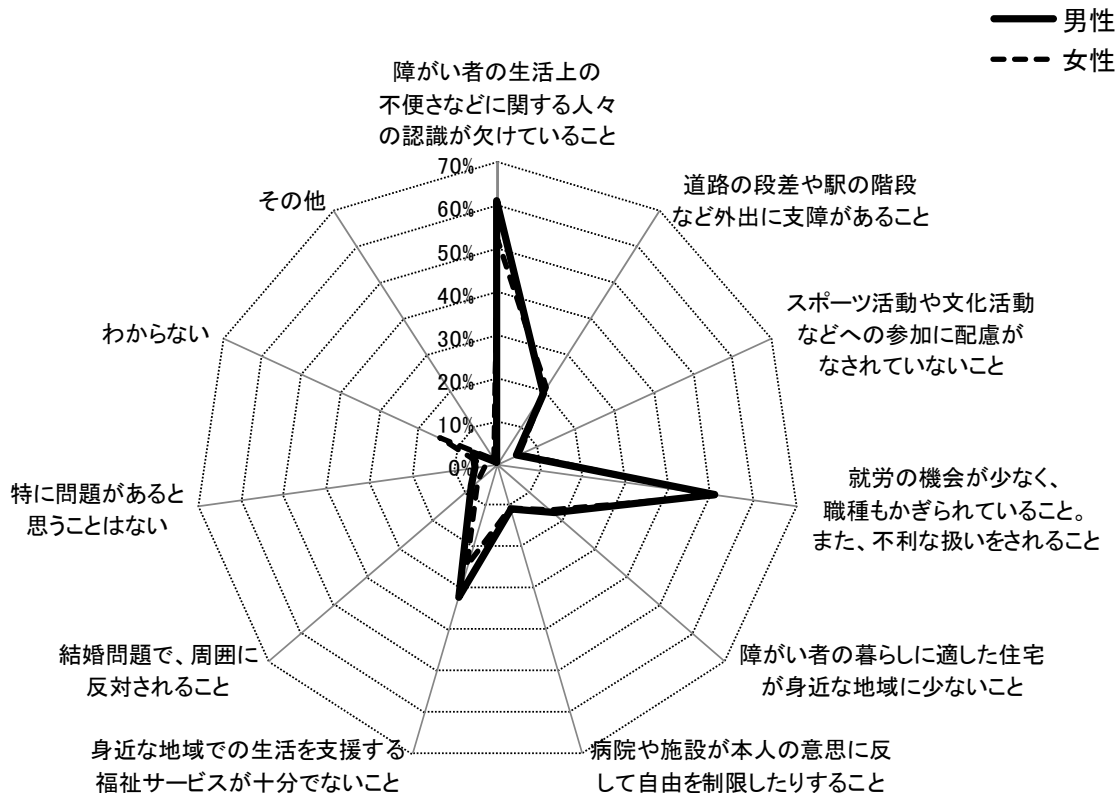


図 17-2



障がい者の人権問題を年代別で見ると、「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること」、「就労の機会が少なく、職種も限られている。不利な扱いをされること」の割合が、30歳代～60歳代で高く、ともに5割を超えています。また、「結婚問題で、周囲に反対されること」では、20歳代で問題意識が一番高く、年代が増すごとに低くなっていく傾向があります。

図 17-3-1

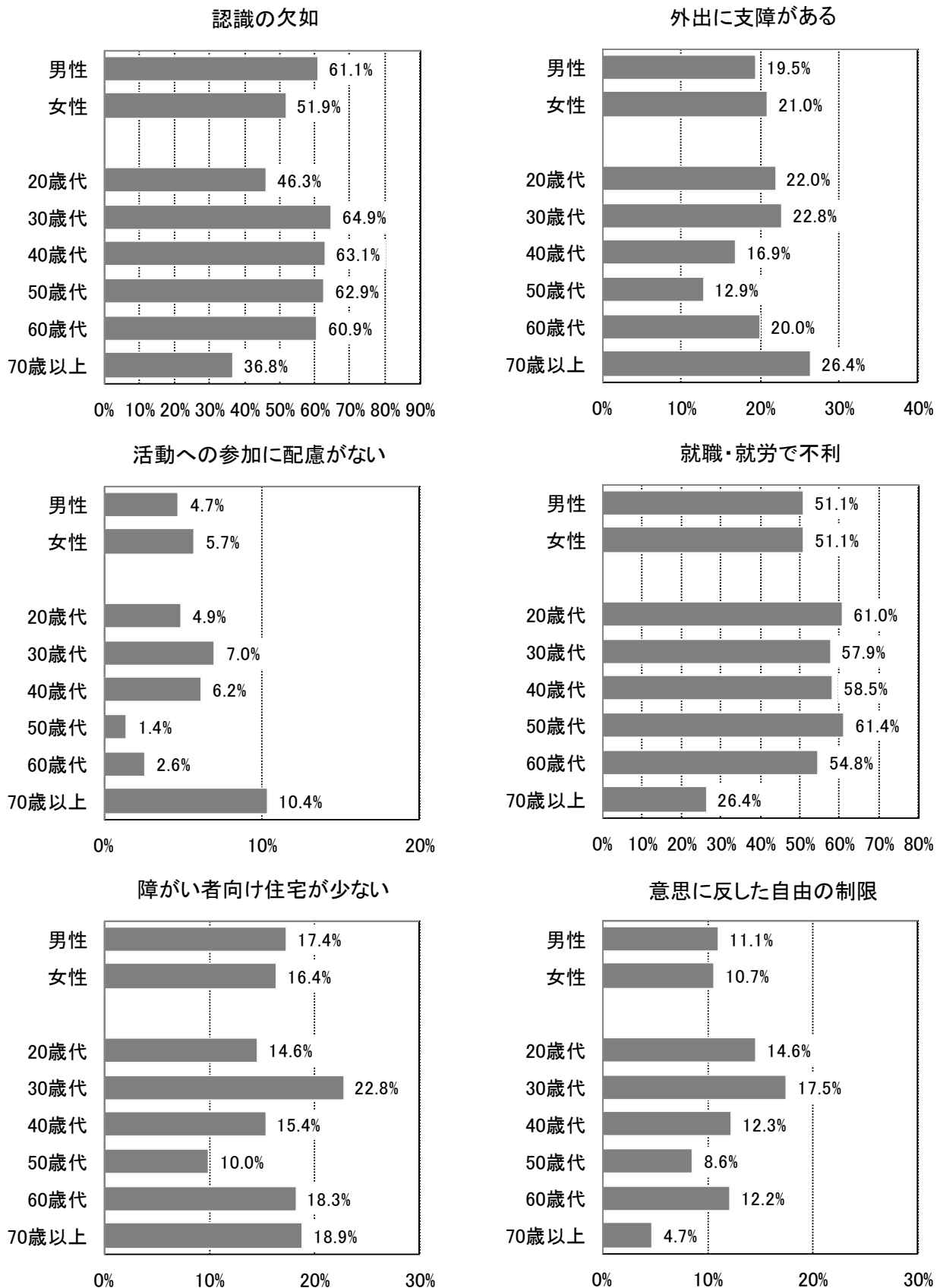
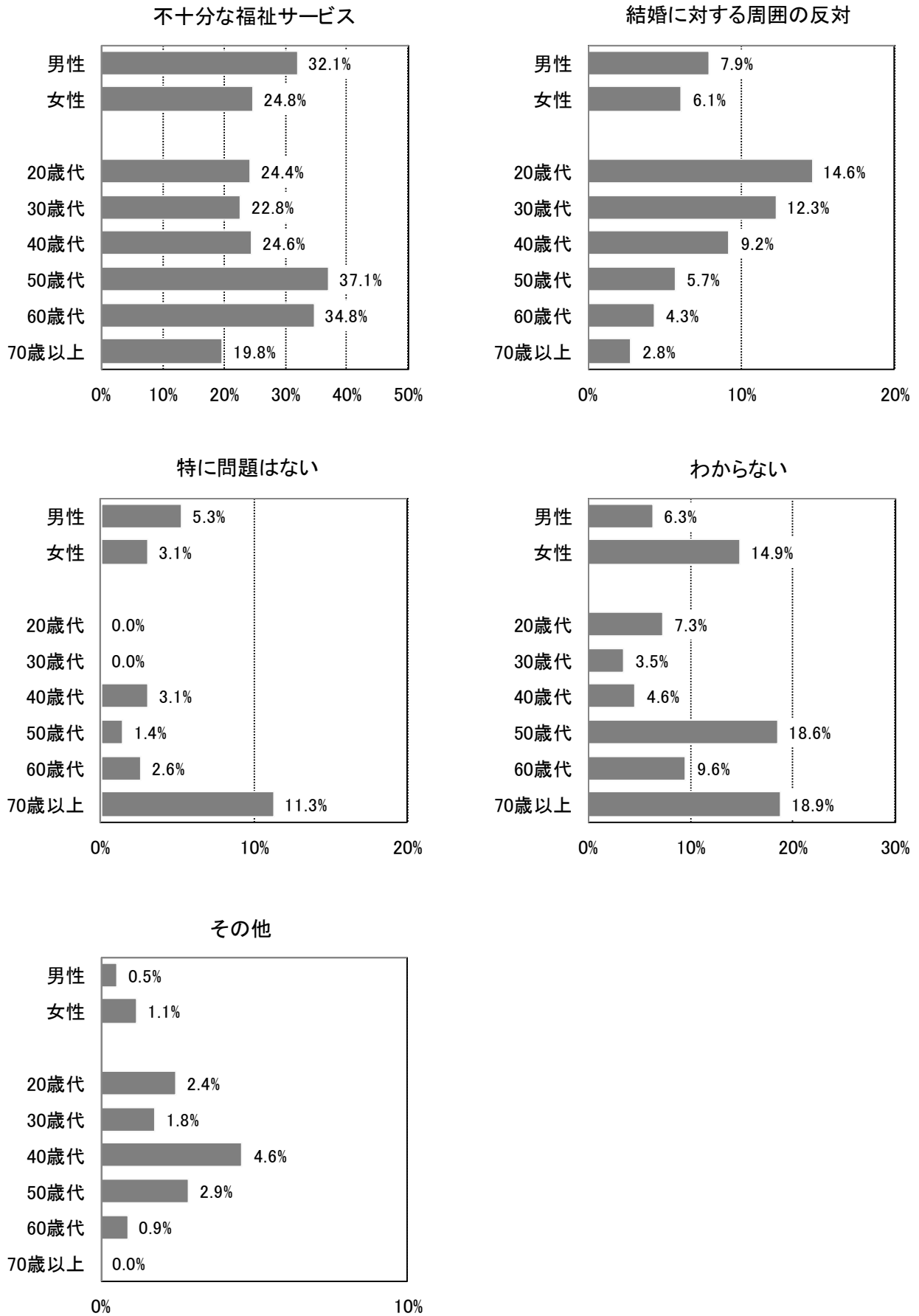


図 17-3-2



8) 外国人の人権について

問 18	日本に居住する外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)
------	---

日本に居住する外国人の人権問題について問題がある項目は、全体では「外国人についての理解や認識が十分でないこと」44.7%、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」41.6%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」29.1%の順になっていて、性別にみても、男女ともに全体と同じ傾向になっています。

しかし、男女間で差の大きな項目として、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」で9.5ポイント、「外国人についての理解や認識が十分でないこと」で8.8ポイント、男性が女性より高くなっているなど相対的に男性の回答割合が高い項目が多いという結果がありました。

また、女性で「わからない」と答えた人は24.8%で男性より6.9ポイント高くなりました。

表 18-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	外国人についての理解や認識が十分でないこと	203	95	108	44.7%	50.0%	41.2%
2	住宅を容易に借りることができないこと	29	12	17	6.4%	6.3%	6.5%
3	言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	189	87	101	41.6%	45.8%	38.5%
4	外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと	38	19	19	8.4%	10.0%	7.3%
5	義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいること	72	26	46	15.9%	13.7%	17.6%
6	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	132	66	66	29.1%	34.7%	25.2%
7	結婚問題で周囲に反対されること	16	8	8	3.5%	4.2%	3.1%
8	病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと	75	36	39	16.5%	18.9%	14.9%
9	特に問題があると思うことはない	23	10	13	5.1%	5.3%	5.0%
10	わからない	100	34	65	22.0%	17.9%	24.8%
11	その他	1	1	0	0.2%	0.5%	0.0%
総回答数		878	394	482	193.4%	207.4%	184.0%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

図 18-1

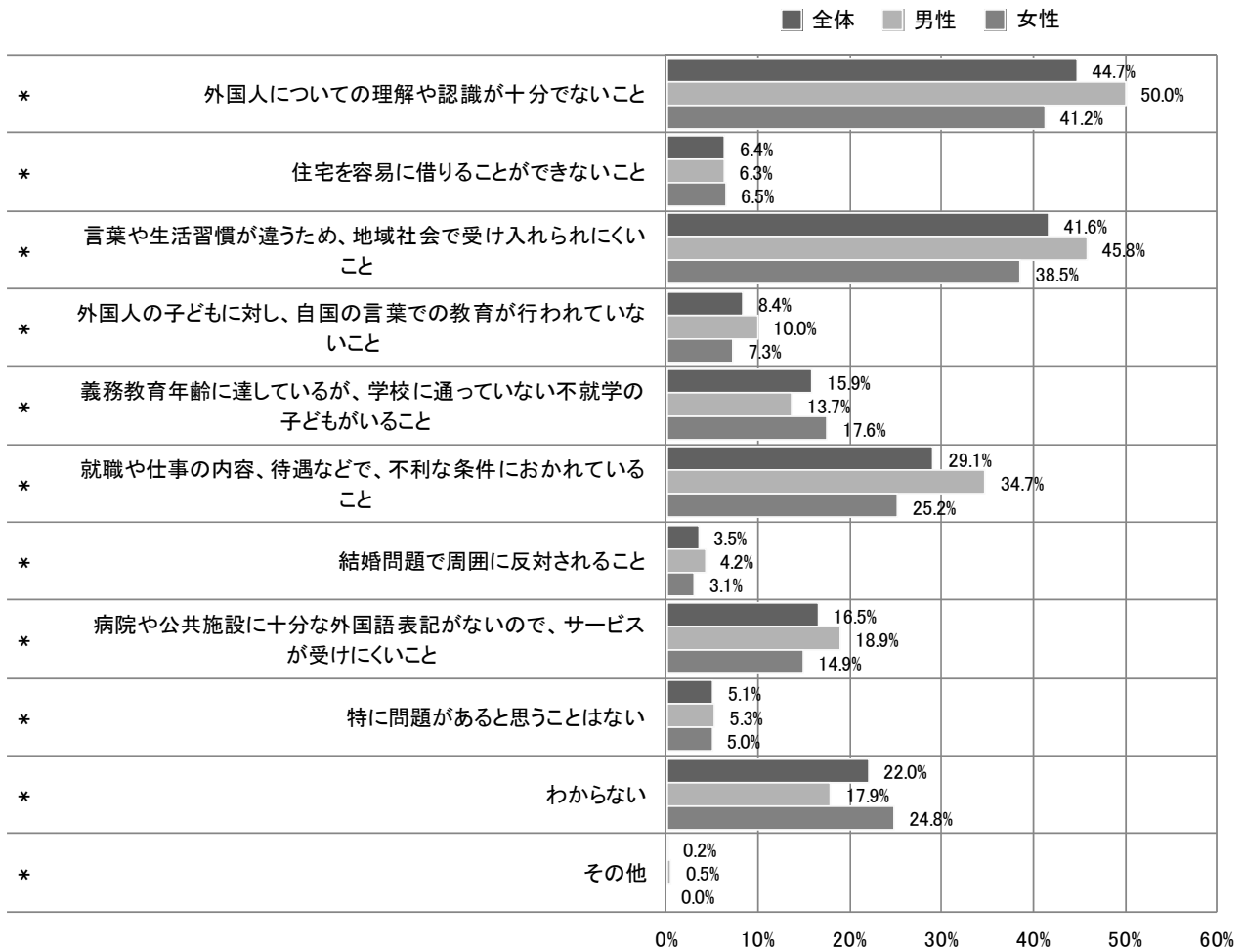
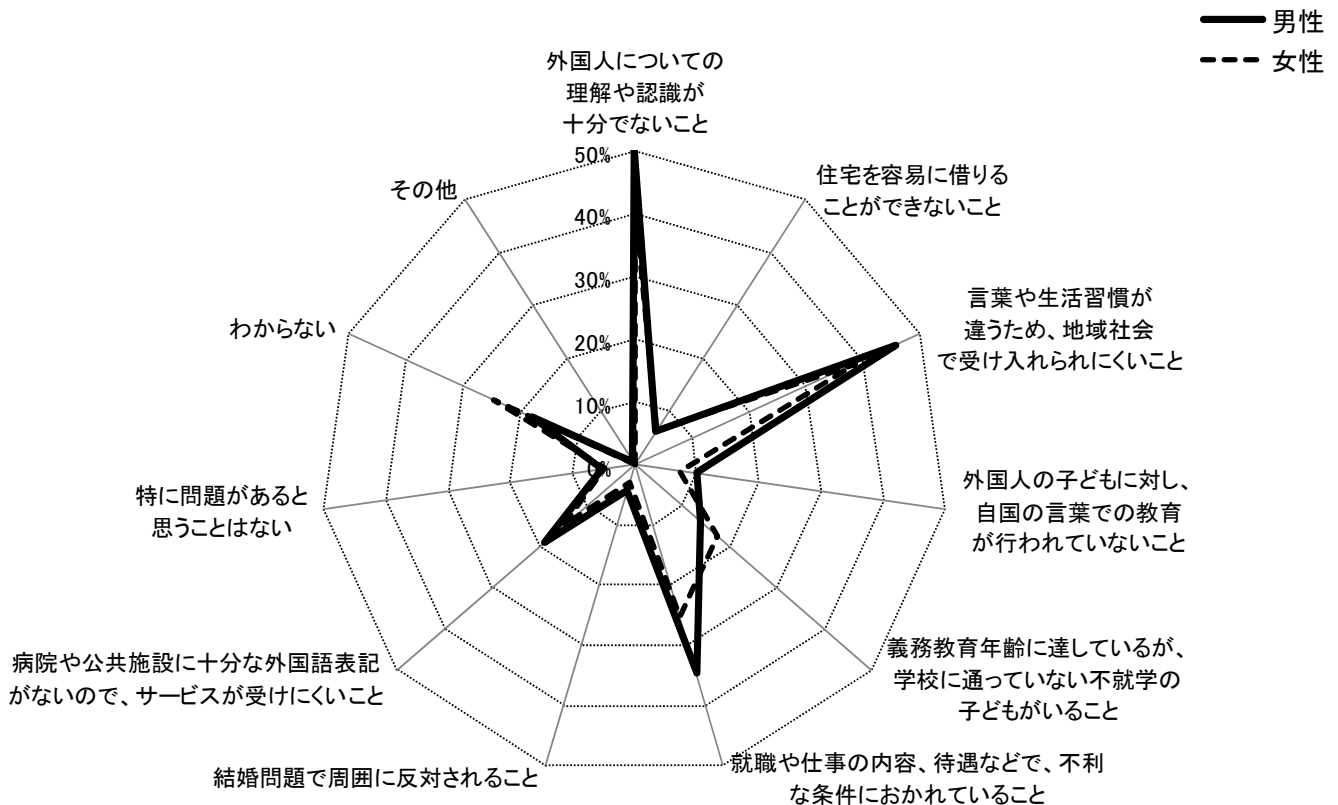


図 18-2



9) 同和問題について

問 19 同和問題について、あなたはどう考えますか。(○は1つだけ)

同和問題についての考え方の問いに対し、「わからない」が最も多く、全体では39.6%となっています。

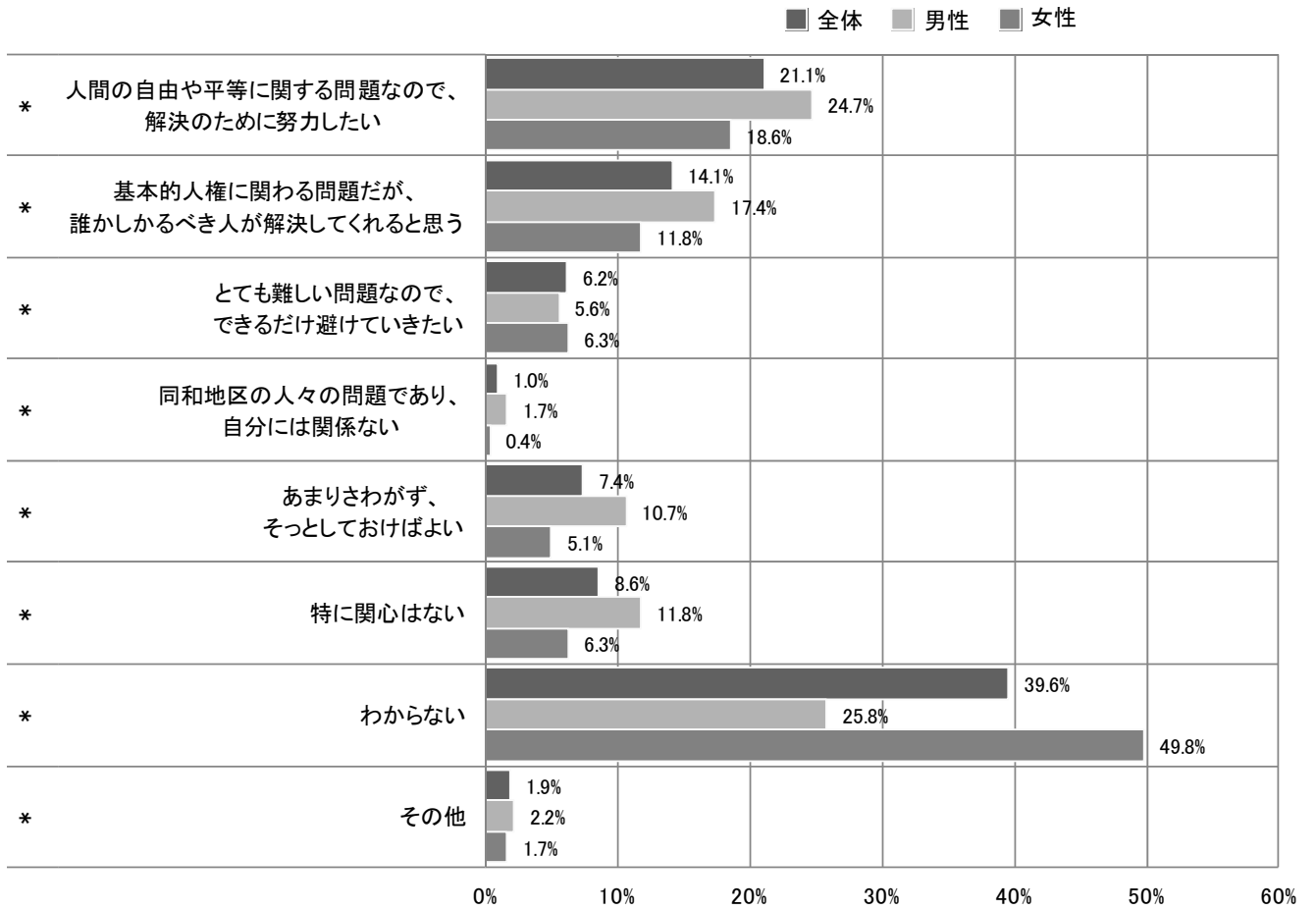
続いて、「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が21.1%、「基本的人権に関わる問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う。」が14.1%となっています。

性別にみると、回答順位に大きな差異はありませんが、「わからない」と答えた割合が、男性は25.8%、女性は49.8%となっており、大きな差がありました。

表 19-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい	88	44	44	21.1%	24.7%	18.6%
2	基本的人権に関わる問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う	59	31	28	14.1%	17.4%	11.8%
3	とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい	26	10	15	6.2%	5.6%	6.3%
4	同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない	4	3	1	1.0%	1.7%	0.4%
5	あまりさわがず、そっとしておけばよい	31	19	12	7.4%	10.7%	5.1%
6	特に関心はない	36	21	15	8.6%	11.8%	6.3%
7	わからない	165	46	118	39.6%	25.8%	49.8%
8	その他	8	4	4	1.9%	2.2%	1.7%
有効回答数		417	178	237	100.0%	100.0%	100.0%
無回答		37	12	25	—	—	—
総回答数		454	190	262	—	—	—

図 19-1



◆問 19 のその他の主な意見

- ・行政が権利と自由を保障すべき
- ・過去の問題と考えている

問 20 同和問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

同和問題について問題がある項目は、多い順に「わからない」が39.2%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が26.4%、「結婚問題で周囲が反対すること」が21.1%となっています。

性別では、男女ともに全体と同じ傾向が見られますが、「わからない」と答えた人の割合が、男性29.5%に対し、女性は45.8%と半数近くを占めました。

また、「わからない」、「その他」を除くと、すべての項目で男性の回答割合が高く、性別での問題意識に大きな差がありました。

表 20-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	結婚問題で周囲が反対すること	96	44	52	21.1%	23.2%	19.8%
2	就職、職場で不利な扱いを受けること	120	60	60	26.4%	31.6%	22.9%
3	差別的な言動や落書きをすること	44	22	22	9.7%	11.6%	8.4%
4	誤った偏見から交際を避けること	94	46	48	20.7%	24.2%	18.3%
5	身元調査をすること	34	19	15	7.5%	10.0%	5.7%
6	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	32	16	16	7.0%	8.4%	6.1%
7	えせ同和行為があること	75	44	31	16.5%	23.2%	11.8%
8	特に問題になっていない	23	14	9	5.1%	7.4%	3.4%
9	わからない	178	56	120	39.2%	29.5%	45.8%
10	その他	4	0	4	0.9%	0.0%	1.5%
総回答数		700	321	377	154.2%	168.9%	143.9%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 20 のその他の主な意見

- ・同和問題を取り上げること自体に問題がある
- ・部落解放活動を行う組織があること
- ・デマや中傷が有ること

図 20-1

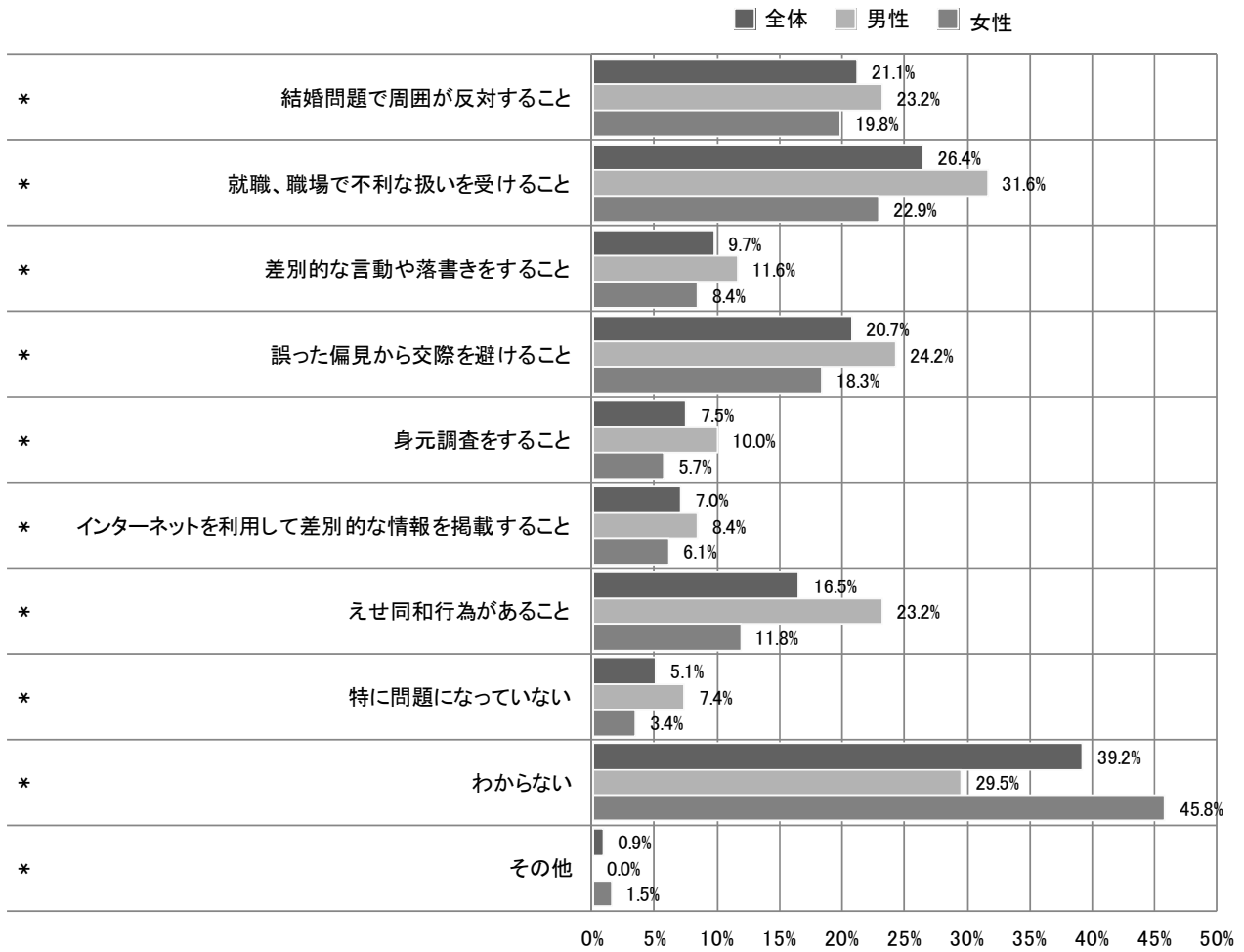
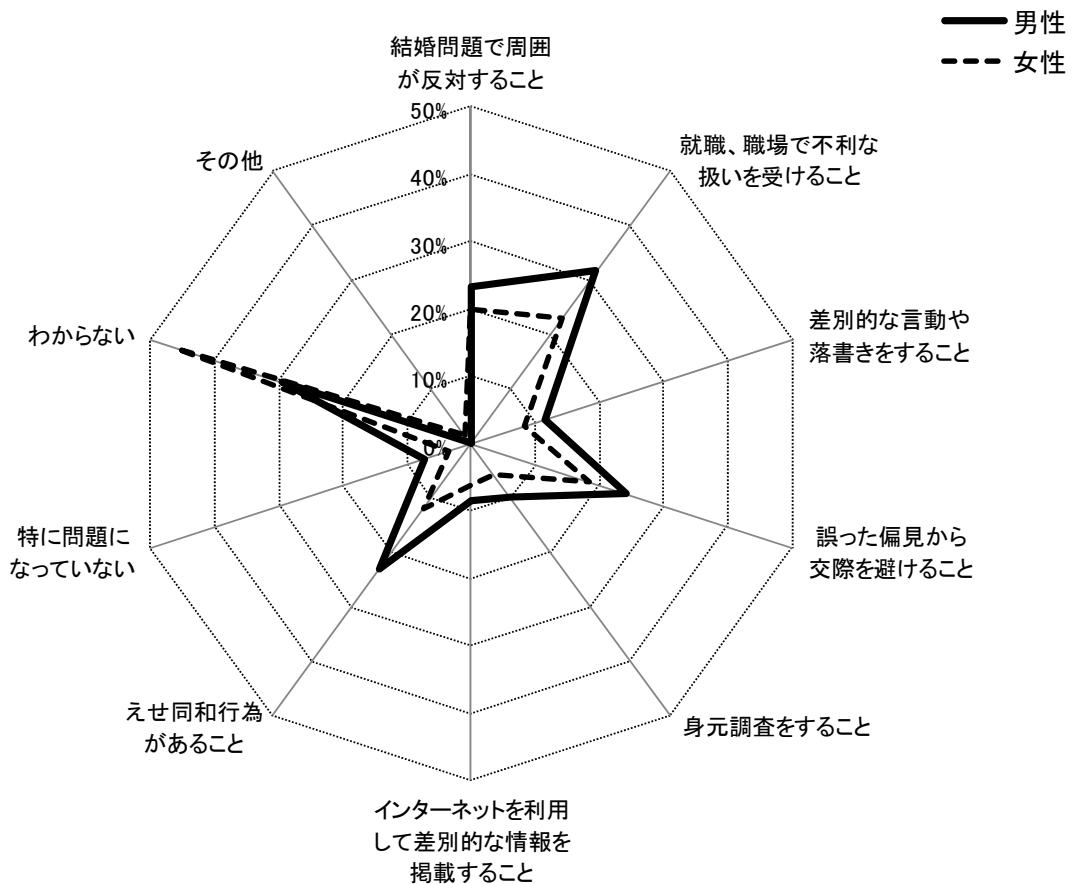


図 20-2



10) 刑を終えて出所した人の人権について

問21	罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(〇は2つまで)
-----	--

罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合の問題について、全体では「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が59.0%と最も多く、続いて「就職、職場で不利な扱いを受けること」が39.6%、「わからない」が14.3%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が13.7%となっていて、性別にみても、回答順位に大きな差異はありません。

男女間で差の大きな項目は、男性では「就職、職場で不利な扱いを受けること」が47.4%と女性より13.0ポイント高いのに対し、女性では「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること」が12.6%で男性より4.7ポイント高くなっています。

表21-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること	268	113	155	59.0%	59.5%	59.2%
2	就職、職場で不利な扱いを受けること	180	90	90	39.6%	47.4%	34.4%
3	アパート等に入居できないこと	20	7	13	4.4%	3.7%	5.0%
4	結婚問題で周囲が反対すること	21	11	10	4.6%	5.8%	3.8%
5	じろじろ見られたり、避けられたりすること	62	30	32	13.7%	15.8%	12.2%
6	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること	48	15	33	10.6%	7.9%	12.6%
7	特に問題があると思うことはない	22	8	13	4.8%	4.2%	5.0%
8	わからない	65	23	40	14.3%	12.1%	15.3%
9	その他	13	6	7	2.9%	3.2%	2.7%
総回答数		699	303	393	154.0%	159.5%	150.0%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問21のその他の主な意見

- ・再犯が多いこと
- ・本人次第である
- ・見守るしかない
- ・行政の支援や支援組織が不足
- ・過去は変えられない

他

図 21-1

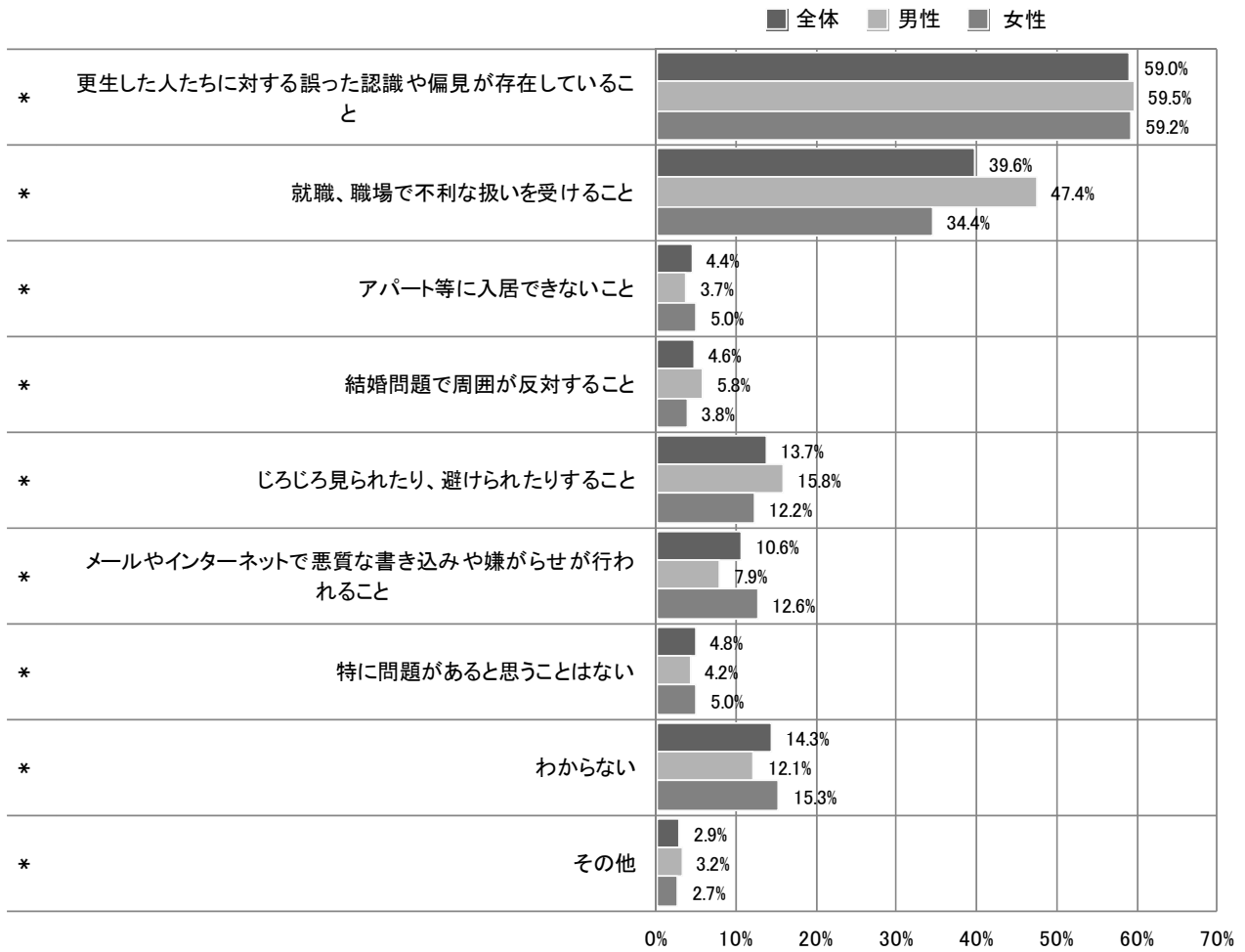
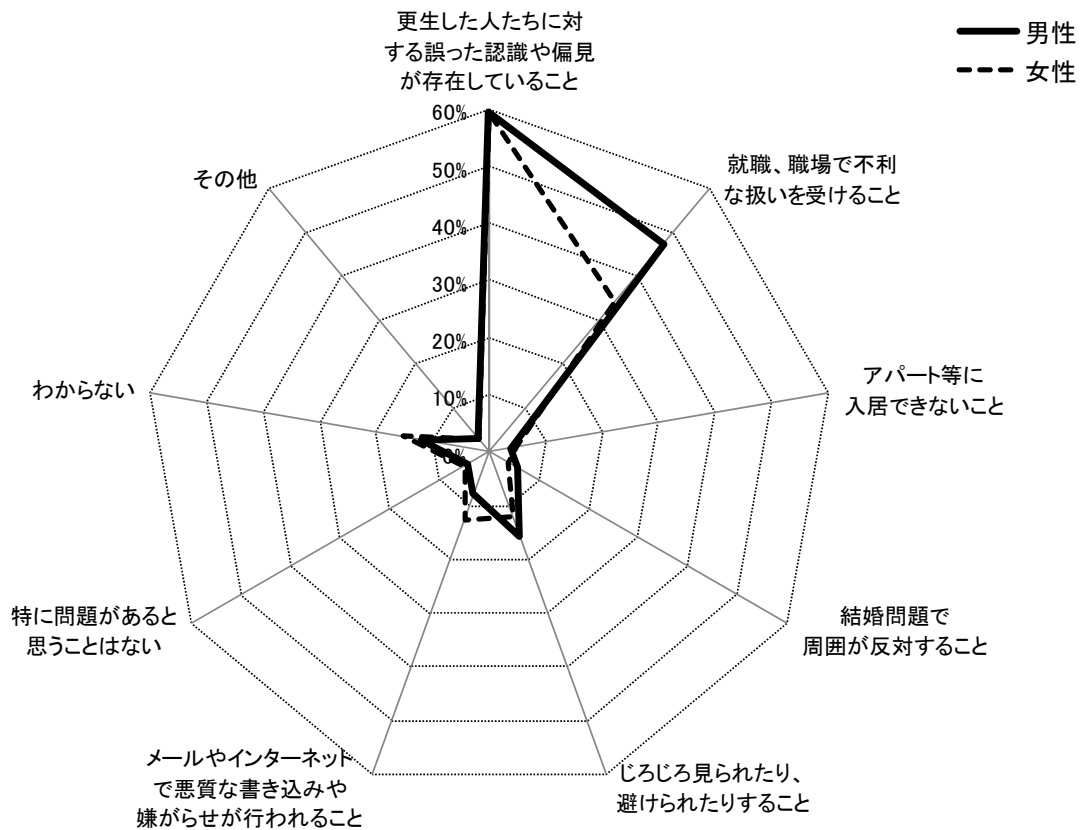


図 21-2



11) インターネットによる人権侵害について

問22	インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は2つまで)
-----	--

インターネットによる人権侵害に対する問題点に対して、全体では、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）など差別的な表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」が58.4%と最も高く、以下「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」29.5%、「個人情報などが流出していること」24.4%となっていて、性別による順位の大きな差は見られません。

男女間で差の大きな項目は、男性で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が34.7%で女性より8.7ポイント、「個人情報が流出していること」は28.9%で7.5ポイント高くなっています。女性では、「わからない」が17.2%を占め、男性より6.7ポイント高くなっています。

表 22-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	他人への誹謗中傷（ひどい悪口）など差別的な表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	265	110	155	58.4%	57.9%	59.2%
2	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	134	66	68	29.5%	34.7%	26.0%
3	加害少年（未成年者）の実名や顔写真等を掲載すること	27	7	20	5.9%	3.7%	7.6%
4	インターネット取引での悪質商法による被害が起きていること	69	37	32	15.2%	19.5%	12.2%
5	個人情報などが流出していること	111	55	56	24.4%	28.9%	21.4%
6	女性の裸体や児童ポルノなどの情報が氾濫していること	49	21	28	10.8%	11.1%	10.7%
7	特に問題があると思うことはない	8	4	4	1.8%	2.1%	1.5%
8	わからない	67	20	45	14.8%	10.5%	17.2%
9	その他	2	2	0	0.4%	1.1%	0.0%
総回答数		732	322	408	161.2%	169.5%	155.7%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 22 のその他の主な意見

- ・著作権の侵害
- ・匿名性に問題がある

図 22-1

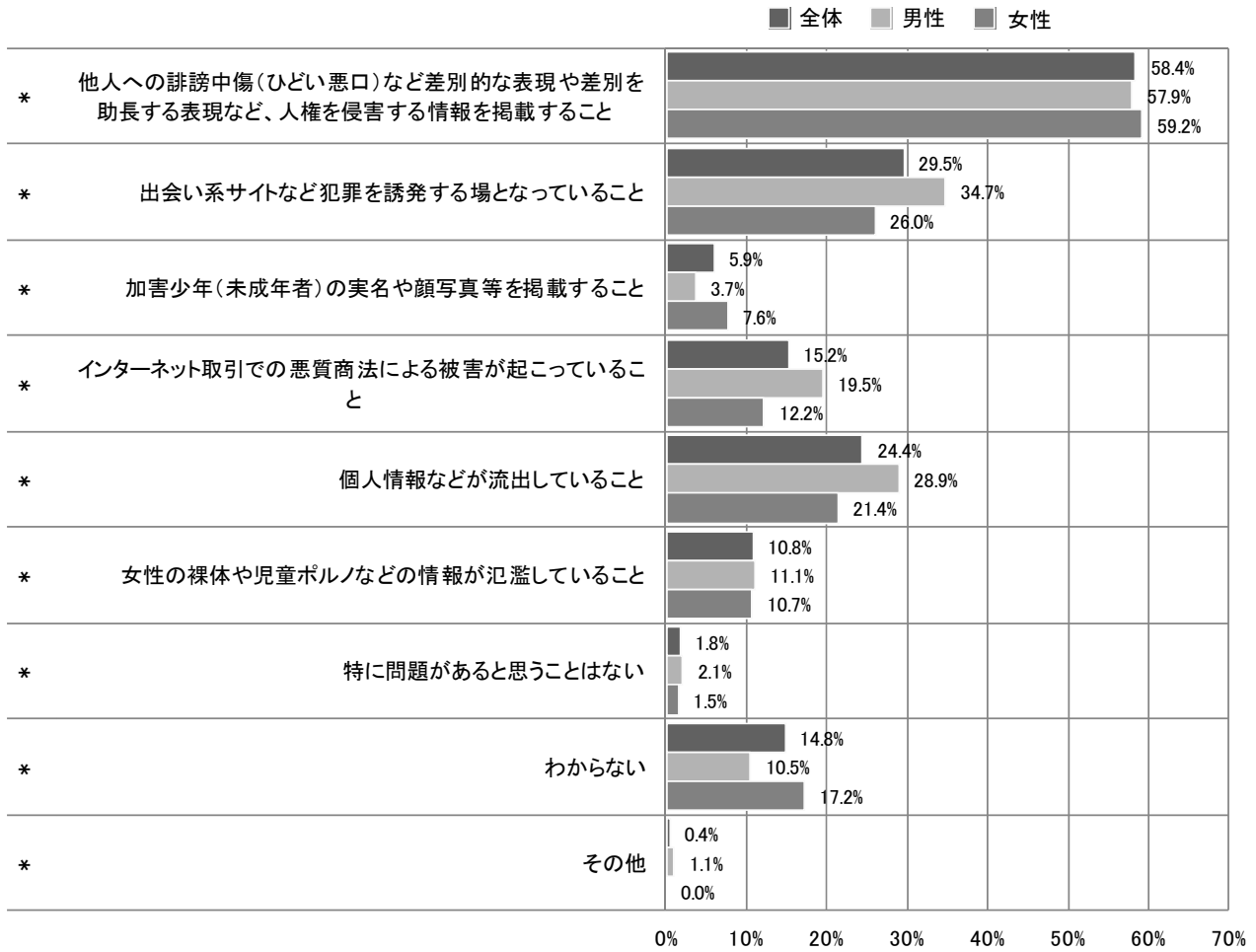
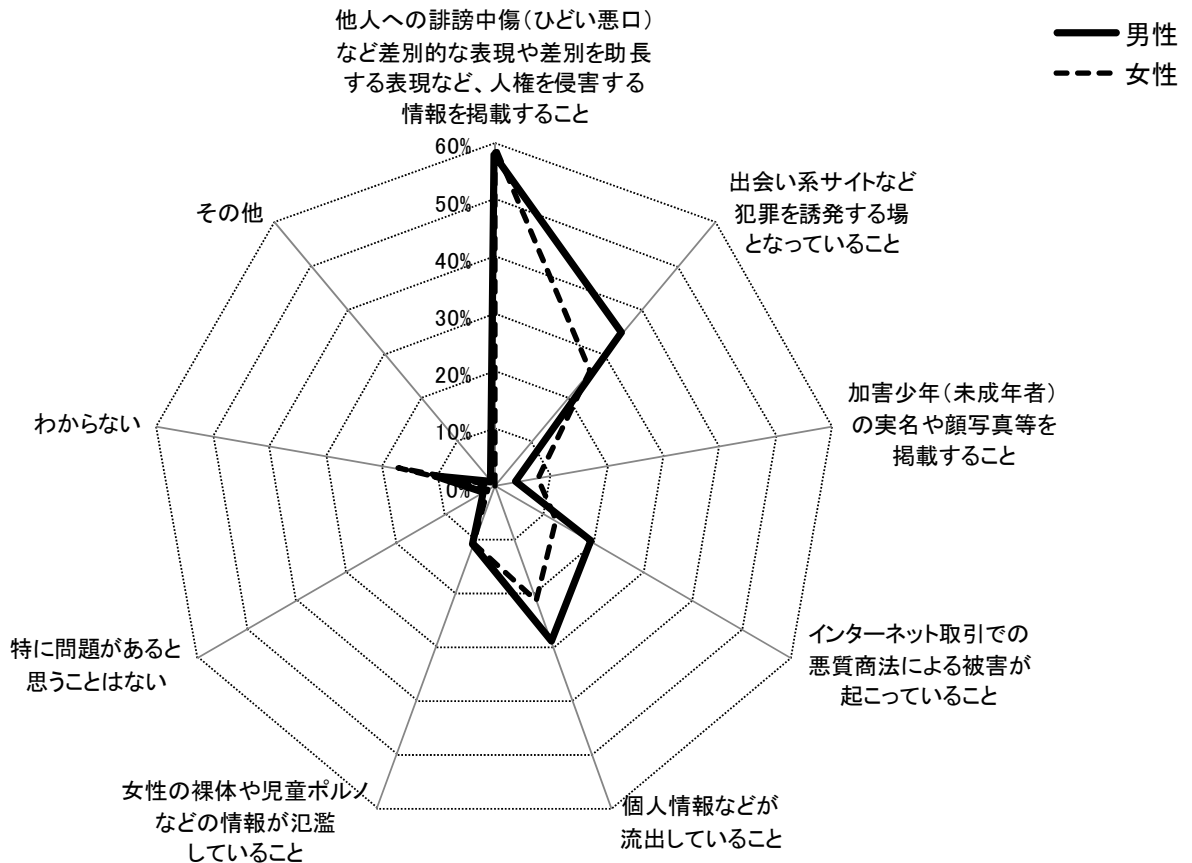


図 22-2



12) ホームレスの人権について

問23	ホームレスの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は2つまで)
-----	--

ホームレスの人権問題について問題がある項目は、全体で「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が45.8%で最も高く、次いで「ホームレスに対する誤解や偏見があること」26.2%、「嫌がらせや暴力を受けること」25.8%となっています。

性別でみると、「ホームレスに対する誤解や偏見があること」については、男性が31.1%であるのに対し、女性では22.9%と8.2ポイントの差がありますが、他の項目では、大きな差異は見られませんでした。

表 23-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	ホームレスに対する誤解や偏見があること	119	59	60	26.2%	31.1%	22.9%
2	嫌がらせや暴力を受けること	117	50	67	25.8%	26.3%	25.6%
3	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること	45	17	28	9.9%	8.9%	10.7%
4	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	208	90	118	45.8%	47.4%	45.0%
5	アパートなどの住宅への入居が困難であること	58	21	37	12.8%	11.1%	14.1%
6	特に問題があると思うことはない	13	8	5	2.9%	4.2%	1.9%
7	わからない	100	38	60	22.0%	20.0%	22.9%
8	その他	10	7	3	2.2%	3.7%	1.1%
総回答数		670	290	378	147.6%	152.6%	144.3%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問23のその他の主な意見

- ・本人に問題がある
- ・本人の価値観の問題
- 他

図 23-1

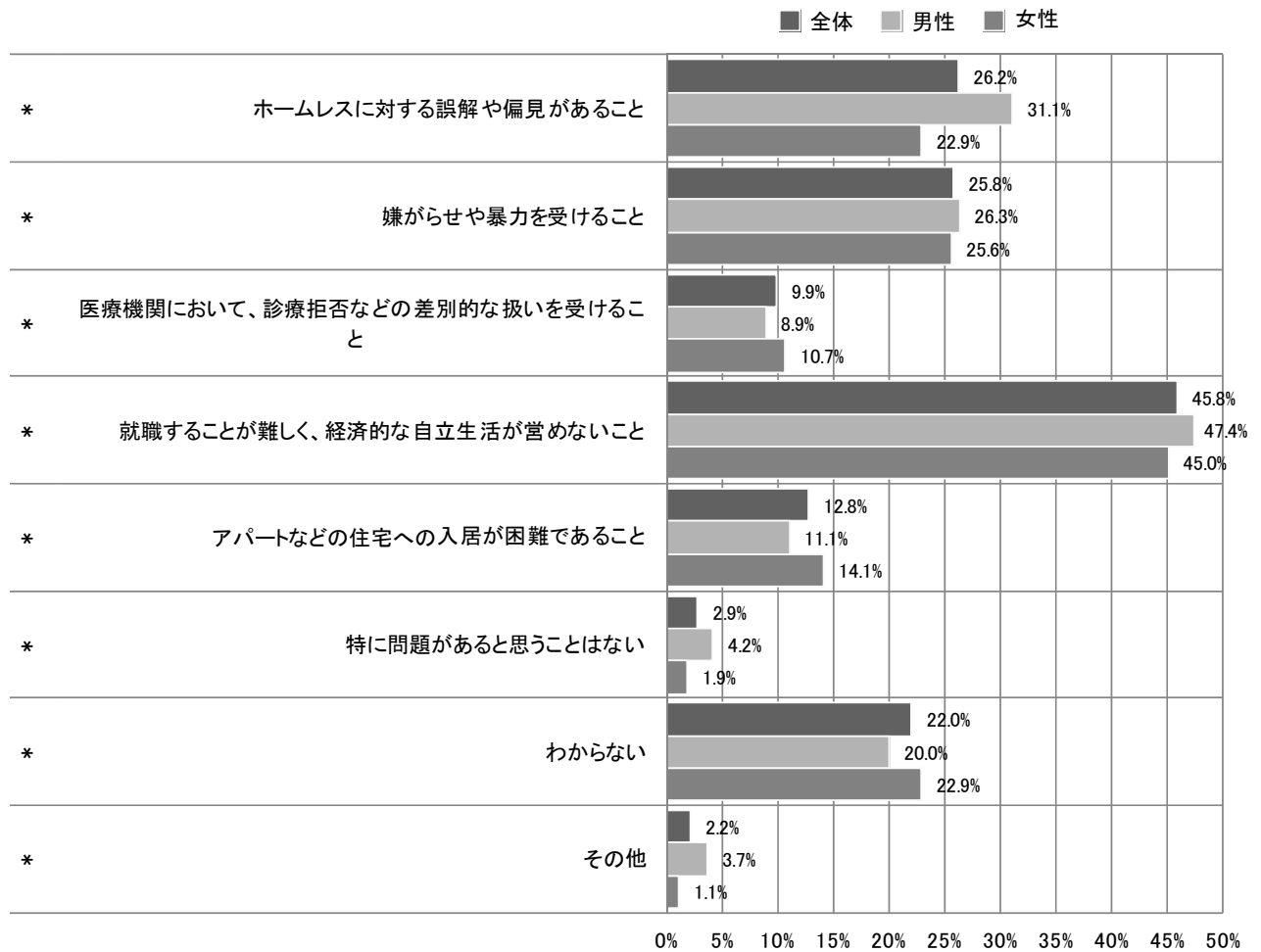
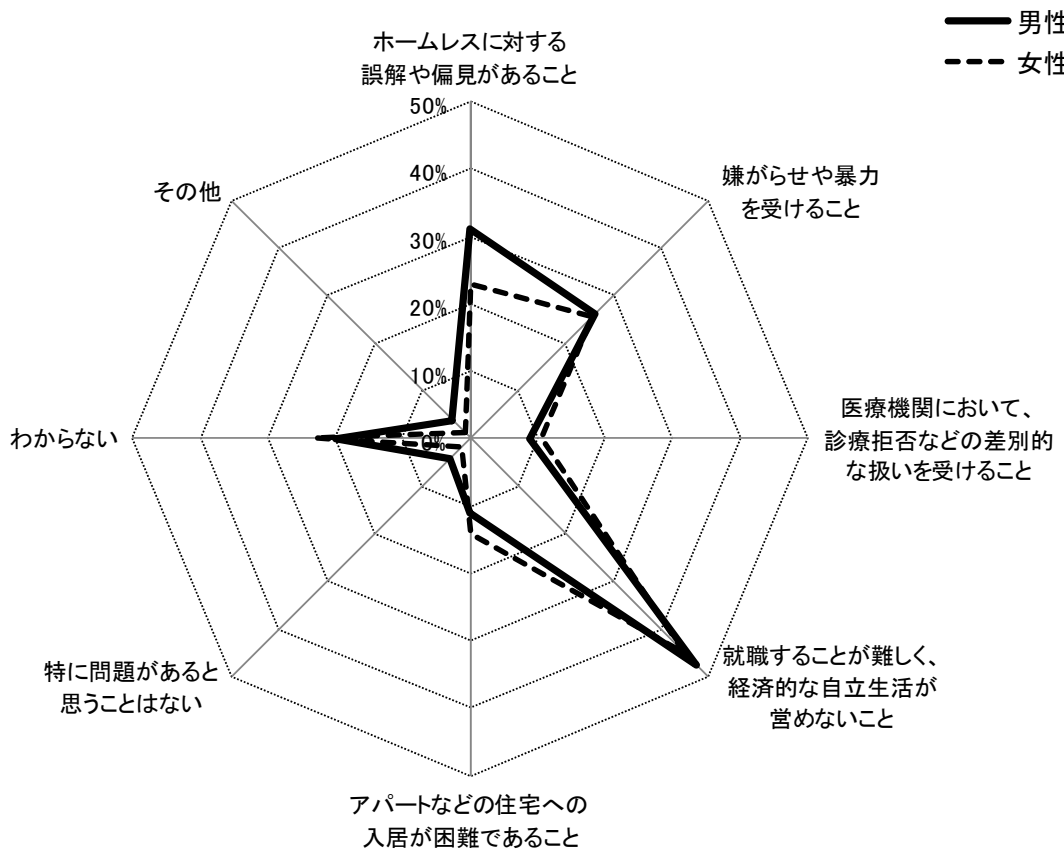


図 23-2



13) アイヌの人々の人権について

問 24	アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は2つまで)
------	---

アイヌの人々の人権問題について問題がある項目は、全体では「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が44.9%と最も多くなっていて、次いで「わからない」と答えた人が42.5%を占め他の項目と比較して抜きん出て高くなっています。

性別による比較では、男性では「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が、52.1%で女性より12.0ポイント高く、逆に「わからない」が女性では47.7%で男性より13.0ポイント高いという結果になっています。

表 24-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと	204	99	105	44.9%	52.1%	40.1%
2	結婚問題で周囲に反対されること	18	9	9	4.0%	4.7%	3.4%
3	就職、職場で不利な扱いを受けること	25	16	9	5.5%	8.4%	3.4%
4	住宅、生活環境など生活水準が低いこと	13	8	5	2.9%	4.2%	1.9%
5	差別的な言動があること	38	18	20	8.4%	9.5%	7.6%
6	独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	83	39	44	18.3%	20.5%	16.8%
7	特に問題があると思うことはない	29	14	14	6.4%	7.4%	5.3%
8	わからない	193	66	125	42.5%	34.7%	47.7%
9	その他	1	1	0	0.2%	0.5%	0.0%
総回答数		604	270	331	133.0%	142.1%	126.3%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 24 のその他の主な意見

- ・差別する人がいることが問題

図 24-1

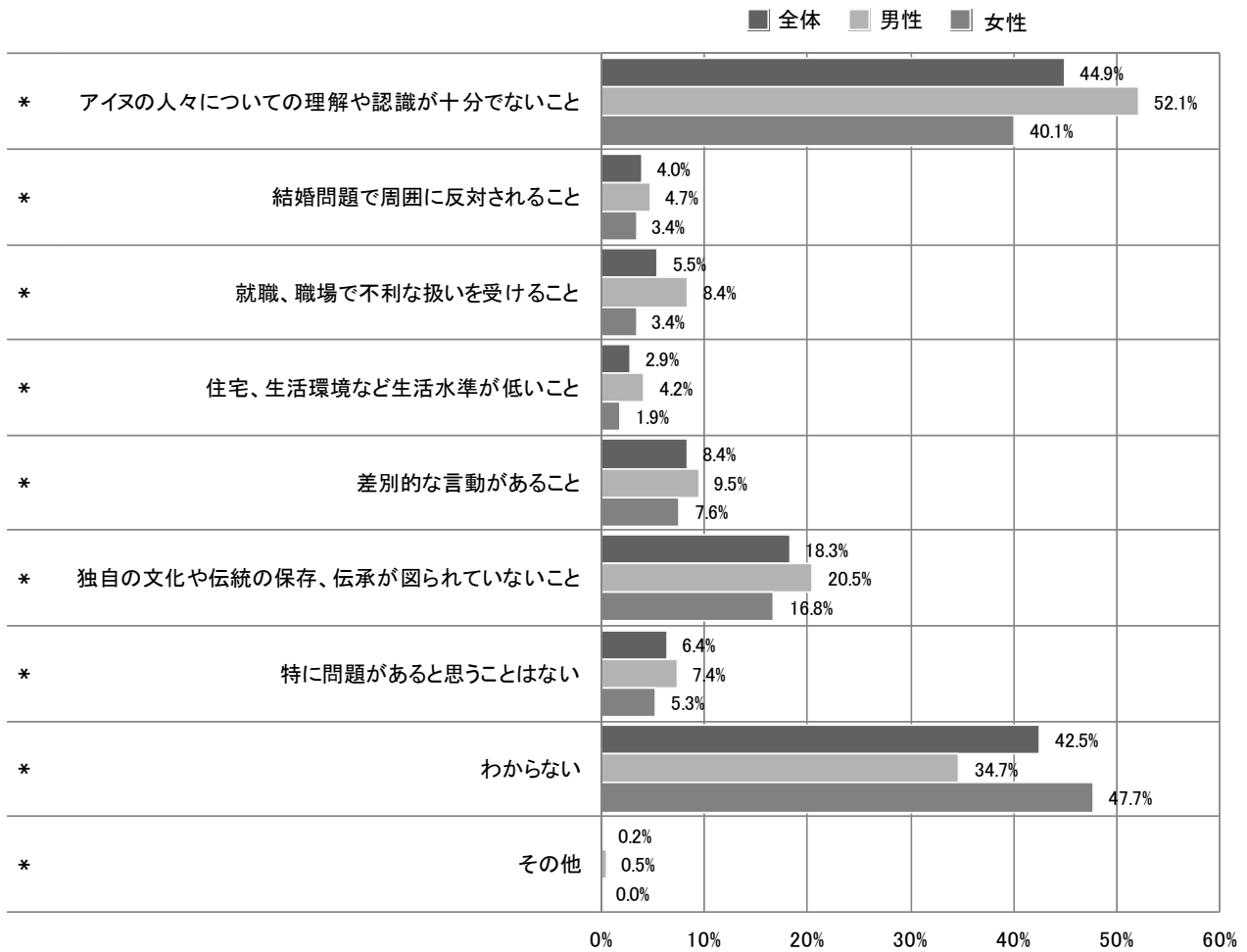
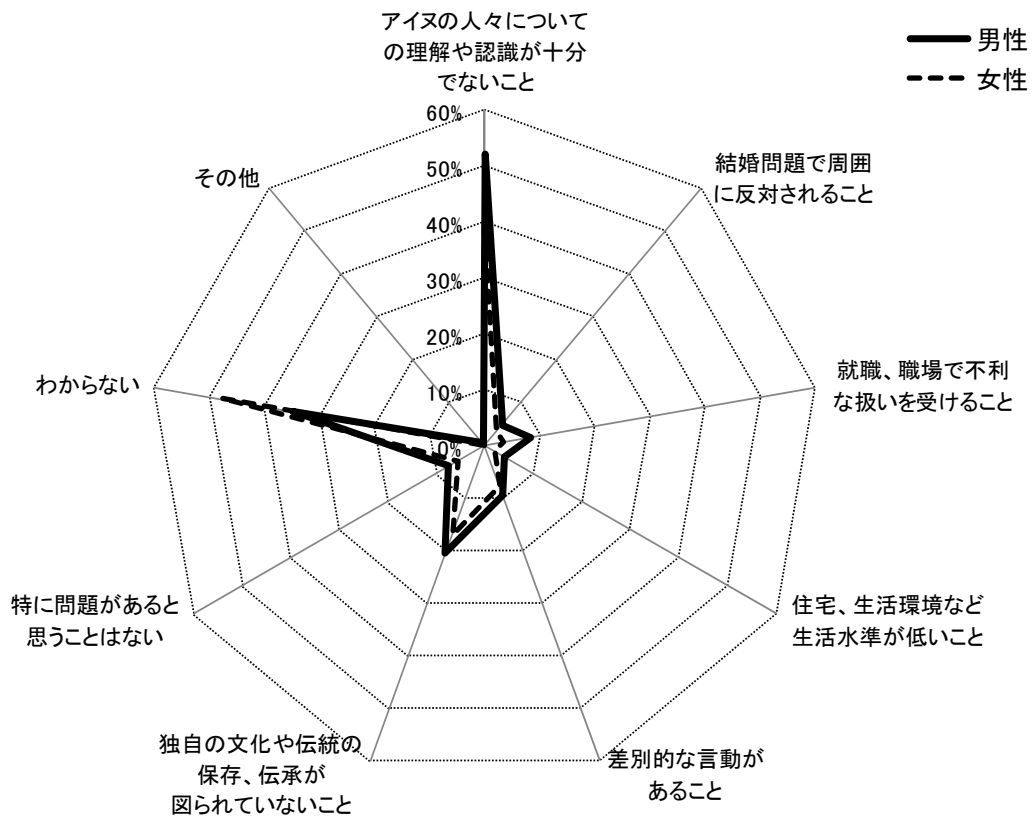


図 24-2



14) 感染症患者等の人権について

問 25	感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 (〇は2つまで)
------	---

感染症患者等の人権問題について問題がある項目は、全体で「エイズ患者、HIV 感染者についての理解や認識が十分でないこと」が41.9%、「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が39.9%と抜きんでて高く、以下「わからない」20.5%、「医療行為の内容について本人や家族に十分な説明がないこと」16.3%の順になっています。

性別による比較においても、ほとんど同様の順位と回答率であり、男女間の意識に大きな差異は見られませんでした。

表 25-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	医療行為の内容について、本人や家族に十分な説明がないこと	74	27	47	16.3%	14.2%	17.9%
2	入院や療養の環境が十分でなく、療養者の生活の質が低いこと	57	27	30	12.6%	14.2%	11.5%
3	エイズ患者、HIV 感染者についての理解や認識が十分でないこと	190	85	105	41.9%	44.7%	40.1%
4	ハンセン病元患者の社会復帰が困難であること	49	18	31	10.8%	9.5%	11.8%
5	感染症患者であるというだけで世間から好奇又は偏見の目で見られること	181	77	104	39.9%	40.5%	39.7%
6	結婚問題で周囲に反対されること	7	6	1	1.5%	3.2%	0.4%
7	就職、職場で不利な扱いをされること	38	16	22	8.4%	8.4%	8.4%
8	特に問題があると思うことはない	11	5	5	2.4%	2.6%	1.9%
9	わからない	93	37	55	20.5%	19.5%	21.0%
10	その他	3	3	0	0.7%	1.6%	0.0%
総回答数		703	301	400	154.8%	158.4%	152.7%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 25 のその他の主な意見

- ・差別する人がいることが問題
- ・身近な問題と認識していない

図 25-1

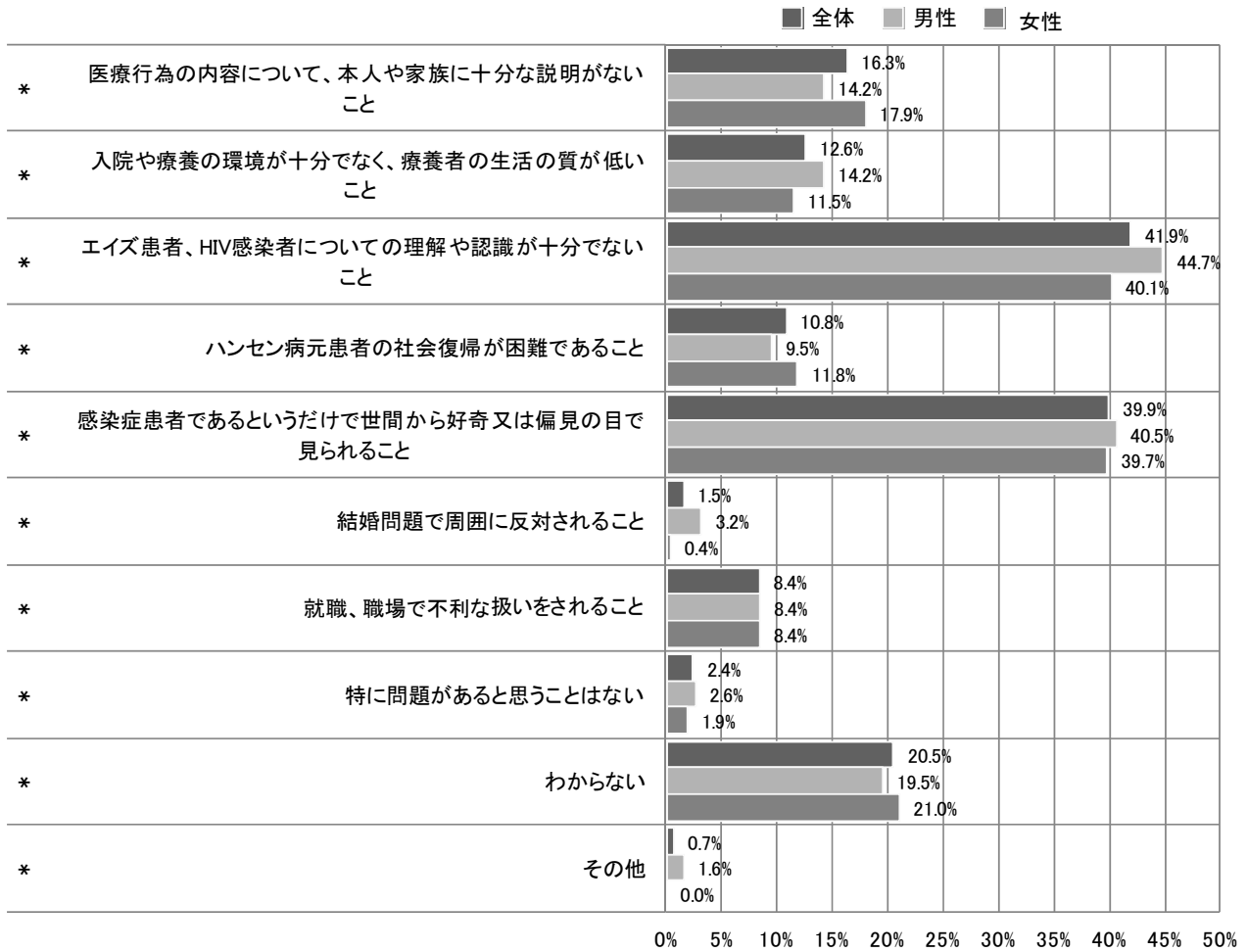
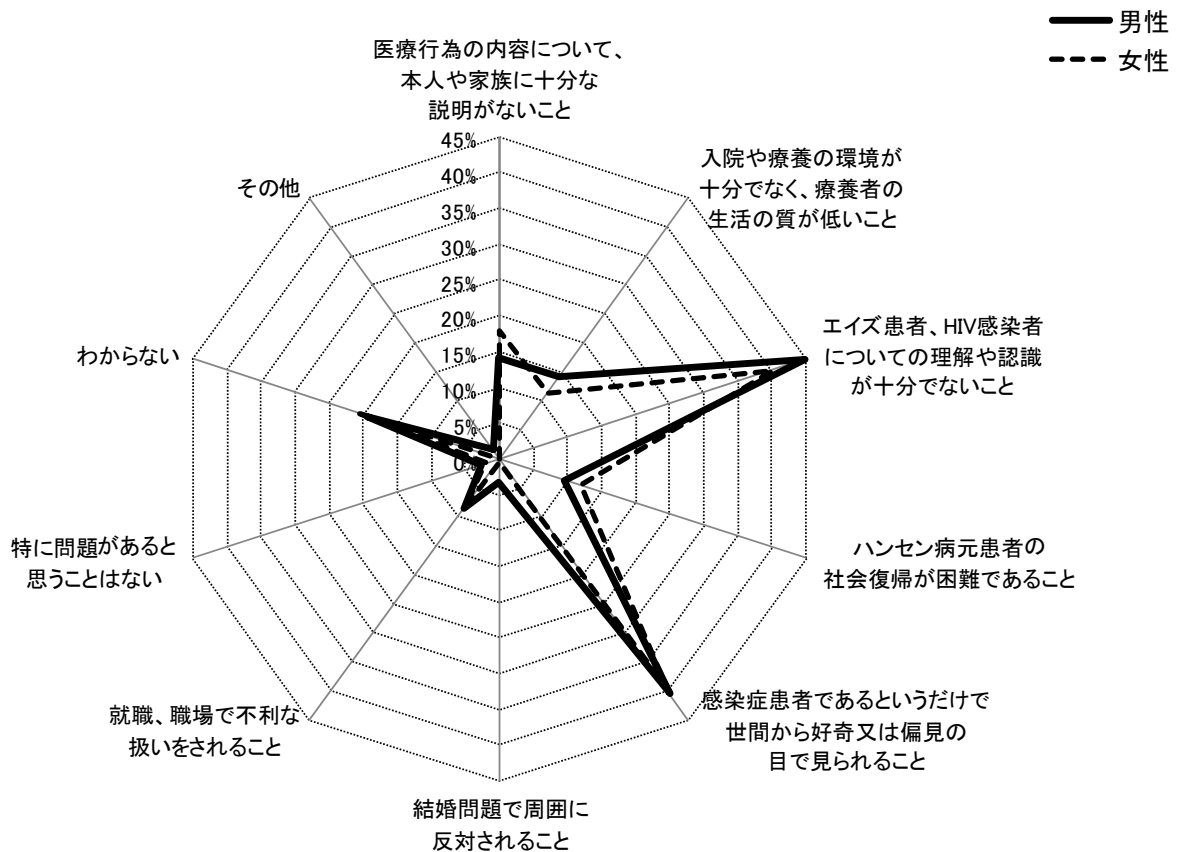


図 25-2



15) 犯罪被害者とその家族の人権について

問 26	犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)
------	---

犯罪被害者とその家族の人権問題について問題がある項目は、全体では「プライバシーに関わる報道や取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が40.3%、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が40.1%、続いて「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」25.3%の順位となっています。

性別による比較では、女性では「報道や取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が42.4%で一番多く、男性より4.5ポイント高くなっています。男性では、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が38.9%で最も高くなっています。

男女間で差の大きな項目は、「刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと」は男性が15.3%で、女性と比較して6.5ポイント高いという結果になっています。

表 26-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	犯罪行為によって、精神的なショックを受けること	182	74	107	40.1%	38.9%	40.8%
2	犯罪行為によって、経済的な負担を受けること	57	29	28	12.6%	15.3%	10.7%
3	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	115	47	67	25.3%	24.7%	25.6%
4	警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと	67	30	37	14.8%	15.8%	14.1%
5	捜査や刑事裁判において、精神的負担を受けること	48	19	29	10.6%	10.0%	11.1%
6	刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	52	29	23	11.5%	15.3%	8.8%
7	プライバシーに関わる報道や、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	183	72	111	40.3%	37.9%	42.4%
8	特に問題があると思うことはない	7	4	3	1.5%	2.1%	1.1%
9	わからない	49	20	28	10.8%	10.5%	10.7%
10	その他	2	1	1	0.4%	0.5%	0.4%
総回答数		762	325	434	167.8%	171.1%	165.6%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 26 のその他の主な意見

- ・少年犯罪の公開性に問題がある
- ・本人の過去

図 26-1

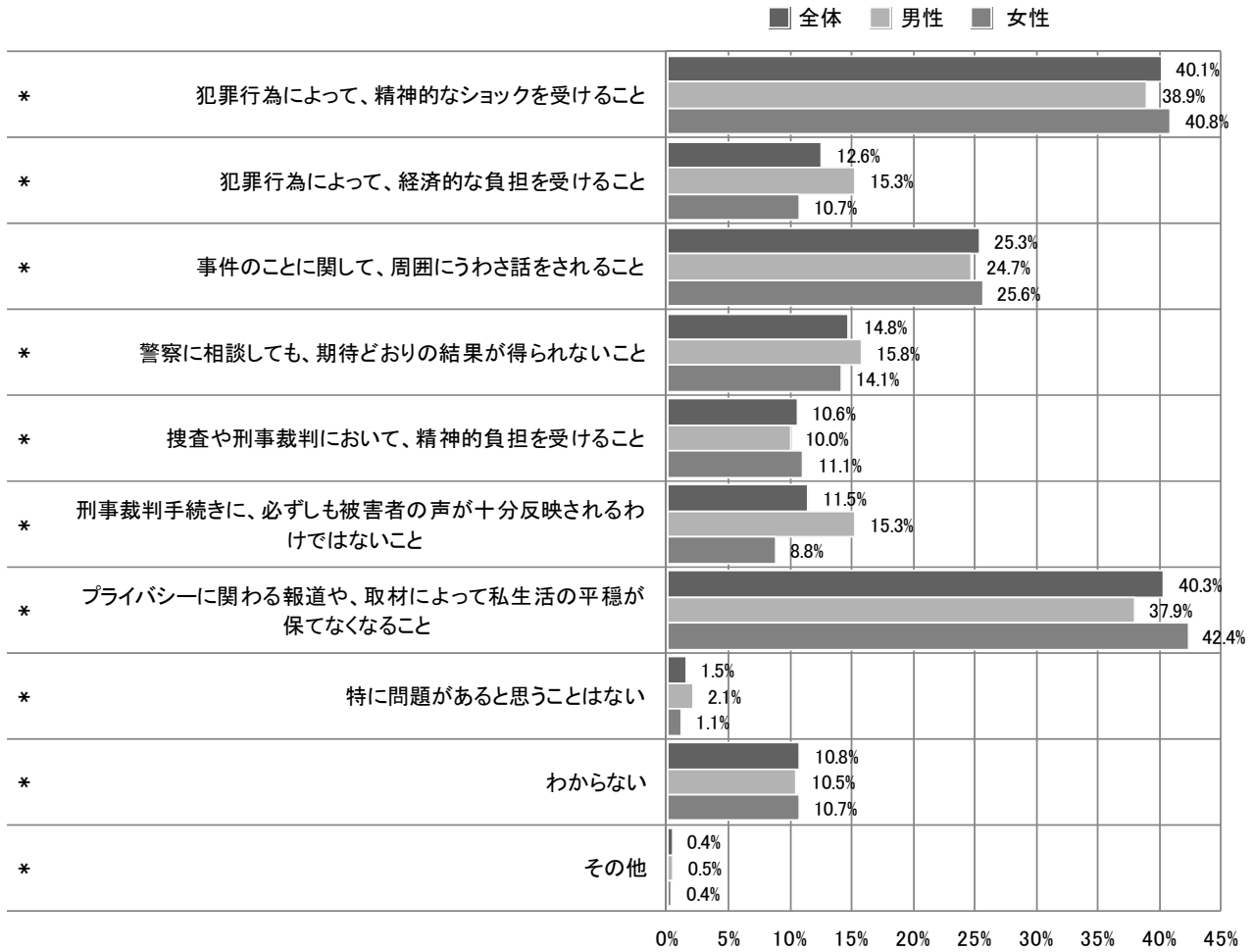
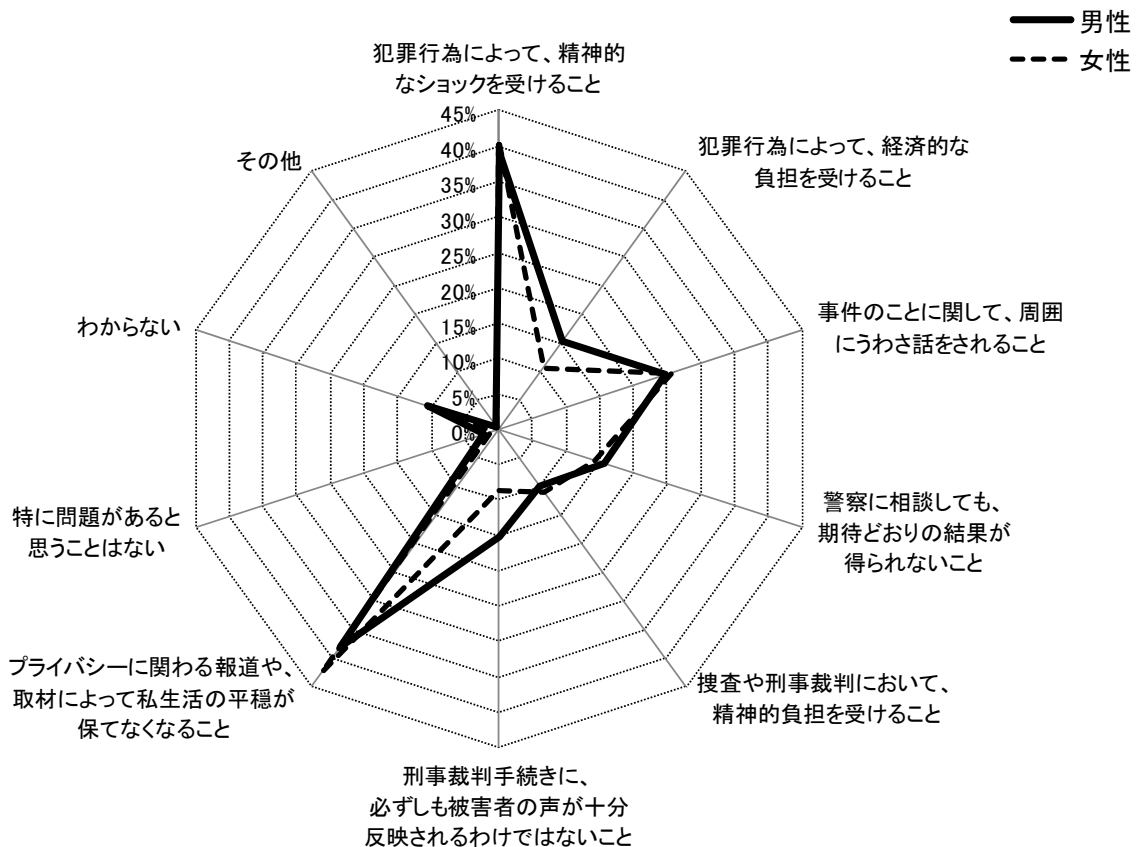


図 26-2



16) 性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権について

問 27	性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)
------	---

性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題について問題がある項目は、全体では、「世間から好奇または偏見の目で見られること」が46.3%で最も高く、続いて「わからない」が26.2%、「性的異常者とみなされ、嫌がらせや冷やかしの対象となること」が26.0%となっています。

性別による比較では、女性では「世間から好奇または偏見の目で見られること」が48.5%で、男性より5.3ポイント高く、男性では、「法律が整備されていないこと」が24.2%で女性より6.6ポイント、「地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること」が18.4%で5.4ポイント高い結果となっています。

表 27-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	世間から好奇または偏見の目で見られること	210	82	127	46.3%	43.2%	48.5%
2	就職や仕事の内容・待遇などで、不利な条件におかれていること	42	19	23	9.3%	10.0%	8.8%
3	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	69	35	34	15.2%	18.4%	13.0%
4	性的異常者とみなされ、嫌がらせ、蔑称で呼ばれるなど、冷やかしの対象となること	118	45	73	26.0%	23.7%	27.9%
5	法律が整備されていないこと	92	46	46	20.3%	24.2%	17.6%
6	特に問題があると思うことはない	17	7	10	3.7%	3.7%	3.8%
7	わからない	119	48	70	26.2%	25.3%	26.7%
8	その他	1	1	0	0.2%	0.5%	0.0%
総回答数		668	283	383	147.1%	148.9%	146.2%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 27 のその他の主な意見

- ・差別する人がいることが問題

図 27-1

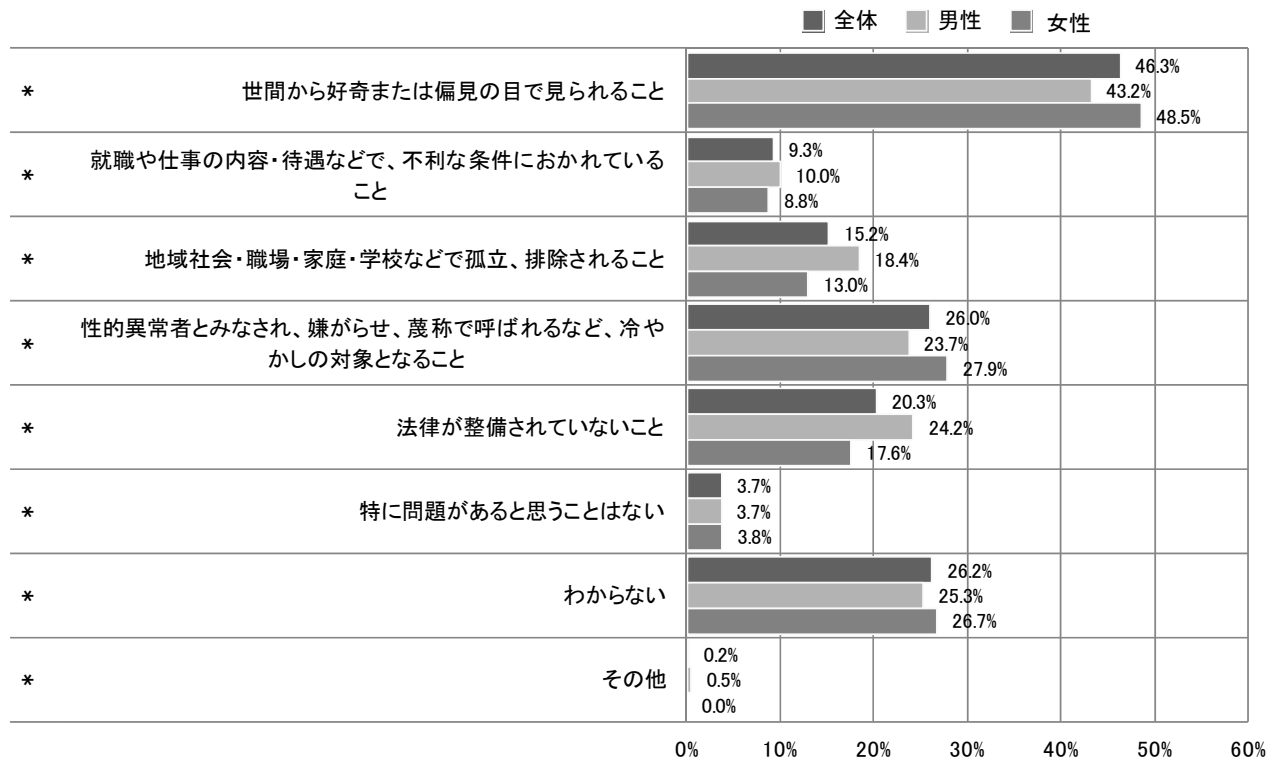
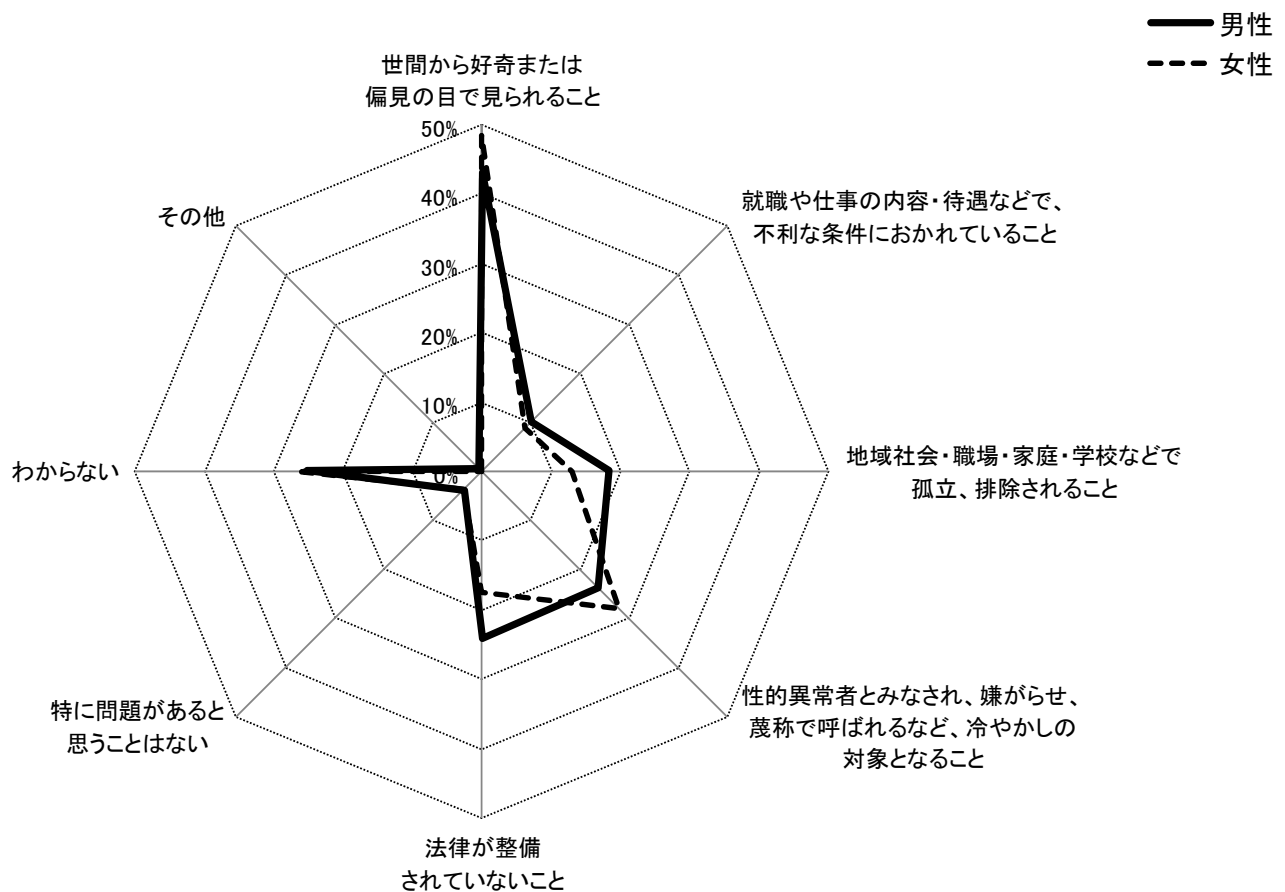


図 27-2



17) 人権教育・人権啓発の方法について

問 28	人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。(〇はいくつでも)
------	---

人権意識を高めるための取組みについての問いに対し、全体では「学校での教育を充実する」が57.9%、「行政による啓発活動を積極的に行う」が49.8%、「家庭教育を充実する」が37.2%となっています。

性別による比較においても、上位7項目まで同様の順位となっていますが、相対的に男性の回答が多く、「学校での教育を充実する」は62.1%で6.8ポイント、「行政による啓発活動を積極的に行う」は54.2%で7.6ポイントそれぞれ女性より高いという結果になっています。

表 28-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	行政による啓発活動を積極的に行う	226	103	122	49.8%	54.2%	46.6%
2	まちづくり、区長会等の地域の取組みを充実する	141	57	83	31.1%	30.0%	31.7%
3	企業や職場の取組みを充実する	126	49	77	27.8%	25.8%	29.4%
4	家庭での教育を充実する	169	76	93	37.2%	40.0%	35.5%
5	学校での教育を充実する	263	118	145	57.9%	62.1%	55.3%
6	人権意識は向上しているので特に取組む必要はない	5	5	0	1.1%	2.6%	0.0%
7	個人の意識の問題なので介入する必要はない	17	7	10	3.7%	3.7%	3.8%
8	わからない	34	10	24	7.5%	5.3%	9.2%
9	その他	6	3	3	1.3%	1.6%	1.1%
総回答数		987	428	557	217.4%	225.3%	212.6%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 28 のその他の主な意見

- ・学校教育だけでは不足
- ・グループや集会を対象とする出前講座の開催
- ・市民の交流の場の充実
- ・議論ができる環境整備
- ・さまざまな場で考えることが大切

図 28-1

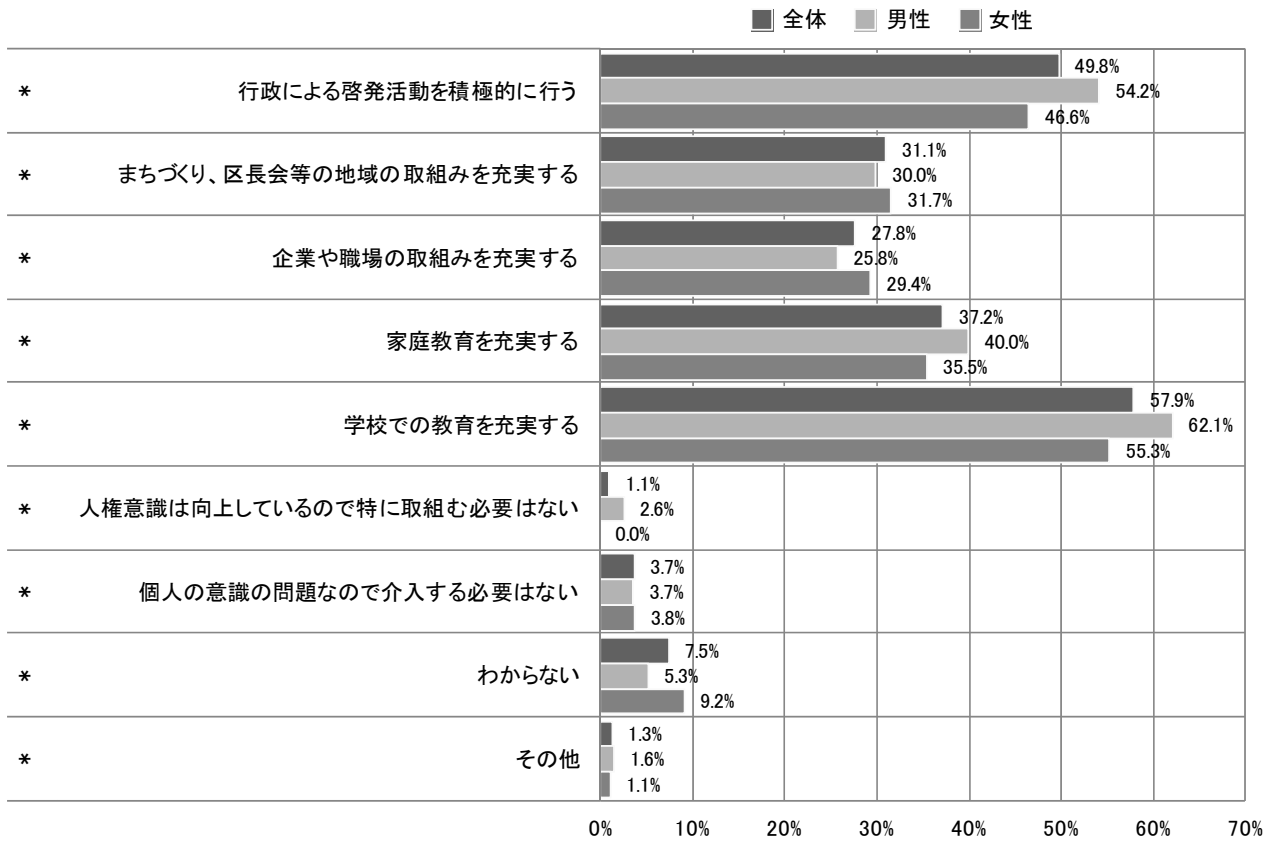
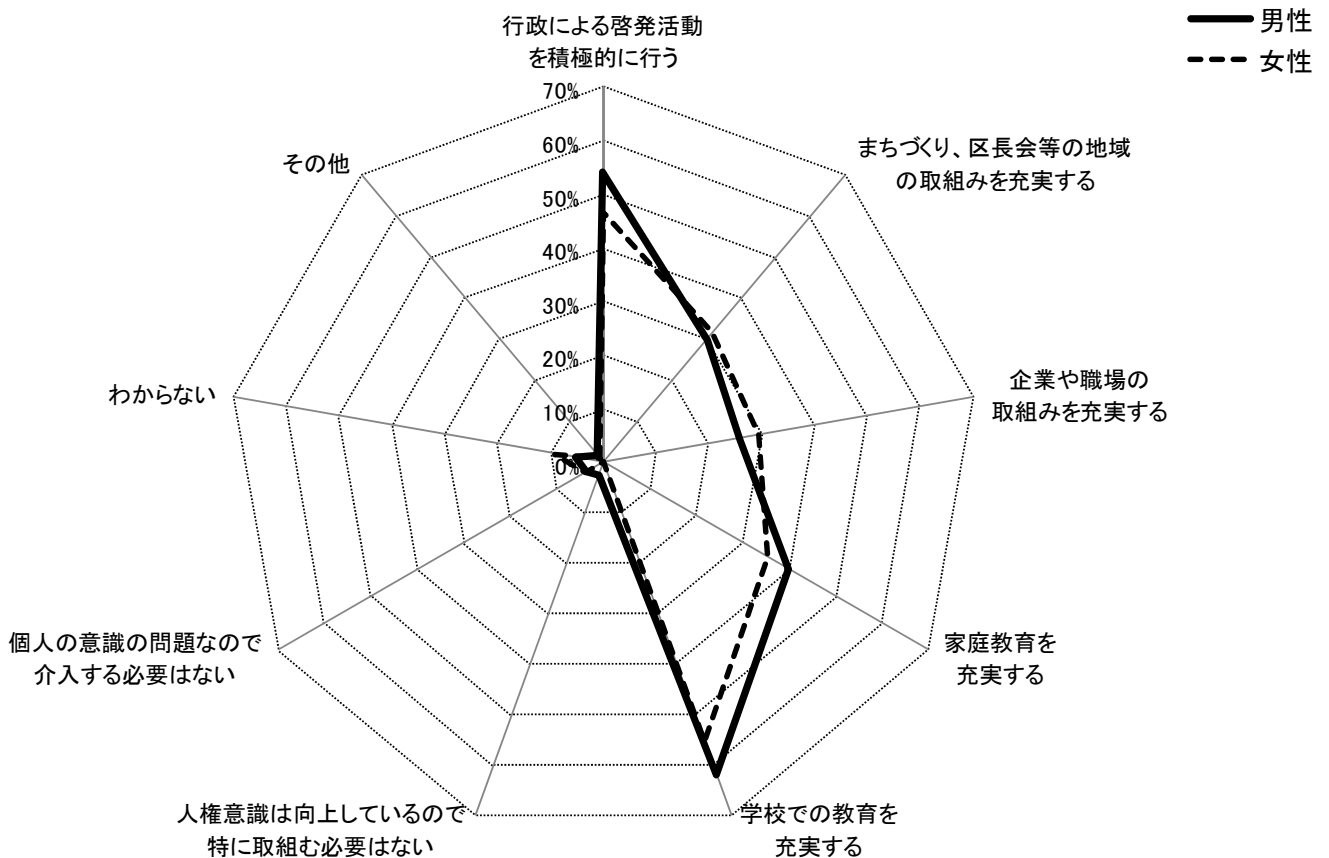


図 28-2



問 29	あなたは、市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心掛けたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)
------	--

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心掛けたり行動すべきことについての問いに対し、全体では、「人権に対する正しい知識を身につけること」が68.3%で最も高く、次いで「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」58.8%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が47.6%となっています。

性別による比較においても、上位7項目まで同様の順位であり大きな差異はありませんが、「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」では、男性が4.7ポイント、「職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと」では、女性が4.6ポイント高くなっています。

表 29-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	人権に対する正しい知識を身につけること	310	128	182	68.3%	67.4%	69.5%
2	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	216	88	128	47.6%	46.3%	48.9%
3	自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること	267	117	149	58.8%	61.6%	56.9%
4	自分の生活している地域の人々を大切にすること	184	73	110	40.5%	38.4%	42.0%
5	家庭内での家族の権利を大事にすること	136	54	81	30.0%	28.4%	30.9%
6	職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと	112	42	70	24.7%	22.1%	26.7%
7	特にすべきことはない	2	2	0	0.4%	1.1%	0.0%
8	わからない	13	3	10	2.9%	1.6%	3.8%
9	その他	2	0	2	0.4%	0.0%	0.8%
総回答数		1,242	507	732	273.6%	266.8%	279.4%
有効回答数		454	190	262	—	—	—

◆問 29 のその他の主な意見

- ・自分の意見や考え方を押し付けない
- ・相手を理解しようとする気持ちを持つ

図 29-1

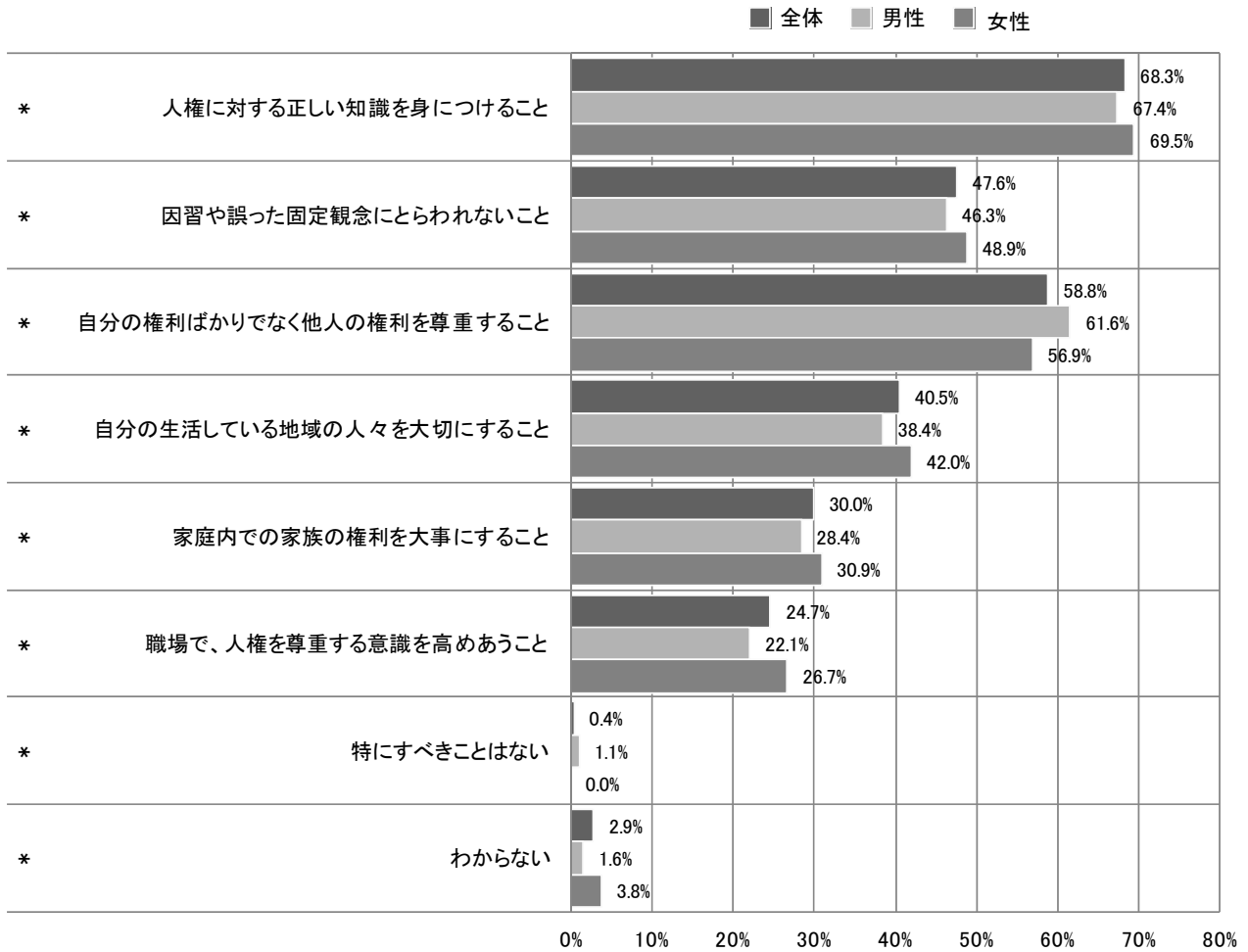
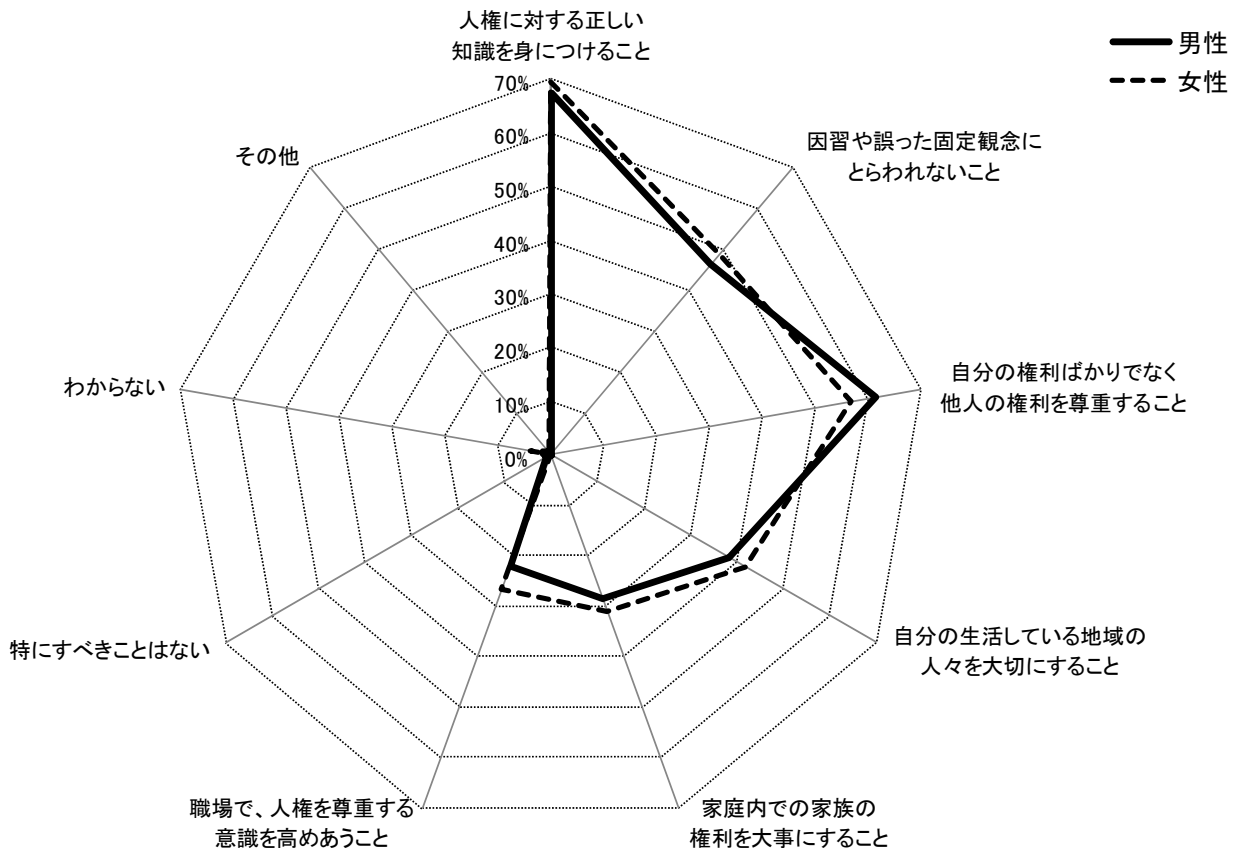


図 29-2



問30	人権教育の推進のために、学校においてどのような教育を進めていけばいいと思いますか。 (〇はひとつだけ)
-----	--

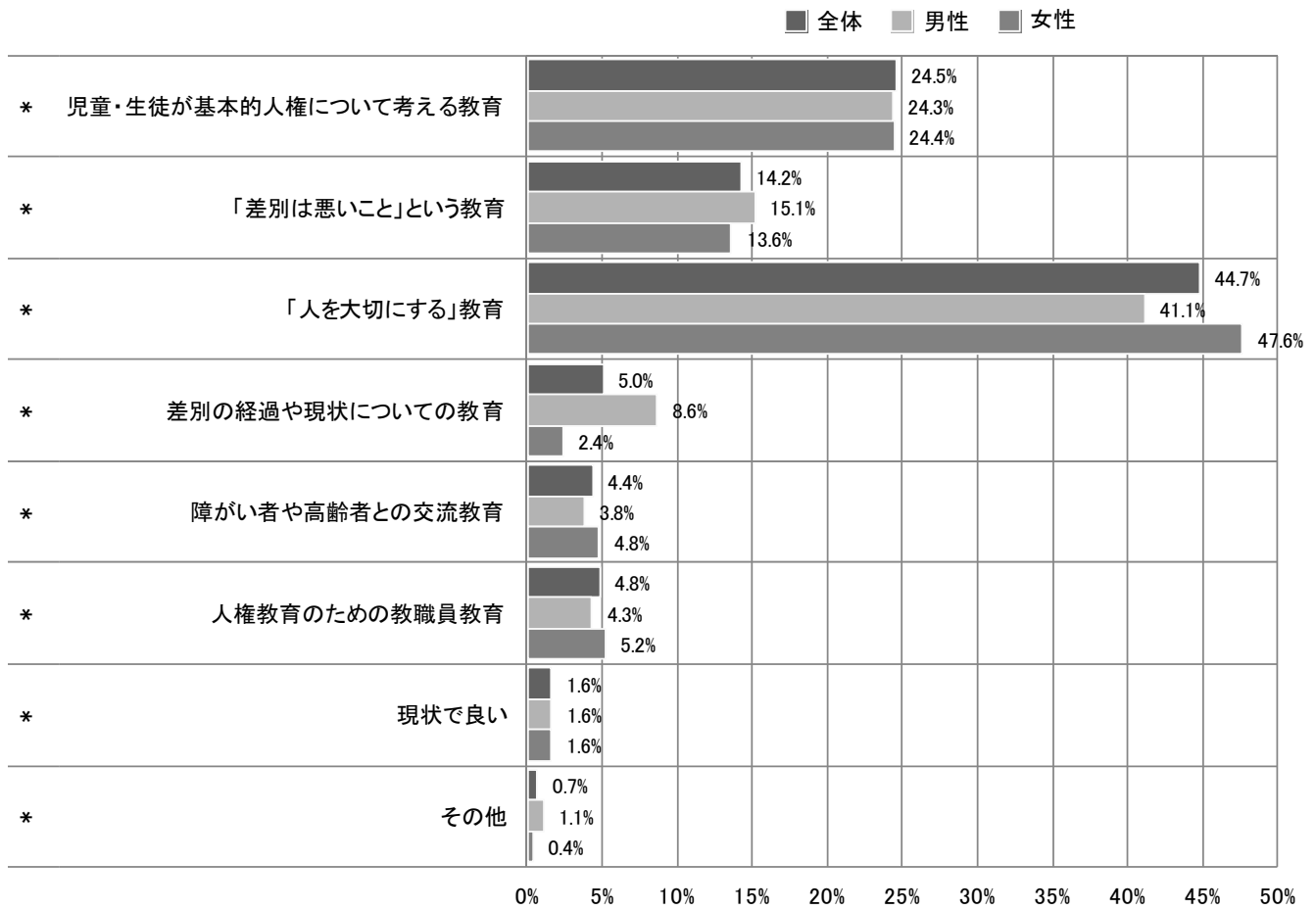
学校における人権教育の進め方について、全体では、「『人を大切にする』教育」が44.7%で最も高くなっていて、次いで「児童・生徒が基本的人権を考える教育」が24.5%、「『差別は悪いこと』という教育」が14.2%となっています。

性別による比較においても、上位3項目の順位に変動はありませんが、大きな差異が現れた項目として、女性では「『人を大切にする』教育」が47.6%で男性より6.5ポイント高く、逆に「差別の経過や現状についての教育」については、男性が8.6%で女性より6.2ポイント高い結果となっています。

表30-1

番号	選択肢	回答数			回答率		
		全体	男性	女性	全体	男性	女性
1	すべての児童・生徒が基本的人権について考えるような教育	107	45	61	24.5%	24.3%	24.4%
2	「差別をするのは悪いことである」という意識を持たせる教育	62	28	34	14.2%	15.1%	13.6%
3	「人を大切にする心や態度をはぐくむ」という教育	195	76	119	44.7%	41.1%	47.6%
4	歴史的な経過や、差別の現状などが理解できるような教育	22	16	6	5.0%	8.6%	2.4%
5	障がい者や高齢者とのふれあいの場を多くするなどの交流教育	19	7	12	4.4%	3.8%	4.8%
6	人権教育を効果的に進めるため、教職員研修を充実する	21	8	13	4.8%	4.3%	5.2%
7	現状で良い	7	3	4	1.6%	1.6%	1.6%
8	その他	3	2	1	0.7%	1.1%	0.4%
有効回答数		436	185	250	100.0%	100.0%	100.0%
無回答		18	5	12	—	—	—
総回答数		454	190	262	—	—	—

図 30-1



◆問 30 のその他の主な意見

- ・何をしても変化はない
- 他

4 自由意見

*皆さんから寄せられた自由意見については、できる限り原文のとおり記載することとしておりますが、一部で意味が通じにくい表現（現在一般的に使われていない表記や句読点の欠落など）がありました。そのような場合は、勝手ながら修正して掲載していますのでご了承ください。

人権全般について

性別	年齢	内 容
男性	20歳代	<p>人権問題といわれても、ピンとこなかった。特に身近にない問題に関しては関心の弱いことを感じた。知ってはいるし、どういうものか少しは分かるが、自分がよく知っているかときかれば、それはわからないことが多かった。</p> <p>自分に直接関係ない場合、考えられないということを感じた。</p> <p>女性問題や高齢者問題に関しては身近ではあるかもしれないが、やはり問題に直面しておらず、母とも祖母とも関係は良好であるためか問題についてそうは感じなかった。ただ、そういうことを感じている人もおられるということがあれば行動として押していかないといけないと思った。</p> <p>特に現状として核家族化や地域での取り組みなど、人と人が協力して何かをしたり、関係をもって助け合ったりすることが少ないため人権という権利が必要になってくるのかなあとも思った。</p> <p>昔から、近所のおじさんおばさんらに教えてもらったり、親やじいさんばあさんから学ぶことがあったり、地域の活動で知ることだってあったけど、そういうのが少なくなったところが増えてきたからそういう問題が出るのかなあとも思った。</p> <p>なぜ人権問題が起こるのか気になった。</p>
男性	60歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権」を振りかざせば、皆が一步引き下がる（戦後教育の結果）ムードが諸悪の根源。 ・特に同和問題、わざわざ歴史をさかのぼって教え、差別されて来た人々はどこに住んでいた。その子孫は・・・など想像させた上で、差別はいけません。永遠にくり返されることになる。問題にもしない、教えもしないのが一番。 ・人権で職を得ている人達が自己保身のためにわざわざ問題のないところに問題を作り出して騒ぎを起こしている状態が多いように思う。 ・女性のゴウマンさを叱ったり、子どもの非行へのステップを止めたりという行動を誰もがしなくなったら世の中はどんどん悪くなる。 ・障がい者、高齢者、女性、子どもに対する思いやりとは別の問題と考えます。
男性	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子を持つ親として、給食費の未納等の義務を守らないで、公的な支援なりを声高に言うのは、どうかと思う。やがて、子どもが小中高と進学するにあたり学校で先生、友達との付き合い方が上手いなくなってきた時、どこか相談出来る（気軽に）所があると心強い。瑞浪で子どもの自殺なんて二度と起こしてはいけない。 ・朝鮮問題は実は親が子どもに偏見を植え付けているだけで子どもだけのコミュニティでは発生しにくいと思う。 ・市に送られた小さい信号をどうか見落とさず、うまく付き合ってやがて解決にむかってほしい。 ・不当な要求等には、決して引きずられる事のないようお願いしたい。 ・昨今、青パトなり高齢者も出番がありつつ、ボランティアを中心に企画を増すことを望みます。全体では良くやっぺいらっしやる。人権問題は全てなくなる事はないと思うので。継続こそが大切であると思います。
女性	40歳代	<p>ちゃんと取り組むべき人権もあるが、アイヌや同和など今の子ども達が知らないでいる問題をあえて取り上げることはないと思う。それを知らなければ差別することもないから。</p>

性別	年齢	内 容
女性	30 歳代	(仕事関係のことしか分からなかった) ・今まであまり関心がなかったため、今回これほど多くの人権問題があると知りませんでした。 ・自分はあまり偏見の目で見ることにはしていなかったけれど、意外と問題があるのだなあ・・・ と思いました。
男性	20 歳代	アンケートを読むまで知らなかった人権問題について、「解説」のおかげで少しだけでも知ることができてよかった。 自分とは全く無関係だと思っていた“アイヌの人々の人権問題”や“性的指向、性同一性障がい者の人権問題”など、新たに関心を持つことができました。 さらに詳しく知識を得て、人権問題について考えて行きたいと思います。

子どもの人権問題について

性別	年齢	内 容
女性	50 歳代	学校でのいじめ問題などで受け身側への配慮のなさにいつも悲しい思いがします。 少しでもその兆候がありそうな時期に隠しカメラや盗聴テープなどでハッキリさせることはできないか。真実がわかれば双方が安心できるはずです。双方の安全を守ることができると思います。 早い時期に警察、弁護士が介入するシステムを社会全体に望みます。
男性	40 歳代	住みよい町ということを言われますが、「いじめ」問題があります。以前、M中学でのいじめ→自殺があったのにどうして次で同じようなことが起こりますか？ 統合とか言われる中、まずは心地よい学校生活ができるように市だけでなく各家庭へも考える場がほしいです。いじめている本人は全くしらんぷりいじめられている子は辛くてくるしくて孤独感になります。こんな思いしたことありますか。実際このような問題をどう考えていますか？選挙の時にアレコレ公約をいわれますが、全くわかりません。 いじめで人を殺すのはもうやめてください。みんな同じように学校にいかせてください。どうして行かせてくれないのですか？ これも人権にかかわると思います。
男性	70 ～ 89 歳	近頃気になること（老人の余計な心配事かもしれませんが）地域周辺で子どもがありながら離婚する例が増えているような気のすることです。 「子はカスガイ」という言葉はどこに行ったのでしょうか。それぞれ事情があつての事でしょうが、或る意味大人（親）の都合で子どもの人権（幸せ）をふみにじっているように思えて残念です。子どもの幸せは両親揃っての家庭の中にあると思います。 人権を主張出来ない成長期の子どもの将来の為に教育面、或いは社会環境等から何か出来ることはないかと考えさせられる今日この頃です。 特に 20 歳前後の青年層の人に大人としての責任、自覚等について話をする機会が増えることを希望します。

障がい者の人権問題について

性別	年齢	内 容
女性	30 歳代	私は今年子どもを出産しましたが障害を持っています。 これから先に自分の子どもが、どんな目で人から見られるのかを考えると今までとは違う「人権問題」を考えるようになってと思います。 まだまだこれからですが、どこに相談したらいいのかが正直わかりません。 このアンケートとは違うかもしれませんが・・・少し不安です。

同和問題について

性別	年齢	内 容
女性	50 歳代	P T A 役員の時、同和問題の研修会がありました。それでも今でも残る差別について具体的にはわかっていません。 「同和問題」という表現が難しくしているようにも思います。 人を大切に思う心、公平であることが基本であればこのアンケートにあるすべてのことを網羅できると思います。「誰をも差別しないで大切に思う」ことを意識し行動できる人が増えることを望んでいます。 頭のどこかにあるものの、つい忘れて人を傷つけているような気がします。
男性	60 歳代	同和問題と言っても今日の若い人に言っても分からないと思う。エセ等の同和関係者を名のる団体がいるが。 この様なアンケートを行うならば、同和研修会を地域毎に必ず行う事が必決と思う。行政が研修を行わずに行うアンケートはナンセンス。 職員で人権問題、同和問題について、理解している人がどれだけいるか。講師できる人がいるのかな？
男性	30 歳代	問 19 は選択肢が極端だと感じ、選べませんでした。 同和問題に限らず、人権問題は知識で知っていても具体的に個人で活動することは難しいことだと思います。でも放っておいても解決するのではないので、自分ができるところを考え、行動したいと思います。

外国人の人権問題について

性別	年齢	内 容
女性	70 ～ 89 歳	外国の人が日本の生活をする事は日本の常識を学ぶ事。

刑を終えて出所した人の人権問題について

性別	年齢	内 容
女性	20歳代	罪や非行を犯した人が差別をうけることは、よくはないと思うが、自分が犯してしまった行為がそれだけ大きかったということであり、多少は仕方のないことで、自己責任であると思う。一切差別のない生活だと、罪をおかしても、それを償えば普通の人と同等の生活ができると考えてしまうので、罪への意識がうすれてしまう可能性もあると思う。人権は大切だが、それなりのルールは必要であると思う。

広報・啓発について

性別	年齢	内 容
男性	20歳代	人権がどうのこうのと口にする人間は、自分が正義でお前らは悪だと言っているように聞こえる。個別の問題を総称して人権問題と言うとわかりづらいので、「今みずなみではこういう問題があるので一遍家族で話し合ってみませんか」などの形で広報に載せるなり、学校で問題提起してみるなりすればいいのではないかと思います。
女性	50歳代	質問に対しての答えがわかりにくい表現で選びにくかったです。こんなに多くの人権問題があるとは知りませんでした。人権問題で悩んだり、苦しんだりしている人々を具体的にどのように救ってゆくのか、もう少し考える機会を作らないといけないと思います。あまり、表面化していないので、耳にはするけれど、くわしいことはわからないし、その情報をどのように手に入れたらよいのかもわからない人が多いのではと思います。このアンケートの結果がどのように私達に反映されるのですか。人によりこの世界は成り立っています。もう少し、それぞれの人権別に市で取り組むべきだと思います。私達、一人一人は一体、何をどのようにすればこの問題が解決できるのか、考えていきたいです。
女性	40歳代	この国にある社会問題ともいえる様々な人権問題について啓発活動をし、正しい知識を国民全員が持つのに大切なこと。「まず知ること」と思う。ただ、実際の行動としては、まず、身近な人（家族、地域の人）を大切にすることだと思う。区や子ども会の行事はだんだん参加者が減って、地域の人を知る機会がとても少ない。世代が違くと近所であっても顔さえ知らない場合も。めんどうかもしれないけど区での協働作業などがもっとあると災害時も協力しやすいし、人権意識も高まると思う。
女性	40歳代	当事者にとってみれば深刻な問題でも、他の人にとってみれば、それほど感じない・・・温度差がかなりあるのではないかと思います。子どもの頃から人権について考える機会を持たせることも大切だと思いますし、日頃から市民の目につくよう耳に聞こえるよう行政も示していくことが大切なのではないかと思います。相手を思いやる“人づくり”から人権侵害にあわれている人のフォローまで行政として出来ることを精一杯していただけるよう、期待します。 ・全然関係のないことですが、送られてきた封筒が定型封筒として再生できることに驚きました。市民の税金を無駄にしていない一つの形に見えました。色々な封筒をみっていますが、これは初めてでした。なかなかいいですね。

性別	年齢	内 容
男性	20 歳代	人権はとても大切です。沢山の知識があれば人権を守っていけると 생각합니다。正しい知識をもつことも大切だと思います。そして、挙手していかなければ、その知識を使う事が困難だと思います。 瑞浪人は瑞浪のことがみんな好きなので今の町をこのまま維持して欲しいと思っています。私もそのひとりです。 この場の話では無いとは思いますが、核廃棄施設は絶対に作ってほしくありません。それがみんなの願い、子どもの為だと思います。
男性	30 歳代	問6にあるように一人ひとりの人権は大切にしなければいけないし、尊重されなければいけないが、正しい情報や知識が必要であり、間違った知識は別の人権問題を生じる場合もある。 多くの人が正しい知識を持って人権問題について考える事が出来れば良いと思う。
男性	60 歳代	この機会にもう一度市民に「瑞浪市人権施策推進指針」を知らせて欲しい。

人権教育について

性別	年齢	内 容
女性	40 歳代	人権問題について学生時代に勉強しただけで20年以上忘れていました。今、あらためて人権について質問されるとわからない事ばかりです。 人権教育を行う先生が偏見を持っているようでは正しい教育は出来ないのでは偏見を持たない人に子ども達を教育してもらいたい。
女性	20 歳代	人権について、考えさせられる内容でした。 もっと身近なところに人権問題を感じる事が大切だと思うし、正しい知識を学ぶ事が大切だと思いました。
女性	40 歳代	自分が、自分がという考え方が人権尊重ではない。人によっては何かにイラついたり精神的に偏ったりした状態のとき、それを解消する手段として弱い人を攻撃して快樂を得ようとするのではないか。 ひとりひとりが自分の心をつめ、今の心の状態を肯定的に受容できるようになることがいじめや差別をなくし、自分の生命を社会のために生かすことが至上の喜びとなるのではいか。 自分の心、身体をみつめる業が訓練される必要がある。
女性	40 歳代	人権問題は学校だけで教える事でも家庭だけで教える事ではないですが、小さい頃から「大切にしましょう」「平等にしましょう」というより具体的にこういう事がいけない事だと教えた方が心に残ると思いました。 私自身、今回のアンケートで今でもこんな事があるのか？と思うものや良く知らない事もたくさんありました。躰やマナーの部分といじめ等の違いなど子ども達には具体的に教える事がわかりやすく、心に残ると思います。 親や回りの大人の姿を子ども達は見て、又、次の世代へとつながるので、少しずつ広げて行く事だと思いました。

性別	年齢	内 容
男性	30 歳代	人権と言うものの、そもそも道徳心を判り易くした言葉だと思う。 道徳、人の心の教養を養える場所、機会、社会作りが必要だと思いますが・・・。
女性	50 歳代	老人問題でも障がい者問題でも社会で活躍している人の考え方しだいで良くも悪くもなると思う。 母親自体が自分の子どもに対しての考え方、見方がおかしい人がある。もっとしつけをしてほしい。 自分中心の考え方ではなく、自分がされたらどうだろうと人の立場になって考える人間をつくる教育にしてほしい。先生がしっかりして社会的に適応できる子どもの考えを導いてほしい。家庭では親が子どもにやっていい事と悪い事の区別ができるしつけをしてほしい。親のしかり方を子どもは真似をするので。どんな悪い事をしたから叱られたのかを明確にした叱り方をしてほしい。 子どもより、親の教育をすれば、老人～全ての問題が解決すると思います。
男性	40 歳代	私達を含め、大人も子どもも心が貧相になってしまったように思います。 人はまず、生活の豊かさを求めるあまり、他人に興味がなくなり、人と接する事から逃げ、個人の人権を求めてしまった。 そんな大人が子どもを教育（しつけ）してしまう。豊かさとは、時には、人をだめにしてしまうのでしょうか。今の親（私も含めて）勇気を持って、子どもを育てるべし。
女性	20 歳代	とても難しい問題で、頭では何となく分かっているけど、自分ではどのように取り組んでいけばいいのか、子どもにどう伝えていけばいいのか悩む項目ばかりでした。 学校や行政ばかりに人権教育、啓発を求めるのではなく、家庭でも話し合いの場を設けることも大切な問題だと改めて感じました。
男性	70 ～ 89 歳	人権問題に関する事はなかなか解決できるものではないと思う。 一人一人の捉え方が違うし、考えが違う。 本当にこの問題を解決しようと思うなら学校での教育が必要だと思う。（難しいと思うが）時代が変わればそういう事に関する事も薄れてくるのではないだろうか？
男性	60 歳代	今、自分達の町で、在日朝鮮人、同和問題、女性、子ども etc の人権問題は、影をひそめているのか、見当たりません。 私はむしろ家庭内での子どもの躾をきちんとやれない。大人社会に問題があると思います。 義務教育期間中に子ども達にこれら人権問題がなぜ残っているのか。しっかり教育してほしいと思います。学校の教員先生達きちんと教えられるか。

アンケートについて

性別	年齢	内 容
女性	20 歳代	実際、自分に直面しないとわからないことも多いし、関心もわかない。 だからといって、今、どうやって人権について知ることができるか、わからないし、人権について自ら調べる機会がない。 逆に人権ってアンケートとるほど、これは大切な事ですか？このアンケートがどのように役立つかわかりません。意味ないと思いました。こんなことやる時間があるなら人権について困っている人の役に立ってもらった方がいいと思います。
女性	20 歳代	訊いただけで、結局何も変わりませんでした、は、やめてください。
女性	50 歳代	人権に関するアンケートは必要でしょうか？ 働いている人は（会社で）上には逆らえないし、保険などにも入れてもらえない人もいる。 会社経営している人たちにもっと・・・。 今の世の中インターネットだけで済ませているから問題が出た時にマニュアルがないと出来ない人達が多いのでは。
男性	50 歳代	所々に解説などが付いていますが、答えを誘導しているように思えました。 日本の人権問題の多さを再認識させられる調査と感じました。この調査が生かされることを期待します。
男性	60 歳代	一口に人権と言っても、世代や環境、また居住地域等により差異がありすぎ、定形的な設問が極めて難しいのでは・・・と思われまます。年代別に設問を変えることで、もう少し、現実にもった回答が得られるのではと考えるものです。
男性	40 歳代	この調査が無駄な税金とならない事を希望します。
男性	70 ～ 89 歳	高齢にもなり人権問題にお答えしてもあまり意味がない様に思います。大切な回答だと思えますので、もっと若い人生の人達に回答をお願い致します。 80歳近くという年にもなり何も出来ないが、若い頃は仕事一筋で暮らしてきました。若者達に「常識ある世の中にしてほしい」と願うばかりです。
女性	60 歳代	このような調査は大切だと思います。 市政に携わっている方々はリストラや倒産の危機感がなく、安心、安定の生活が維持できますので市民の底辺の部分には気付かない面もあるかと存じますので。
女性	60 歳代	いざ、こうしてアンケートに答えるとなるとむづかしいです。こうあってほしいと思うのですが、わからないことが多いです。
女性	50 歳代	○の数を限定する時の基準がわかりません。意図的なものを感じてしまいます。
女性	60 歳代	問題が問題であるのか難しい質問であった。

その他

性別	年齢	内 容
女性	70 ～ 89 歳	昔の態度と変わって来ましたね。上に立つ人が何故もっと良い方法をしてこれないでしょうか。田舎ってずい分変わりました。病人が出来るとはげましの言葉も無いですね。一方的に話はきかないですね。
女性	70 ～ 89 歳	自分は今 75 歳です。少しは貯金もありますが、これからまだまだ？生きると思う。心配は「医療費」です。 安らかに死んでいきたいのですが、人権ってどこまでを云うのですか？
女性	60 歳代	人権問題に関する事か分かりませんが、前に国会で夫婦別姓なども取り上げられた事がありますが、このような事が可決されるなどとなるとこれからの日本がもっともっと危なくなると思います。
男性	60 歳代	すべての人間は同じで有る意識が大事と思います。
男性	50 歳代	まず、大人世界で差別をなくすこと。国会の中でもいじめのようなことや発言中のヤジなど人としてどうかと思う。大人ができていなくて子どもに教育などできない。
女性	60 歳代	自分が仲間外れをされ、初めて知る悲しい思いは、他人にはなかなか分かってもらえないと思うし、やっている大人も自分さえ良ければ他人が悲しい思いをしていると理解は出来ないと思うし、他人が傷ついている事すら分かっていないと思う。自分がこうされたらとても悲しい。 反対の立場に立って、物が言える様な人間に皆んながなれば悲しい思いをする人が少しでも少なくなると思いますが、人間社会ではとてもむずかしく、人に期待しても無駄のような気がします。とても残念ですが、自分で明日は良い日だと勇気を出して今日より明日へとがんばります。
女性	50 歳代	個人の意識の問題である。 頻繁に行政が家を訪問したりすると周りの人に気をつかうと思う。 いろいろ言う人もいるだろうし・・・難しい問題 意識の向上が一番！！個々の。
女性	60 歳代	他人はどうでもいい・・・とか、他人への思いやりがない気がします。もう少し、他人に気遣う事ができたならこの世の中、町内は、明るく、楽しい生活ができるのではないのでしょうか。 今の私の年になって他人への思いやりが出来るようになったから、無理なのかな？少しでも皆さんを引きつけて暮らしたい。
女性	60 歳代	人権問題は一番むずかしい。生きて行くために必要な事ばかりです。 いろんな問題事にしても言えない、やれない事ばかりです。段々むずかしくなっていくばかりでしょう。
女性	60 歳代	人権問題とモラルの問題は深い関係があると思います。自分を大切にするとする事、他人を大切に する事、家族の中の自分、地域の中の自分を自覚しながら生活出来る“力”が必要だと思います。 特に地域の中の自分を考えた時、我慢し合う事、許し合う事、毅然として意見を言う事・・・と難しい事がたくさんありそうです。一人一人が自分を高めて行くという事が何より大切かもしれません。
男性	60 歳代	地域社会のつながりが希薄になってきています。個人の権利が大切な事はもちろんですが、自分の主張ばかりでなく、他の人の意見を聞き受け入れて人と人との関係を重んじる事が大切だと思います。 最近学校で競争させることが少なくなったり、（一人一人の権利を重要視しすぎる為）無茶を言う親が増えていたりすると聞きます。権利の裏には先ず義務と相手を思いやる心が必要であり、世界の厳しい競争に勝ち抜ける競争力や忍耐力を養う事も大切だと思います。

性別	年齢	内 容
男性	40 歳代	人権は守られている事が当然のことで、問題があるという意識があまりありませんでした。このような機会でもっと考える事が必要だと思います。今回はアンケートでしたが、誰もが参加できるような活動ができるといいと思います。具体的によくわかりませんが、そのような場を提供していただけることを期待します。
女性	60 歳代	瑞浪市として調査してどうするか（全国ですか）。同和、アイヌ、外国人、北朝鮮、問題が難しいと思う。瑞浪市民が思っている（生活、役所の問題）身近な設問を計画してください。市長さんよろしく
男性	40 歳代	差別人権問題について明らかに存在するのに“ない”としてきた行政や企業がこれまで金銭あるいは経済的恩恵をもって解決しようとオープンな議論がなくやり過ぎしてきた、ということが問題なのだろうと思っています。
女性	70 ～ 89 歳	隣は何をする人ではなく、ご近所が互いに声を掛け合う事が大事だと思います。やっぱり絆ですね。
男性	60 歳代	人の社会、自分も大切、他人も大切にしたいです。
女性	70 ～ 89 歳	どの項目も大変重要な事です。私達も小さなことから少しずつ考えを変えなくてはと思いました。
男性	30 歳代	問6にあるように一人ひとりの人権は大切にしなければいけないし、尊重されなければいけないが、正しい情報や知識が必要であり、間違った知識は別の人権問題を生じる場合もある。多くの人が正しい知識を持って人権問題について考える事が出来れば良いと思う。
女性	40 歳代	日本人の生き方は世界で高い評価を得ています。（・他の人への思いやりを持つ・清く正しく美しく生きる。・正々堂々と生きる。）個々が胸を張って日本人として生きれば、人権問題も無くなることと思います。
女性	60 歳代	人権について今まで考えたこともありませんでしたが、私たちが生きていく上でとても大切なことだと思います。瑞浪市に住んで良かったと言う町にするためにも、私たちにできることがありましたら協力したいと思っています。
女性	60 歳代	若い人と老人とでは自由、平等に対する考え方が異なっていると思われることが時々ある。この頃は何でもかんでも自由、平等を主張しがちであるが、やはり、男女、老若、障害の有無。その他それぞれの立場の人に対して、思いやれる心と態度をとることが出来る、そんな人でありたい、又、これからの人にはそうなってほしいと心から願います。
女性	60 歳代	私自身このような問題に直面したことがないですが、市民意識調査があったり、人権教育・人権啓発の役をされておられる方がこの瑞浪市にもあると云うことは、人権問題が色々と起こっていると云うことだと思います。一言で人権といっても人それぞれが感じ、受け止めることなので・・・とてもむずかしいですね。
男性	70 ～ 89 歳	最近職場での差別待遇いじめ無視等、身近でも私の仕事の近くでも起きています。これらのことも人権問題になるのかと考えました。

人権に関する市民意識調査

平成 23 年 7 月
瑞 浪 市

調査ご協力をお願い

日頃は市政の推進に何かとご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

21世紀は「人権の世紀」といわれており、人権に関する国民意識もますます高まっていますが、今なお女性、子ども、障がい者、高齢者などの人権課題があります。

瑞浪市では、昨年度「市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現をめざして」を目標にした「瑞浪市人権施策推進指針」を策定いたしました。

つきましては、これからの人権啓発等に活かすため、皆様の人権についてのお考えを聞かせていただくことといたしました。

この調査は、20歳以上の方の中から無作為に1,000名を選び、アンケートにお答えいただく方法により実施いたします。その一人として、あなたをお願いすることになりましたが、あなたのお名前やご回答の内容が公表されることは決してございません。また、調査目的以外には絶対に使用しませんので、日頃のお考えを率直にお聞かせくださるようお願いいたします。

ご多忙のところ大変恐縮とは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご記入に際してのお願い

1. アンケートには、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。ご自分での回答が困難な方は、ご家族などのご協力によりご回答ください。
2. アンケートは選択肢です。あてはまるものの番号を○印で囲んでください。
3. 記入後は無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、

7月31日(日)までにポストに投函してください。

調査に関する問い合わせ

瑞浪市総務部市民協働課
0572-68-2111 (内線341)

人権に関する市民意識調査票

最初に統計的処理を行うため、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。

〈○は1つだけ〉

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。

〈○は1つだけ〉

- | | |
|--------|---------|
| 1 20歳代 | 4 50歳代 |
| 2 30歳代 | 5 60歳代 |
| 3 40歳代 | 6 70歳以上 |

問3 あなたの職業を教えてください。

〈○は1つだけ〉

- | |
|--|
| 1 自営業、経営者（農林水産業・商工・サービス業自由業等個人事業主と家族従業員、会社経営者など） |
| 2 正規の職員・従業員（会社員・公務員など） |
| 3 パート、アルバイト（内職含む） |
| 4 学 生 |
| 5 無 |
| 6 その他（具体的に： _____） |

問4 あなたの家族構成を教えてください。

〈○は1つだけ〉

- | |
|----------------------|
| 1 ひとり暮らし |
| 2 一世代世帯（夫婦のみ） |
| 3 二世代世帯（親とその子ども） |
| 4 三世代世帯（祖父母と親とその子ども） |
| 5 その他 |

問5 平成23年4月15日発行「広報みずなみ」で人権指針及び行動計画を策定したことをお知らせいたしました。また、同時に概要版を各世帯に配布しました。

あなたは、概要版を読みましたか。

〈○は1つだけ〉

- | |
|--------------------|
| 1 読んだ |
| 2 読んでいない |
| 3 その他（具体的に： _____） |

人権全般についておたずねします

問6 あなたの人権に対する考えに最も近いものはどれですか。

〈○は1つだけ〉

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1 一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない | | | |
| 2 一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない | | | |
| 3 人権の名のもとに権利の濫用が見られるので、むしろ制限すべきだ | | | |
| 4 その他（具体的に： _____） | | | |

問7 あなたが「人権」から連想する言葉はどれですか。感じたままをお答えください。

〈○はいくつでも〉

- | | | | |
|------|------|----------|---------------|
| 1 自由 | 5 自立 | 9 格差 | 13 その他 |
| 2 平等 | 6 公正 | 10 差別 | （具体的に： _____） |
| 3 友愛 | 7 共生 | 11 暴力 | |
| 4 尊厳 | 8 抑圧 | 12 わからない | |

問8 あなたは、次のような人権問題があることを知っていますか。

次にあげる①～⑯のすべてにお答えください。
各項目の「1 2 3」のうち1つに○

	内容についてよく知っている	聞いたことはあるが内容はよく知らない	知らないわからない
① 女性の人権問題	1	2	3
② 子どもの人権問題	1	2	3
③ 高齢者の人権問題	1	2	3
④ 障がい者の人権問題	1	2	3
⑤ 同和問題	1	2	3
⑥ アイヌの人々の人権問題	1	2	3
⑦ 外国人の人権問題	1	2	3
⑧ 感染症患者等*1の人権問題	1	2	3
⑨ 刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3
⑩ 犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3
⑪ インターネットを悪用した人権侵害	1	2	3
⑫ ホームレスの人権問題	1	2	3
⑬ 性的指向*2の異なる人の人権問題	1	2	3
⑭ 性同一性障がい者*3の人権問題	1	2	3
⑮ 北朝鮮による拉致問題	1	2	3
⑯ 人身取引*4に関する人権問題	1	2	3

*1 エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病元患者など

*2 異性愛、同性愛、両性愛など

*3 「からだの性」と「こころの性」が一致しない状態

*4 性的搾取や強制労働、臓器売買を含む

問9 あなたは、次の人権問題に、どの程度関心を持っていますか。

次にあげる①～⑯のすべてにお答えください。
各項目の「1 2 3 4」のうち1つに○

	非常に関心がある	多少関心がある	あまり関心がない	全く関心がない
① 女性の人権問題	1	2	3	4
② 子どもの人権問題	1	2	3	4
③ 高齢者の人権問題	1	2	3	4
④ 障がい者の人権問題	1	2	3	4
⑤ 同和問題	1	2	3	4
⑥ アイヌの人々の人権問題	1	2	3	4
⑦ 外国人の人権問題	1	2	3	4
⑧ 感染症患者等*1の人権問題	1	2	3	4
⑨ 刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3	4
⑩ 犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3	4
⑪ インターネットを悪用した人権侵害	1	2	3	4
⑫ ホームレスの人権問題	1	2	3	4
⑬ 性的指向*2の異なる人の人権問題	1	2	3	4
⑭ 性同一性障がい者*3の人権問題	1	2	3	4
⑮ 北朝鮮による拉致問題	1	2	3	4
⑯ 人身取引*4に関する人権問題	1	2	3	4

*1 エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病元患者など

*2 異性愛、同性愛、両性愛など

*3 「からだの性」と「こころの性」が一致しない状態

*4 性的搾取や強制労働、臓器売買を含む

問10 あなたは、過去5年間の日常生活の中で、人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇など）されたと感じたことがありますか。

〈○は1つだけ〉

- | | | |
|------|---|------|
| 1 ある | → | 問11へ |
| 2 ない | → | 問12へ |

問 11 問 10 で、「1」を選択された方にお聞きします。

それはどのような人権侵害ですか。

《○はいくつでも》

- 1 あらぬ噂、他人からの悪口、陰口
- 2 名誉・信用のき損、侮辱
- 3 他人による暴力、脅迫、強要
- 4 プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）
- 5 地域での差別待遇
- 6 家庭での差別待遇
- 7 学校・職場における不平等または不利益な取扱い
- 8 ドメスティック・バイオレンス（夫婦間や恋人による暴力）
- 9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 10 ストーカー（つきまとい）行為
- 11 悪臭・騒音などの公害
- 12 答えたくない
- 13 その他（具体的に： _____）

問 12 あなたが、もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。

《○はいくつでも》

- 1 黙って我慢をする
- 2 相手に抗議をする
- 3 家族に相談をする
- 4 友人に相談をする
- 5 所属する団体や職場の人に相談をする
- 6 区長や民生委員等に相談をする
- 7 弁護士に相談をする
- 8 法務局や人権擁護委員に相談をする
- 9 県や市役所など公的機関に相談をする
- 10 警察に相談をする
- 11 新聞やテレビなどマスコミに訴える
- 12 その他（具体的に： _____）

問 13 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 「男は仕事、女は家事」など、男女の固定的な役割分担意識があること
- 2 職場における、採用・昇進・昇格などで男女の待遇に差別があること
- 3 地域社会において、女性の伝統行事への参加制限といった慣習やしきたりが残っていること
- 4 商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること
- 5 政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと
- 6 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）通称：セクハラ
- 7 ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からのさまざまな暴力）通称：DV
- 8 売春・買春、援助交際、人身売買、レイプ（強姦）などの犯罪
- 9 女性の意見を取り上げないなど男性の意識改革が進んでいないこと
- 10 男性に依存するなど女性の意識改革が進んでいないこと
- 11 特に問題があると思うことはない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に： _____）

解説 女性の人権について

「男は仕事、女は家庭」といった男女の多様な生き方を制約する固定的な性別役割分担を反映した制度や慣行が、今なお存在しています。また、DVやセクハラ、ストーカー行為など女性に対する肉体的、精神的な暴力などが社会問題となっています。

問 14 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 身体への暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口等、相手がいやがることをしたり、させたりするなどのいじめを行うこと
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする
- 3 親が言うことを聞かない子どもに暴力を加えるなど子どもを虐待すること
- 4 育児放棄（ネグレクト）があること
- 5 学校や就職の選択などにおいて、子どもの意見を親が聞かないこと
- 6 教師が体罰や差別的な扱いを行うこと
- 7 子どもを成績や学歴だけで判断すること
- 8 暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト・ポルノ雑誌等）がたくさんあること
- 9 児童買春、援助交際などの犯罪があること
- 10 特に問題があると思うことはない
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に： _____）

問15 あなたが見童虐待を発見したらどうされますか。

〈〇は1つだけ〉

- 1 学校や子ども相談センター、県や市の福祉窓口などに知らせる
- 2 民生委員・児童委員に知らせる
- 3 警察に知らせる
- 4 地域の人・身の回りの人に知らせる
- 5 保護者にやめるよう、注意をする。
- 6 どこ（誰）に知らせたらいいかわからない
- 7 他人の家庭のことには口を出さないなどの理由で、何もしない
- 8 その他（具体的に： _____）

解説 子どもに関する問題について

近年、少子化や核家族化の進行による地域コミュニティの希薄化や子育ての孤立化が進行する中、子育てを巡っての不安や葛藤のほか様々な要因を背景として、育児ノイローゼや児童虐待が増えています。

また、学校での不登校・いじめのほか、問題行動や児童買春など子どもの心身の健全な成長が妨げられる問題が発生しています。

問16 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

〈〇は3つまで〉

- 1 経済的に自立が困難なこと
- 2 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 3 悪徳商法や振り込み詐欺の被害に遭うことが多いこと
- 4 病院や介護施設における看護や介護等のサービスが十分でないこと
- 5 家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること
- 6 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること
- 7 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 8 道路の段差や駅や建物の段差などにより外出に支障があること
- 9 買い物に困難をきたす状態になっている高齢者がいること
- 10 特に問題があると思うことはない
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に： _____）

解説 高齢者に関する問題について

高齢化や核家族化の進行により、家庭内で高齢者と子どもがふれあう機会が減少しています。また、介護が必要な高齢者が増加する中、介護放棄や身体的・経済的虐待などのさまざまな権利侵害が社会問題となっています。

問17 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

〈〇は3つまで〉

- 1 障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること
- 2 道路の段差や駅の階段など外出に支障があること
- 3 スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていないこと
- 4 就労の機会が少なく、職種もかぎられていること。また、不利な扱いをされること
- 5 障がい者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと
- 6 病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりすること
- 7 身近な地域での生活を支援する福祉サービスが十分でないこと
- 8 結婚問題で、周囲に反対されること
- 9 特に問題があると思うことはない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

解説 障がい者に関する問題について

障がい者の社会参加には、段差や障害物などの物理的な障害だけでなく、無理解、無関心といった心理的な問題が依然としてあります。また、今なお、精神障害に関する誤った認識や偏見が存在しています。

問18 日本に居住する外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

〈〇は3つまで〉

- 1 外国人についての理解や認識が十分でないこと
- 2 住宅を容易に借りることができないこと
- 3 言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと
- 4 外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと
- 5 義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいること
- 6 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること
- 7 結婚問題で周囲に反対されること
- 8 病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと
- 9 特に問題があると思うことはない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

解説 外国人・外国籍市民に関する問題について

歴史的経緯に由来する在日韓国・朝鮮人をめぐる問題や、国籍が多様化する中、生活や文化等の違いについての理解が不足していることから、生活の様々な面において、外国人であるという理由で差別や不利益を受けるという問題があります。

問19 同和問題について、あなたはどのように考えますか。

《○は1つだけ》

- 1 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- 2 基本的な人権に関わる問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 3 とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 4 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- 5 あまりさわがず、そっとしておけばよい
- 6 特に関心はない
- 7 わからない
- 8 その他〔具体的に：

問20 同和問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 結婚問題で周囲が反対すること
- 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動や落書きをすること
- 4 誤った偏見から交際を避けること
- 5 身元調査をすること
- 6 インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
- 7 えせ同和行為^{*1}があること
- 8 特に問題になっていない
- 9 わからない
- 10 その他〔具体的に：

*1 同和問題を口実として行われる不法、不当な要求や行為

解説 同和問題について

我が国固有の人権問題で、近世までの身分制社会に基づく差別により、市民的権利と自由を完全に保証されていなかったという、基本的人権にかかわる重大な社会問題です。

問21 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。

《○は2つまで》

- 1 更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること
- 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 3 アパート等に入居できないこと
- 4 結婚問題で周囲が反対すること
- 5 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 6 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること
- 7 特に問題があると思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他〔具体的に：

問22 インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 他人への誹謗中傷（ひどい悪口）など差別的な表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること
- 2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 3 加害少年（未成年者）の実名や顔写真等を掲載すること
- 4 インターネット取引での悪質商法による被害が起こっていること
- 5 個人情報などが流出していること
- 6 女性の裸体や児童ポルノなどの情報が氾濫していること
- 7 特に問題があると思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他〔具体的に：

問23 ホームレスの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 ホームレスに対する誤解や偏見があること
- 2 嫌がらせや暴力を受けること
- 3 医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受けること
- 4 就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと
- 5 アパートなどの住宅への入居が困難であること
- 6 特に問題があると思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他〔具体的に：

問 24 アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと
- 2 結婚問題で周囲に反対されること
- 3 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 4 住宅、生活環境など生活水準が低いこと
- 5 差別的な言動があること
- 6 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと
- 7 特に問題があると思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他

具体的に：

解説 アイヌの人々に関する問題について

北海道を中心に古くから住んでおり、独自の文化を築き上げてきましたが、明治以降の同化政策（狩猟の禁止、日本語の強制など）により、独自の生活様式や文化が侵害されました。現在もアイヌの人々に対する理解が十分ではなく、差別や偏見が残っています

問 25 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 医療行為の内容について、本人や家族に十分な説明がないこと
- 2 入院や療養の環境が十分でなく、療養者の生活の質が低いこと
- 3 エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと
- 4 ハンセン病元患者の社会復帰が困難であること
- 5 感染症患者であるというだけで世間から好奇又は偏見の目で見られること
- 6 結婚問題で周囲に反対されること
- 7 就職、職場で不利な扱いをされること
- 8 特に問題があると思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他

具体的に：

解説 感染症患者等に関する問題について

感染症や疾病に関する不正確な知識や思い込みにより、感染症患者等への偏見や差別意識が生じ、診療拒否や採用拒否、宿泊拒否などの不当な扱いを受けるなど人権上の問題が生じています。

問 26 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 犯罪行為によって、精神的なショックを受けること
- 2 犯罪行為によって、経済的な負担を受けること
- 3 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 4 警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと
- 5 捜査や刑事裁判において、精神的負担を受けること
- 6 刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
- 7 プライバシーに関わる報道や、取材によって私生活の平穏が保てなくなる
- 8 特に問題があると思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他

具体的に：

解説 犯罪被害者等に関する問題について

犯罪は犯罪被害者に対する重大な人権侵害であるのは当然のことながら、マスメディアの行き過ぎた報道によるプライバシーの侵害や、名誉毀損、過剰な取材によって私生活における平穏の侵害などの二次的な被害も問題となっています。

問 27 性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 世間から好奇または偏見の目で見られること
- 2 就職や仕事の内容・待遇などで、不利な条件におかれていること
- 3 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること
- 4 性的異常者とみなされ、嫌がらせ、蔑称で呼ばれるなど、冷やかしの対象となること
- 5 法律が整備されていないこと
- 6 特に問題があると思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他

具体的に：

解説 性同一性障がい者に関する問題について

性同一性障がいとは生まれながらの自分の性と心の性が一致せず、その食い違いに苦しむ状況をいいます。認知はされつつありますが、まだ社会の理解は低いため、外見と戸籍上の性別との不一致による様々な偏見や差別にさらされ、精神的な苦痛を受けるだけでなく、社会参加が難しい問題があります。

人権教育・人権啓発の方法についておたずねします

問28 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。

〈〇はいくつでも〉

- 1 行政による啓発活動を積極的に行う
- 2 まちづくり、区長会等の地域の取組みを充実する
- 3 企業や職場の取組みを充実する
- 4 家庭教育を充実する
- 5 学校での教育を充実する
- 6 人権意識は向上しているので特に取組む必要はない
- 7 個人の意識の問題なので介入する必要はない
- 8 わからない
- 9 その他〔具体的に：

問29 あなたは、市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心掛けたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。

〈〇はいくつでも〉

- 1 人権に対する正しい知識を身につけること
- 2 因習や誤った固定観念にとらわれないこと
- 3 自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること
- 4 自分の生活している地域の人々を大切にすること
- 5 家庭内での家族の権利を大事にすること
- 6 職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと
- 7 特にすべきことはない
- 8 わからない
- 9 その他〔具体的に：

問30 人権教育の推進のために、学校においてどのような教育を進めていけばいいと思いますか。

〈〇は1つだけ〉

- 1 すべての児童・生徒が基本的な人権について考えるような教育
- 2 「差別をするのは悪いことである」という意識を持たせる教育
- 3 「人を大切に作る心や態度をはぐくむ」という教育
- 4 歴史的な経過や、差別の現状などが理解できるような教育
- 5 障がい者や高齢者とのふれあいの場を多くするなどの交流教育
- 6 人権教育を効果的に進めるため、教職員研修を充実する
- 7 現状のままでよい
- 8 その他〔具体的に：

これまでの設問に関することも含めて、人権問題に関するご意見・ご希望がございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。